

平成25年度

宮古島市の教育



国登録有形文化財「旧西中共同製糖場煙突」

宮古島市教育委員会



宮古島市市章

製作意図

宮古島市の頭文字である平仮名の「み」をモチーフに
宮古島市民が未来へ飛躍する様子を、美しい海や空、
緑の大地、太陽をイメージしてデザインしている。

発刊にあたって

宮古島市教育委員会
教育長 川満 弘志

平成23年12月の教育長就任以来、「開かれた教育行政」を目指して邁進してまいりました。教育行政を推進するに当たっては、常に仕事の質を高めていくことをモットーに様々な教育課題の解決に向けて市民の教育に関する要望の的確な把握に努めながら主体的な教育行政を展開し、教育委員会の活性化を図ってまいります。

具体的には、平成24年6月に策定いたしました教育ビジョン（教育振興基本計画）に掲げる「郷土の文化に誇りを持ち、心豊かで創造性・社会性・国際性に富む人材の育成と生涯学習の振興」を教育目標とし、教育行政の諸施策を推進してまいります。

学校教育においては、「生きる力」を育むため学校・家庭・地域との連携のもと「確かな学力」「豊かな人間性」「健やかな体」の育成に取り組んでまいります。また、校長を中心とした特色ある学校経営による魅力ある学校づくりを促進し、充実した教育活動を行うために学校規模の適正化を進めてまいります。

社会教育においては、市民の生涯にわたる学習活動を支援するため、学校教育・家庭教育の相互連携を図り、市民のニーズに応じた学習機会の提供をするとともに、元気あふれる宮古島市創造に向けて生涯スポーツを推進してまいります。また、沖縄振興特別推進交付金（一括交付金）を活用した歴史文化ロード整備事業を実施するなど、文化財の保護・活用に努めてまいります。

この度、本市の平成25年度の教育施策をまとめた「平成25年度宮古島市の教育」を発刊しました。これを機に、多くの皆様から教育行政への助言・提言を頂き、さらに効果的な教育施策を展開し教育振興へと繋げていきたいと考えております。

今後とも、市民各位並びに関係機関の更なるご支援・ご協力を頂きますようお願い申し上げます。発刊にあたってのあいさつといたします。

2013年10月 吉日

目 次

1 章	宮古島市の概要	
1	宮古島市の概況・・・・・・・・・・・・・・・・	1
2	宮古島市の市木・市花等・・・・・・・・	2
2 章	地方教育行財政	
1	教育委員及び教育長・・・・・・・・	3
2	宮古島市教育委員会の沿革・・・・・・・・	4
3	教育委員会の会議の状況・・・・・・・・	6
4	宮古島市の財政・・・・・・・・	7
5	平成25年度教育予算・・・・・・・・	8
6	宮古島市教育委員会主要施策体系・・・・・・・・	9
7	宮古島市教育委員会事務分掌・・・・・・・・	10
3 章	学校教育～生きる力を育てる学校教育の充実～	
1 節	学校教育	
1	学校教育の振興・・・・・・・・	14
2	施 策・・・・・・・・	15
	(1) 幼稚園教育の推進	
	(2) 学力向上の推進	
	(3) 学校経営の充実と「開かれた学校づくり」の推進	
	(4) 学習指導方法の工夫・改善・充実	
	(5) 道徳教育の工夫	
	(6) たくましい心と体を育む教育の推進	
	(7) 食育の推進	
	(8) キャリア教育の充実	
	(9) 特別活動の充実	
	(10) 総合的な学習の時間の充実	
	(11) 人権教育の充実	
	(12) 平和教育の充実	
	(13) 生徒指導の充実	
	(14) 国際理解・外国語教育の推進	
	(15) 特別支援教育の充実	
	(16) 情報教育の充実	
	(17) 環境教育の充実	
	(18) へき地教育の充実	
	(19) 教育課程の効果的な推進	
	(20) 学校図書館の活用及び読書指導の充実	
	(21) 家庭教育の充実	
3	平成24年度 事業実績・・・・・・・・	32
	(1) 教育振興事業	
	(2) 小中学校教育振興対策事業	
	(3) 幼稚園就園奨励補助事業	
2 節	教育研究所	
1	設置の目的・・・・・・・・	34
2	方 針・・・・・・・・	34
3	事 業・・・・・・・・	34
4	組 織・・・・・・・・	34
5	運 営・・・・・・・・	35
6	職員構成・・・・・・・・	35

7	事業概要	35
8	平成25年度 事業計画	38
9	平成24年度 事業実績	38
3節 学校給食		
1	宮古島市立学校給食共同調理場の概要	40
2	学校給食の目的及び目標	40
	(1) 学校給食の目的	
	(2) 学校給食の目標	
	(3) 学校給食の定義	
	(4) 学校給食の経費の負担	
3	給食共同調理場の事業	41
4	平成25年度 年間給食回数予定表	41
5	配送状況	41
6	給食状況	41
7	児童生徒一人一食当たり摂取栄養量	42
4節 学校教育施設		
1	施設整備の基本方針と役割	43
	(1) 施設整備の基本方針	
	(2) 学校施設の役割	
2	平成25年度 事業計画	43
	(1) 屋外環境整備事業	
	(2) 屋内運動場改築事業	
5節 学校規模適正化		
1	設置目的	44
2	学校規模適正化に関する基本的な考え方	44
3	平成25年度 事業計画	44
4	平成24年度 事業実績	44
6節 伊良部分室		
1	分室の役割	45
	(1) 学校教育に関すること	
	(2) 生涯学習に関すること	
	(3) 学校・社会教育施設に関すること	
2	平成25年度 事業計画	45
3	平成24年度 事業実績	45
4章 社会教育～みんなで学ぶ生涯学習～		
1節 社会教育		
1	主要施策	48
2	施策の推進	48
	(1) 生涯学習の推進	
	(2) 社会教育の推進	
3	平成25年度 生涯学習・社会教育事業計画	49
4	施策の推進体制	49
	(1) 社会教育委員	
	(2) 宮古島市青少年問題協議会	
	(3) 宮古島市学校支援地域本部事業	
	(4) 宮古島市放課後子ども教室推進事業	

5	平成24年度社会教育・生涯学習活動スナップ集	51
---	------------------------	----

2節 公民館

1	現状と課題	54
2	運営目標	54
3	執行体制と活動内容	54
4	各公民館	55
	(1) 中央公民館	
	(2) 城辺公民館	
	(3) 上野公民館	
	(4) 下地公民館	
	(5) 伊良部公民館	
	(6) 久松地区公民館	
	(7) 西原地区公民館	
	(8) 下崎地区公民館	

3節 図書館

1	現状と課題	75
2	運営の基本方針	75
3	重点目標	75
	(1) 図書館基本サービスの充実	
	(2) 図書館行事の充実	
	(3) 移動図書館車の利用促進	
	(4) 学校等関係機関とのネットワークの強化	
	(5) ボランティア活動の推進	
	(6) 北分館の利用促進	
	(7) 島ぬ宝育成情報支援プロジェクトの推進	
4	平成25年度 事業計画	76
5	施策の推進体制	77
6	平成24年度事業実績	77
	(1) 利用状況	
	(2) 図書館の行事	
	(3) 島ぬ宝育成情報支援プロジェクト	
	(4) 移動図書館	
	(5) 施設等利用状況	
	(6) 蔵書統計	

5章 スポーツ振興～スポーツアイランドの確立～

1	基本方針	82
	(1) 基本的な考え方	
	(2) 現状と課題	
2	社会体育における重点施策	82
	(1) 施策の体系	
	(2) 施策の内容	
	(3) 重点事業の内容と目標	
3	平成25年度 事業計画	83
4	附属機関等	84
	(1) スポーツ審議委員会	
	(2) スポーツ推進委員	
5	平成24年度 事業計画	85
6	体育施設の概要	86

6章 文化振興～文化の振興と文化財の保存・保護並びに活用の推進～

1節 文化財・文化振興

- 1 主要施策・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・88
- 2 平成25年度 重点施策・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・88
 - (1) 文化庁及び県、その他助成事業の活用
 - (2) 市単独事業
- 3 施策項目・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・88
 - (1) 文化財の保護・活用
 - (2) 文化の振興
- 4 平成25年度 事業計画・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・89
 - (1) 文化財の保護・活用事業
 - (2) 市史編さん事業
 - (3) 文化振興事業
- 5 施策の推進体制・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・89
 - (1) 文化財保護審議会
 - (2) 宮古島市史編さん委員会
- 6 平成24年度 文化事業の実績・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・89

2節 総合博物館

- 1 基本方針・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・91
- 2 常設展示・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・91
 - (1) 第一展示室
 - (2) 第二展示室
- 3 沖縄振興特別推進交付金事業を活用した取り組み・・・・・・・・・・・・・92
 - (1) 第一展示室
 - (2) 第二展示室
 - (3) ものしり博物館
 - (4) その他
- 4 平成25年度事業計画・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・93
 - (1) 企画展
 - (2) 子ども博物館
 - (3) 特別展示
- 5 施策の推進体制・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・95
宮古島市総合博物館協議会委員
- 6 平成24年度事業実績・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・96
 - (1) 企画展
 - (2) 特別展示
 - (3) 子ども博物館

3節 マティダ市民劇場

- 1 設置目的・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・99
- 2 施設の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・99
- 3 施設の開館日及び開館時間・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・99
- 4 施策の体制・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・99
宮古島市文化ホール運営委員会
- 5 自主文化事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・99
 - (1) 事業の基本理念
 - (2) 事業の内容
- 6 平成24年度事業実績・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・100
- 7 平成24年度利用状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・102
 - (1) 月間稼働率
 - (2) 目的別利用状況

(3) 入場者数月間稼働率

資料編

【各種委員等】

1	各種委員名簿・・・・・・・・・・・・・・・・	103
	(1) 宮古島市社会教育委員	
	(2) 宮古島市青少年問題協議会委員	
	(3) 宮古島市放課後子ども教室推進事業運営委員会委員	
	(4) 宮古島市学校支援地域本部運営委員会委員	
	(5) 宮古島市文化財保護審議会委員	
	(6) 宮古島市史編さん委員	
	(7) 宮古島市スポーツ推進委員	
	(8) 宮古島市スポーツ推進審議会委員	
	(9) 宮古島市公民館運営審議会委員	
	(10) 宮古島市総合博物館協議会委員	
	(11) 宮古島市文化ホール運営委員会委員	
2	社会教育団体等名簿・・・・・・・・	108
	(1) 宮古島市子ども会育成連絡協議会	
	(2) 青年団協議会	
	(3) 婦人連合会	
	(4) 宮古地区PTA連合会	
	(5) 宮古地区青少年健全育成市民会議	
3	学校医・学校歯科医・学校薬剤師一覧・・・・・・・・	114

【学校・教育機関】

1	宮古島市立小学校・中学校・幼稚園一覧・・・・・・・・	117
2	平成25年度児童・生徒・園児数・・・・・・・・	121
	(1) 小学校児童数	
	(2) 中学校生徒数	
	(3) 幼稚園園児数	
3	宮古島市立学校施設・・・・・・・・	123
	(1) 小学校の敷地及び施設面積	
	(2) 中学校の敷地及び施設面積	
	(3) 幼稚園の敷地及び施設面積	
4	宮古島市教育委員会職員名簿・・・・・・・・	126

宮古島市の概要

宮古島の概況

位 置

宮古諸島は、北東から南西へ弓状に連なる琉球弧のほぼ中間にあつて、北緯24度から25度、東経125度から126度を結ぶ網目の中に位置しており、沖縄本島(那覇)の南西約290キロメートル、石垣島の東北東約133キロメートルの距離にあります。

また、大きな河川もなく、生活用水等のほとんどを地下水に頼っています。

面 積

本市の面積は204.5平方キロメートルで、大小6つの島々(宮古島、池間島、大神島、伊良部島、下地島、来間島)からなり、その中でも宮古島が最も大きく、総面積の約78%を占め、宮古群島の中心をなしています。

平坦な地形は農耕に適し、総面積の52%が耕地面積です。

気 候

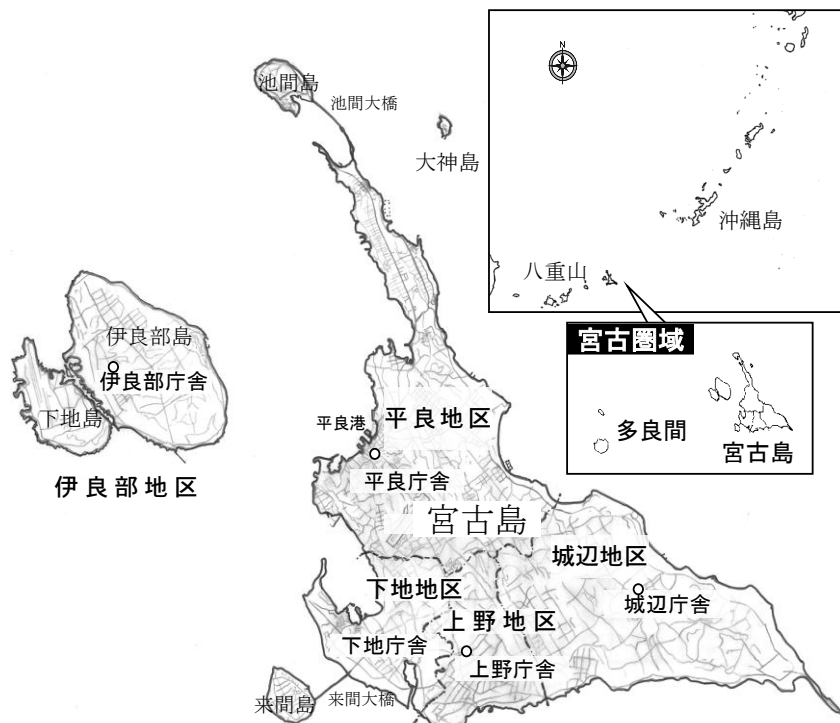
気候は亜熱帯海洋性気候に属し、年平均気温は23.6℃、降水量の平年値は2,021mmで1年を通して寒暖の差が少ない穏やかな気候です。

人 口

平成25年4月末現在の本市の人口は、54,990人(平良36,583人、城辺6,531人、下地3,095人、上野3,079人、伊良部5,702人)で世帯数が24,952世帯となっています。

産 業

第1次産業が主で、特産品としては黒糖、泡盛、もずく、海ぶどう、マンゴーなどがあります。



宮古島の市木・市花等

【市 木】ガジュマル

常緑高木で、熱帯雨林では20mもの大木になる。クワ科イチジク属。沖縄では、各島の低地、岸壁面、樹上などにさまざまな形で生育する。老大木にもなると、その特異な形状が神秘怪奇に見えることから神木霊木にもなる。

昔の子どもたちは幹の白い樹液を遊びに用いたりした。



【市 花】ブーゲンビレア

ブーゲンビレアは常緑のつる性植物。花は、赤、青、黄、白と色彩豊か。色のついた部分は花びらではなく、葉の変形した苞（ほう）で本当の花は茎の中にある筒状の部分。日当たりと水はけのよい場所であれば、土質は特に選ばず、鉢栽培、生垣、フェンスなどトレリス型仕立てなど作り方もいろいろ楽しめる熱帯を代表する植物の4つ。



【市花木】デイゴ

春から初夏にかけて樹冠全体に咲く虹色の花。沖縄三大名花とされ県花にも指定されている。公園や街路樹としてよく栽培されている。この木を素材にして、琉球漆器や各種工芸品にも使われている。



【市 鳥】サシバ

秋に越冬のためにフィリピン方面へ渡るが、宮古群島は昔からサシバの中継地として知られている。北風の吹き出す「寒露」のころ（10月10日前後）にその風を利用して南下して来る。成鳥はカラスほどの大きさで目が黄色の鋭い顔つきをしている。体はすこし赤みのあるかっ色で胸と腹にかっ色の横じまがある。昔は食料として、また子どもたちのおもちゃとして捕獲されていたが、現在は数が減り、国際保護鳥に指定されている。



【市 魚】タカサゴ（方言名：グルクン）

色彩豊かな25cm前後の美しい魚で、広く庶民に親しまれ、熱帯性で沖縄からインド洋にかけて分布。2年を通して漁獲され、本県の主要魚種であること、沖縄では数少ない大衆魚として広く県民の食卓に普及しており、かまぼこの原料にも利用されている。さらに、沖縄の海を連想させる美しい色彩を持っており、味もよいとされている。



【市 蝶】オオゴマダラ

日本最大のチョウの1つ。羽を広げた時の大きさが5～8cmある。えさとなるホウライカガミには、毒が含まれており、この毒が成虫になっても残るため、敵に襲われる事は少ない。飛び方はゆるやかで優雅。サナギは、「金のサナギ」よく知られている。



【市 貝】スイジガイ

6本の角があり、水の字に似た姿をしている。漢字で書くと「水字貝」となる。魔よけや火難よけとして利用するのは、沖縄の風習のひとつで、宮古でも古くからスイジガイのツノを縄で結び豚舎の前に吊したり、石垣や軒下につるしたりしている。



地方教育行政

1 教育委員及び教育長



委 員 長
宮 國 博



委員長職務代理者
佐 平 博 昭



委 員
下 地 信 輔



委 員
佐和田 貴美子



教 育 長
川 満 弘 志

役職名	氏 名	任 期	委員長等の任期	住 所
委 員 長	宮 國 博	自 平 2 1 . 1 2 . 5 至 平 2 5 . 1 2 . 4	自 平 2 4 . 1 2 . 5 至 平 2 5 . 1 2 . 4	平良字西里
委員長職務代理者	佐平 博昭	自 平 2 3 . 1 1 . 3 0 至 平 2 5 . 1 2 . 4	自 平 2 4 . 1 2 . 5 至 平 2 5 . 1 2 . 4	平良字西里
委 員	佐和田 貴美子	自 平 2 2 . 1 2 . 5 至 平 2 6 . 1 2 . 4		伊良部字長浜
委 員	下地 信輔	自 平 2 4 . 1 2 . 5 至 平 2 8 . 1 2 . 4		平良字西里
教 育 長	川満 弘志	自 平 2 3 . 1 2 . 5 至 平 2 7 . 1 2 . 4		平良字東仲宗根

2 宮古島市教育委員会の沿革

平成17年 10月 1日	市町村合併による「宮古島市」の誕生 市町村合併による「暫定教育委員」の辞令交付 暫定教育委員名 旧平良市・久貝勝盛、旧城辺町・砂川恵良、旧下地町・洲鎌勝彦、 旧伊良部町・前泊直喜、旧上野村・狩俣廣一 委員長 狩俣廣一、委員長職務代理者 砂川恵良 教育長 久貝勝盛を選出
12月 5日	臨時議会にて新市教育委員の承認 新市教育委員辞令交付 濱川 隆（4年）、羽地芳子（4年）、新里玲子（3年） 久貝勝盛（2年）、前泊直喜（1年） 第1回宮古島市教育委員会の開催 委員長及び委員長職務代理者、教育長の選出 委員長 濱川 隆、委員長職務代理者 新里玲子 教育長 久貝勝盛を選出
平成18年 12月 5日	委員長及び委員長職務代理者の選出 委員長 新里玲子、委員長職務代理者 羽地芳子を選出 前泊直喜委員任期満了、池間照夫委員辞令交付
平成19年 12月 5日	久貝勝盛教育長任期満了、下地恵吉委員辞令交付 第9回臨時教育委員会開催 教育長の選出 下地恵吉を選出 委員長の選出 新里玲子委員長を再任 委員長職務代理者 池間照夫を選出
平成20年 12月 5日	委員長及び委員長職務代理者の選出 委員長 濱川 隆、委員長職務代理者 池間照夫を再任 新里玲子委員長任期満了、下地由子委員辞令交付
平成21年 12月 5日	委員長及び委員長職務代理者の選出 委員長 下地由子、委員長職務代理者 池村直記を選出 濱川隆委員長、羽地芳子委員任期満了、宮國博委員、池村直記委員辞令交付
平成22年 2月16日	第7回臨時教育委員会開催 下地恵吉教育長辞職承認
2月28日	下地恵吉教育長退任

平成22年	
3月 2日	川上哲也委員辞令交付 第9回臨時教育委員会開催 教育長の選出 川上哲也を選出
4月28日	宮古島市学校規模適正化検討委員会設置
5月 7日	宮古島市立図書館北分館開館セレモニー
7月 5日	下地由子委員長より宮古島市学校規模適正化検討委員会川上哲也委員長に対し「宮古島市学校規模適正化基本方針の策定について」諮問
7月30日	全国高校総合体育大会男子バレーボール大会開幕(～8月2日)
12月 5日	委員長及び委員長職務代理者の選出 委員長 宮國博、委員長職務代理者 池村直記を選出 池間照夫委員任期満了、佐和田貴美子委員辞令交付
12月20日	宮古島市立大神小中学校及び大神幼稚園を廃止する条例を定例議会で可決 (平成23年4月1日から施行)
平成23年	
3月23日	宮古島市学校規模適正化検討委員会川上哲也委員長より宮國博委員長に対し「宮古島市学校規模適正化基本方針」答申
8月16日	宮古島市立学校適正規模について(基本方針)策定
10月27日	池村直記教育委員長職務代理者辞職承認
12月4日	川上哲也教育長任期満了
12月5日	教育委員長選出 宮國博を選出 教育委員長職務代理者選出 佐平博昭を選出 教育長選出 川満弘志を選出
平成24年	
4月1日	学校規模適正化対策班を教育部に設置
12月4日	下地由子委員任期満了
12月5日	下地信輔委員辞令交付 教育委員長選出 宮國博を選出 教育委員長職務代理者選出 佐平博昭を選出
平成25年	
4月23日	宮古島市学校規模適正化基本方針(平成23年8月決定)の一部見直し

3 教育委員会の会議の状況

教育委員会の会議は、月1回の定例会と随時に開催される臨時会があり、平成24年4月1日から平成25年3月31日までの会議開催数、付議事件数とその内容は次のとおりです。

(1) 開催数 定例会12回 臨時会5回

付 議 事 件	定 例 会	臨 時 会	計
人事、服務関係について	6	6	12
条例、規則等の制定、改正について	42	2	44
附属機関等の委員の任命、委嘱について	8		8
その他	5	2	7
合 計	61	10	71

4 宮古島の財政

(1) 平成25年度一般会計歳入科目別比較

(単位:千円、%)

款	平成25年度	平成24年度	比 較	構成比
1 市 税	4,517,274	4,451,216	66,058	13.1
2 地 方 譲 与 税	430,468	433,315	△ 2,847	1.3
3 利 子 割 交 付 金	22,236	12,356	9,880	0.1
4 配 当 割 交 付 金	3,746	4,658	△ 912	0.0
5 株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金	1,255	855	400	0.0
6 地 方 消 費 税 交 付 金	400,343	392,205	8,138	1.2
7 ゴ ル フ 場 利 用 税 交 付 金	32,924	33,523	△ 599	0.1
8 国 有 提 供 施 設 所 在 市 町 村 助 成 交 付 金	14,777	7,857	6,920	0.0
9 自 動 車 取 得 税 交 付 金	57,641	49,761	7,880	0.2
10 地 方 特 例 交 付 金	5,493	84,133	△ 78,640	0.0
11 地 方 交 付 税	12,520,080	12,505,680	14,400	36.4
12 交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	12,000	12,000	0	0.0
13 分 担 金 及 び 負 担 金	405,410	403,114	2,296	1.2
14 使 用 料 及 び 手 数 料	639,047	647,891	△ 8,844	1.9
15 国 庫 支 出 金	4,305,799	6,033,465	△ 1,727,666	12.5
16 県 支 出 金	7,195,487	5,438,303	1,757,184	20.9
17 財 産 収 入	65,034	74,095	△ 9,061	0.2
18 寄 附 金	2	97,541	△ 97,539	0.0
19 繰 入 金	221,448	4,558	216,890	0.6
20 繰 越 金	1	1	0	0.0
21 諸 収 入	140,935	123,973	16,962	0.4
22 市 債	3,363,600	3,695,500	△ 331,900	9.8
歳 入 合 計	34,355,000	34,506,000	△ 151,000	100.0

(2) 平成25年度一般会計歳出科目別比較

(単位:千円、%)

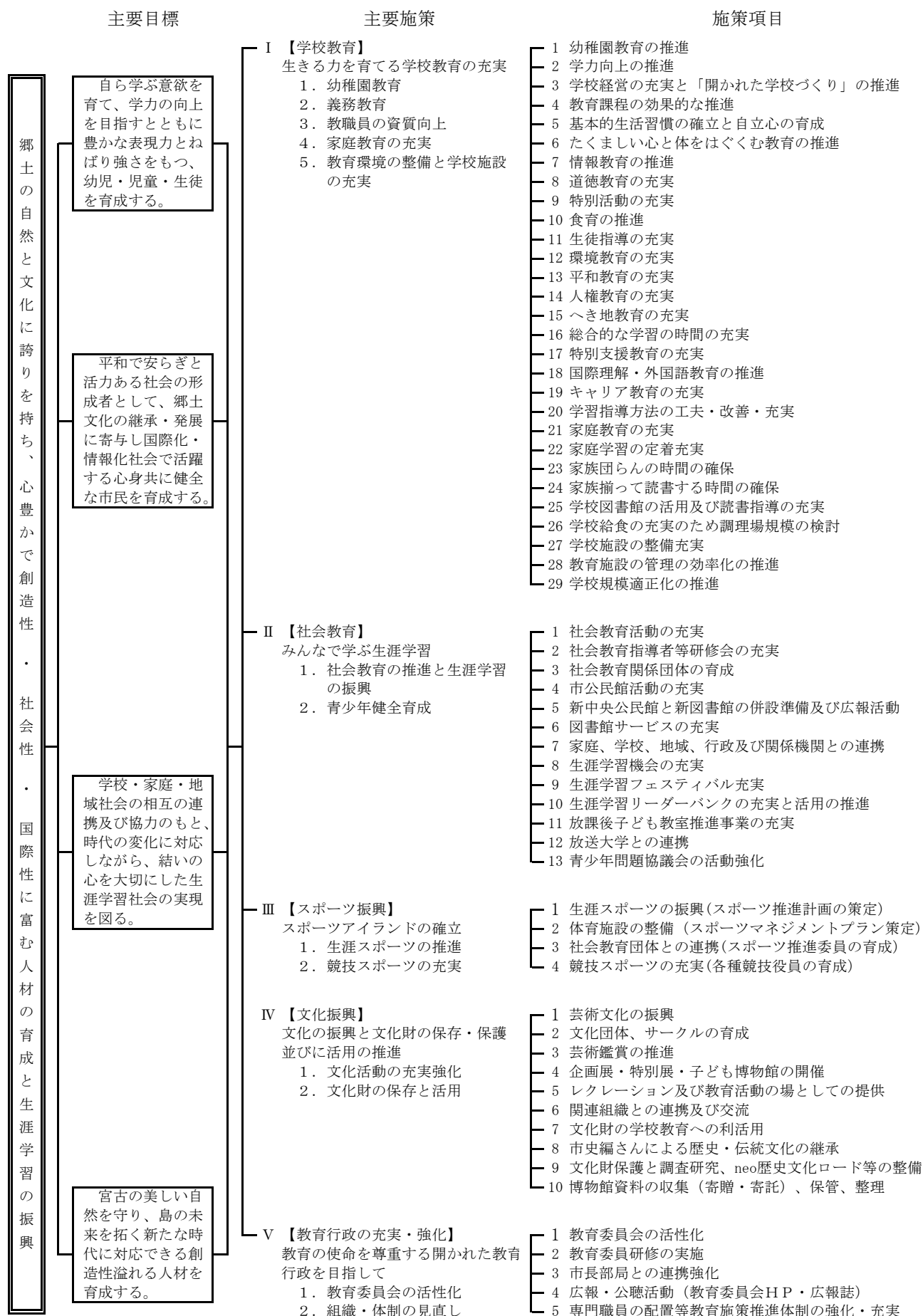
款	平成25年度	平成24年度	比 較	構成比	平成25年度予算財源内訳			
					特 定 財 源			一般財源
					国・県	地方債	その他	
1 議 会 費	271,191	269,343	1,848	0.8	0	0	0	271,191
2 総 務 費	7,061,003	5,466,698	1,594,305	20.6	2,314,796	739,700	356,152	3,650,355
3 民 生 費	10,316,191	9,970,057	346,134	30.0	4,623,596	112,200	198,617	5,381,778
4 衛 生 費	2,204,835	2,143,234	61,601	6.4	368,859	706,600	146,540	982,836
5 労 働 費	11,146	12,478	△ 1,332	0.0	0	0	10	11,136
6 農 林 水 産 業 費	4,747,608	4,577,874	169,734	13.8	2,870,335	410,900	243,292	1,223,081
7 商 工 費	396,248	511,862	△ 115,614	1.2	70,183	0	17,745	308,320
8 土 木 費	2,246,326	3,450,607	△ 1,204,281	6.5	1,000,433	265,100	141,145	839,648
9 消 防 費	850,552	878,495	△ 27,943	2.5	38,863	38,900	50	772,739
10 教 育 費	2,485,233	3,362,364	△ 877,131	7.2	133,241	25,300	79,741	2,246,951
11 災 害 復 旧 費	6	6	0	0.0	0	0	0	6
12 公 債 費	3,606,700	3,680,008	△ 73,308	10.5	1,010	0	252,136	3,353,554
13 諸 支 出 金	127,961	152,974	△ 25,013	0.4	79,968	28,000	0	19,993
14 予 備 費	30,000	30,000	0	0.1	0	0	0	30,000
歳 出 合 計	34,355,000	34,506,000	△ 151,000	100.0	11,501,284	2,326,700	1,435,428	19,091,588

5 平成25年度 教育予算

(単位:千円、%)

項 目	平成25年度	平成24年度	比 較	平成25年度の財源内訳				教育費に占める割合
				国・県	地方債	その他	一般財源	
教育総務費	441,259	427,643	13,616	38,184	25,300	16,828	360,947	17.8
教育委員会費	3,807	3,340	467	0	0	0	3,807	
事務局費	326,083	316,968	9,115	31,327	0	11,794	282,962	
教育指導費	77,278	73,011	4,267	6,857	25,300	3,034	42,087	
学力向上対策費	15,087	15,476	△ 389	0	0	2,000	13,087	
教育研究所運営費	19,004	18,848	156	0	0	0	19,004	
小学校費	474,839	721,320	△ 246,481	9,448	0	0	465,391	19.1
学校管理費	349,488	334,543	14,945	307	0	0	349,181	
教育振興費	125,351	127,216	△ 1,865	9,141	0	0	116,210	
学校建設費	0	259,561	△ 259,561	0	0	0	0	
中学校費	330,031	1,020,946	△ 690,915	20,243	0	288	309,500	13.3
学校管理費	220,216	261,795	△ 41,579	338	0	288	219,590	
教育振興費	109,815	129,428	△ 19,613	19,905	0	0	89,910	
学校建設費	0	629,723	△ 629,723	0	0	0	0	
幼稚園費	178,513	168,110	10,403	4,282	0	25,526	148,705	7.2
幼稚園管理費	178,513	168,110	10,403	4,282	0	25,526	148,705	
社会教育費	670,367	615,459	54,908	61,084	0	21,724	587,559	27.0
社会教育総務費	134,050	121,360	12,690	0	0	3,779	130,271	
生涯学習振興費	8,242	9,731	△ 1,489	4,582	0	0	3,660	
公民館費	168,348	155,208	13,140	0	0	4,218	164,130	
文化財保護費	72,794	21,769	51,025	56,502	0	0	16,292	
図書館費	116,963	127,732	△ 10,769	0	0	70	116,893	
文化振興費	3,517	3,710	△ 193	0	0	0	3,517	
博物館費	70,520	58,486	12,034	0	0	1,760	68,760	
文化ホール運営費	84,607	109,805	△ 25,198	0	0	10,321	74,286	
市史編さん費	11,326	7,658	3,668	0	0	1,576	9,750	
保健体育費	390,224	408,886	△ 18,662	0	0	15,375	374,849	15.7
保健体育総務費	60,867	73,080	△ 12,213	0	0	0	60,867	
体育施設管理費	86,864	102,721	△ 15,857	0	0	15,375	71,489	
給食センター運営費	242,493	233,085	9,408	0	0	0	242,493	
合 計	2,485,233	3,362,364	△ 877,131	133,241	25,300	79,741	2,246,951	100.0

6 平成25年度 宮古島市教育委員会主要施策体系



7 宮古島市教育委員会事務分掌

教 育 部	教育総務課	TEL (0980) 77-4942/72-4945 FAX (0980) 77-4957
	総務係	○教育委員会会議に関すること ○秘書業務に関すること ○広報に関すること ○教育予算の総括に関すること ○県教育委員連合会及び県教育長会に関すること ○表彰及び儀式に関すること ○規則規程の制定及び改廃に関すること ○地方教育行政調査に関すること ○宮古島市の教育編さん発行に関すること ○奨学資金に関すること ○事務事業点検評価報告書に関すること ○その他、他課に属さないこと
	管理係	○市費負担職員の給与に関すること ○市費負担職員の任免、分限、懲戒、賞罰、服務、福利厚生、公務災害その他人事に関すること ○公印の管理及び文書の収受に関すること ○請願及び陳情の総括に関すること ○教育行政に関する相談に関すること ○課の庶務及び課の予算執行に関すること
	学校施設係	○教育財産の総括に関すること ○学校施設の建設計画、設置に関すること ○学校施設の用途変更、廃止及び処分に関すること ○学校施設の目的外使用に関すること ○学校施設の維持管理に関すること ○学校施設の警備に関すること ○学校施設に関する調査及び統計に関すること ○学校管理物品整備に関すること ○学校施設台帳の整理保存に関すること ○環境衛生作業員に関すること
	学校教育課	TEL (0980) 77-4944 FAX (0980) 77-4957
	学務係	○児童生徒の就学に関すること ○通学区域及び通園区域に関すること ○学校基本調査に関すること ○幼稚園就園に関すること ○県費負担教職員の免許、任免、分限、懲戒、賞罰、服務、福利厚生、公務災害その他人事に関すること ○県費負担教職員の給与の内申に関すること ○要保護・準要保護に関すること ○特殊教育奨励補助に関すること ○幼稚園入園料・保育料の調定、徴収及び減免に関すること ○幼稚園就園奨励費補助に関すること ○学校教育設備費等補助事業（理科教育等設備整備）に関すること ○教材及び図書備品に関すること ○教育用パソコンに関すること ○学校配当予算及び支出伝票に関すること ○教職員の組織する職員団体に關すること
	指導係	○学校経営及び幼稚園経営についての指導助言に関すること ○教育課程及び教育内容についての指導助言に関すること ○教科用図書に関すること ○学校行事の承認及び指導に関すること ○学校安全教育及び独立法人日本スポーツ振興センターに関すること ○学校保健の計画及び実施に関すること ○幼児、児童、生徒及び教職員の健康診断に関すること ○学校の環境衛生に関すること ○教育実習に関すること ○県費負担教職員及び幼稚園教職員の研修に関すること ○生徒指導及び進路指導 ○校長連絡会、教頭連絡会に関すること ○特殊教育及び就学指導に関すること ○ALTに関すること ○学校教育に係る調査研究に関すること ○学校教育団体の育成指導に関すること ○課の庶務及び文書の収受に関すること

教 育 部	教育研究所	TEL (0980) 77-4944 FAX (0980) 77-4956 ○教育に関する専門的、技術的事項の調査及び研究に関すること ○教育職員の研修に関すること ○教育関係資料の収集及び活用等に関すること ○研究成果の普及に関すること
	学校給食共同調理場	TEL (0980) 72-4241/72-2265 FAX (0980) 72-3074 ○宮古島市立小・中学校の児童生徒及びその他教育機関の職員の給食に関する こと ○給食物資の調達に関すること ○学校給食の調理及び配送に関すること ○食器、食缶等の洗浄、消毒及び保管に関すること
	学校規模適正化対策班	TEL (0980) 77-4942 FAX (0980) 77-4957 ○学校規模適正化に関すること ○学校規模適正化検討委員会に関すること ○通学区域及び通園区域に関すること ○宮古島市学校区審議会に関すること ○学校施設の建設計画に関すること

生 涯 学 習 部	生涯学習振興課	TEL (0980) 77-4946／77-4947 FAX (0980) 77-4957
	社会教育係	○社会教育の振興に関すること ○社会教育委員に関すること ○社会教育指導 員に関すること ○社会教育に関する条例、規則、規程等に関すること ○社会教育施設の設置、管理運営及び廃止に関すること ○社会教育施設の運営の指導助言に関すること ○社会教育団体の指導育成に ること ○青少年の教育及び健全育成に関すること ○成人式に関すること ○課の庶務及び文書の収受に関すること ○青少年問題協議会に関すること ○その他社会教育及び青少年に関すること
	生涯学習係	○生涯学習の振興に関すること ○生涯学習基本計画、基本構想に関すること ○生涯学習フェスティバルに関すること ○生涯学習人材バンク及び情報提供 に関すること ○ボランティア活動に関すること ○人権教育に関すること ○視聴覚教育に関すること ○その他生涯学習に関すること
	文化振興係	○文化活動の総合企画に関すること ○芸能、演劇、音楽、講演会、展示会等、 芸術文化の振興に関すること ○文化団体、サークル育成に関すること ○学術 機関、団体との協力に関すること ○課の庶務及び文書の収受に関すること ○その他文化活動に関すること
	文化財係	○文化財の調査、研究、指定、廃止及び保護に関すること ○文化財保護審議 会に関すること ○宮古上布保持団体に関すること ○文化財の維持管理に関す ること ○ユネスコ活動に関すること ○市史編さんに関すること ○市史編 さん委員に関すること ○その他文化財に関すること
	市民スポーツ課	TEL (0980) 73-4469 FAX (0980) 73-5832
	体育施設係	○体育施設の建設計画、設置及び廃止に関すること ○社会体育の総合計画に 関すること ○体育施設の維持管理に関すること ○課の庶務及び文書の収受に 関すること
	スポーツ振興係	○スポーツの振興に関すること ○保健体育の企画、調査、研究及び情報交換 に関すること ○スポーツ教室、大会、講習会の開設及び運営に関すること ○市民の体力づくりに関すること ○各種スポーツ団体に関すること ○学校体育施設開放に関すること ○その他保健体育に関すること

平良図書館

TEL (0980) 72-2235 FAX (0980) 73-1136

資料係

○公印の管理に関すること ○図書館電算システムに関すること ○図書館資料の購入計画、保存及び除籍に関すること ○施設整備及び備品の維持管理に関すること ○集会室等の貸出業務に関すること ○図書館の庶務に関すること ○館報その他読書資料の発刊及び配布に関すること ○時事に関する情報及び参考資料の紹介並びに提供に関すること ○地方行政資料、郷土資料等の収集及び貸出しに関すること ○公用車の管理に関すること ○図書館協議会に関すること ○こども放送局等に関すること ○館内の他の係に属さないこと

奉仕係

○図書館資料の貸出しに関すること ○おはなし玉手箱に関すること ○図書館資料の選定及び整理に関すること ○移動図書館運営に関すること ○図書館の文化事業に関すること ○レファレンス・サービス（調べものの手助け）に関すること ○他の図書館、学校、公民館、博物館等の連絡及び協力に関すること ○市立学校図書館との連絡及び協力に関すること ○読書団体との連絡及び団体活動の促進に関すること ○図書館の読書相談に関すること ○学校・団体貸出しに関すること ○その他図書館奉仕に関すること

城辺図書館

TEL (0980) 77-8813 (FAX兼)

管理係

○図書館資料の購入計画、保存及び除籍に関すること ○図書館資料の貸出しに関すること ○レファレンス・サービス（調べものの手助け）に関すること ○他の図書館、公民館、博物館等との連絡及び協力に関すること ○市立学校図書館との連絡及び協力に関すること ○読書団体との連絡及び団体活動の促進に関すること ○図書館の読書相談及び読書案内に関すること ○移動図書館に関すること ○施設管理及び備品の維持管理に関すること ○図書館の庶務に関すること ○その他図書館奉仕に関すること

平良図書館北分館

TEL (0980) 72-2317 FAX (0980) 72-2352

分館奉仕係

○図書館資料の貸出しに関すること ○分館資料の購入計画、保存及び除籍に関すること ○レファレンス・サービス（調べものの手助け）に関すること ○分館の読書相談及び読書案内に関すること ○施設管理及び備品の維持管理に関すること ○分館の庶務に関すること ○その他分館奉仕に関すること

公民館

中央公民館 TEL (0980) 73-1123 FAX (0980) 73-1223 /
城辺公民館 TEL (0980) 77-4903 FAX (0980) 77-4227 /
上野公民館 TEL (0980) 76-2483 FAX (0980) 76-6398 /
下地公民館 TEL (0980) 76-6017 FAX (0980) 76-6018 /
伊良部公民館 TEL (0980) 78-3558 FAX (0980) 78-6210

○公民館の管理運営に関すること ○各種団体との連絡調整に関すること
○各種講座解説に関すること ○公民館運営審議に関すること
○施設、備品の管理に関すること

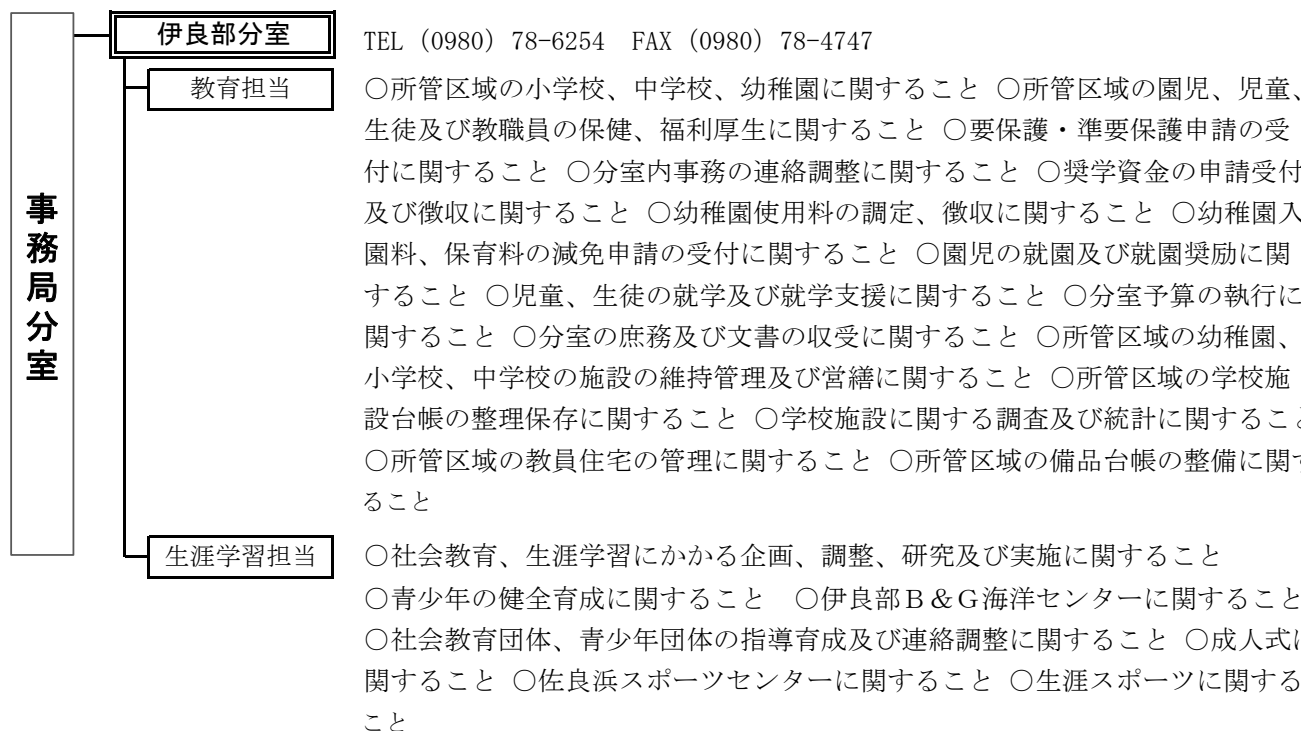
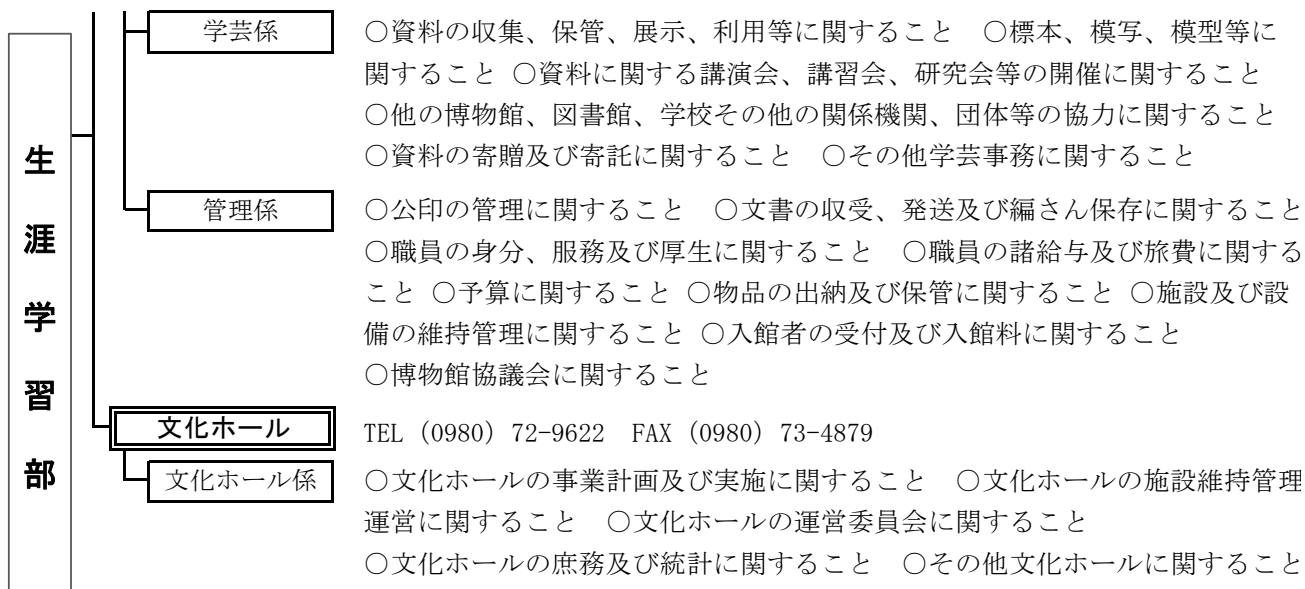
久松地区公民館・西原地区公民館・下崎地区公民館

総合博物館

TEL (0980) 73-0567 FAX (0980) 73-0822

学芸係

○資料の収集、保管、展示、利用等に関すること ○標本、模写、模型等に関すること
○資料の利用に関する助言、指導等に関すること
○資料に関する専門的、技術的な調査研究に関すること
○資料の保管及び展示等に関する技術的な研究に関すること
○資料に関する解説書、目録、図録、研究報告書等の刊行に関すること



学 校 教 育

～生きる力を育てる学校教育の充実～

1 節 宮古島の学校教育

学校教育では、変化の激しいこれからの社会を生きる子どものために、確かな学力、豊かな心、健やかな体など、知・徳・体をバランスよく育てることが大切である。

教育基本法の改正及び学校教育法の改正で、教育の目的及び目標が明確に示された。

宮古島の学校教育においては、関係法令はもとより、沖縄県教育施策を踏まえるとともに、宮古教育事務所の管内教育行政の努力事項及び宮古島市総合計画並びに平成25年度施政方針との整合性を図りながら、宮古島市教育ビジョンに沿った教育行政全般にわたる進展が図られるよう努める。

1 学校教育の振興



2 施策

(1) 幼稚園教育の推進

幼児期は、心情、意欲、態度、基本的な生活習慣など、生涯にわたる人間形成の基礎が培われる極めて重要な時期であり、幼児は、生活や遊びといった直接的・具体的な体験を通して、情緒的・知的な発達、あるいは社会性を涵養し、人間として、社会の一員としてよりよく生きるための基礎を獲得する。

幼稚園においては、幼稚園教育の基本が環境を通して行う教育であることを踏まえ、幼児一人一人の発達の特性を生かした幼稚園教育の改善・充実を図ることが重要になる。

そのため、園や地域の特色を生かした指導方法や指導体制の工夫を行うとともに、学校評価を生かして改善・充実を進める必要がある。また、教職員の特別支援教育への理解を深め、障害のある幼児のニーズに応じた適切な対応について必要な支援を図るための研修の充実を図ることが重要になる。

①幼稚園教育の充実

ア 幼稚園教諭の資質向上を図るため、幼稚園教諭研修会の充実を図る。

イ 研修をととして特別支援教育に対する理解を深めるとともに、特別支援教育に係る校内委員会を設置するなど、幼稚園における特別支援教育の充実を図る。

②各幼稚園の特色ある教育の推進

ア 特色ある教育課程の編成等、各幼稚園や地域の実態に合わせた教育を推進する。

イ 幼稚園における学校評価を充実させ、その結果を保護者や地域の人々に積極的に公表し、点検と改善を繰り返すことにより、特色ある教育を推進する。

③幼稚園を活用した子育て支援の推進

ア 幼児の社会性や豊かな人間性を育むため、地域の人材を積極的に活用する。

④保育所や小学校との連携の推進

ア 幼稚園と小学校での合同研修会や行事等を通して幼稚園教育と小学校教育の円滑な接続の在り方を工夫する。

イ 幼稚園と保育所で子どもたちの交流会や合同研修会やを通した幼保連携の充実を図る。

【施策及び研修事業等】

幼稚園教諭研修会 教育課程編成書の作成 教育計画の作成

特別支援教育コーディネーター研修会 幼稚園補助職員派遣事業

就園奨励補助事業

(2) 学力向上の推進

幼児・児童・生徒一人一人に確かな学力などの「生きる力」を育むことを目指して、基本的な生活習慣の形成を基盤として、幼・小・中の各学年で身に付けるべき内容の確実な定着のために、連携の充実やマネジメントサイクルの確立などを通して具体的で実効性のある学力向上推進の充実を図る。

①確かな学力などの生きる力を育む取組の充実

ア 確かな学力の向上を図るために、学習を支える力の育成を基盤として「学年のたすき」をつなぐ取組、「学びのみやこ」や「わかる授業」を推進する。

イ 豊かな心の育成を図るために、幼稚園においては交流教育などや主体的な遊びを促す取組を展開し、学校においては人とのかかわりなどを生かした授業展開や体験活動、学年に応じたキャリア教育の充実を図る。

ウ 健やかな体の育成を図るために、幼稚園においては手洗いや排泄など生活リズムを確立する取組を展開し、学校においては健康診断や新体力テストなどの実態を踏まえた具体的で日常的な取組の充実を図る。

②基本的な生活習慣の形成を図る取組の充実

- ア 1日の生活リズムを確立するために、園・学校・家庭・地域が連携した具体的で日常的な取組の充実を図る。
- イ 規範意識やマナーの育成を図るために、園・学校の一日の生活の中で実態を踏まえた具体的な実践の充実の取組を図る。

③推進体制の確立

- ア 幼稚園においては生きる力の基礎を育成するために、計画的な環境構成に努め、幼児の主体的な遊びを促し、幼児期にふさわしい生活をとおして知的好奇心の芽生えを育む取組を展開し、家庭・地域と連携した学力向上の取組を推進する。
- イ 学校においては確かな学力などの定着を中核とする取組を図り、達成目標の実現状況を学年ごとに評価し、その成果や課題を学年間で引き継ぎ、保護者や地域に公表し、連携した学力向上の取組を推進する。
- ウ 家庭や地域においては「心のみやこ」の育成、早寝・早起き・朝ごはんの推進等を図り幼児児童生徒の健やかな成長をめざした学力向上の取組を推進する。
- エ 宮古島市学力向上推進委員会の活性化を図り、宮古教育事務所と連携し、市の特色を生かした学力向上の取組を推進する。

【施策及び研修事業等】

宮古島市学力向上推進委員会 宮古島市学力向上推進要項の作成
学力到達度調査の全体的な分析結果の公表 学力向上推進担当者会の開催
学力向上推進ヒヤリングの実施 標準学力検査の実施
全国学力・学習状況調査の実施 沖縄県学力到達度調査の実施
文部科学省教科調査官等招聘事業 検定料半額補助金事業
朝の読書活動の充実 「早寝・早起き・朝ごはん」運動の推進
宮古島市研究指定校（北小学校）

（３）学校経営の充実と「開かれた学校づくり」の推進

学校経営においては校長のリーダーシップの下、全職員がその職責を十分に認識し、学校・保護者・地域社会が緊密な連携を図り、地域に根ざし、地域に開かれた学校づくりを推進する。

そのために、日常的な情報の発信や児童生徒や保護者、地域の人々からの意見や要望等を学校改善に生かす等、家庭や地域社会と連携した学校運営に努める。

①創意ある教育課程の編成及び特色ある教育活動の展開

- ア 校内外の研修の機会を捉え、学習指導要領、教育課程編成要領の理解を深め、新学習指導要領への移行を確実に行う。
- イ 地域、学校や幼児児童生徒の実態を把握し、RVPDCAのマネジメントサイクルに基づいた特色ある教育活動を展開するように努める。

②全職員参画による学校経営の充実

- ア 校内研修等を通して「学校評価ガイドライン〔改訂〕」や「開かれた学校づくり指針」等を活用し、学校評価や開かれた学校づくりに対する全職員の共通理解を図る。
- イ 校長の経営方針の下に一人一人の教師の専門性を生かし、組織的、一体的、継続的な教育活動の体制づくりと展開に努める。

③学校の自主性・自律性の確立

- ア 学校評議員等の活用に努め、保護者や地域の人々の学校運営への参画を推進する。
- イ 自己評価や学校関係者評価を行うとともに、その結果について保護者や地域の人々へ説明・公表するなど、「学校評価ガイドライン〔改訂〕」等を活用して、学校評価システムの確立に努める。
- ウ 各学校が行った自己評価や学校関係者評価の結果を設置者に報告し、必要な支援等を仰ぐよ

うに努める。

エ 各学校が教育活動等の成果を検証し、必要な改善を行い、児童生徒がより良い教育活動等を享受できるよう、教育の水準の維持・向上に努める。

④開かれた学校づくりの取組の充実

ア 開かれた学校づくりの充実を図るために、児童生徒や保護者・地域の意見等も参考に、学校の取組など、公表する内容・方法等について整理を行う。

イ 教育活動その他の学校運営の状況等について、「教育の日」の取組みやホームページ及びリーフレット、学校便り等により、保護者や地域の人々へ積極的に情報を提供する。

ウ 地域人材の意図的・計画的な活用を図るとともに、余裕教室等をPTA活動や地域コミュニティの場として活用するなど、施設・設備の一層の開放に努める。

エ 学校・家庭・地域社会が連携・協力した学校行事等の取組の充実に努める。

【施策及び研修事業等】

計画訪問の実施 要請訪問の実施 校長・教頭・幼稚園教諭職員研修会の開催

「教育の日」の充実 学校評議員の設置推進 学校評価の充実

学校ホームページ更新の推進 校務支援システムの効果的活用

（４）学習指導方法の工夫・改善・充実

学校においては、児童生徒一人一人の実態等を十分把握し、個に応じた指導体制や指導方法評価方法の工夫・改善を図るなど、沖縄型授業づくりを指針として全校体制による「わかる授業」の構築に努める必要がある。

①指導体制の改善・充実

ア 「わかる授業」を構築するためには、教師一人一人の教材理解と児童生徒の実態に応じた効果的な指導方法について日常的な研修が必要となる。そのためには、教師が主体的に研究や研修に参画し、授業力の向上を図るとともに、研修成果の共有化と、波及させることができる研修システムを構築する。

イ 校内研究の充実を図るため、指導案の作成や授業研究等を学年会、教科部会及び学校全体で行い、日常的に授業づくり等について広く意見交換を行うなど、より効果的な指導が行える体制を構築する。

ウ 授業改善の支援に当たっては、校長、副校長及び教頭が授業に参加したり、助言を行ったりすることや、教科指導に優れた教師、経験豊かな教師が他の学級に協力するなど、様々な工夫を行う。

エ 指導の効果性を高めるため、外部の専門家等の地域教育資源を活用し、授業への参加・協力を得ることなどの工夫を行う。

②指導方法の改善・充実

ア キャリア教育の視点を踏まえて、学校、家庭、社会との連携を円滑にし、夢や希望を持たせる取組を行い、幼児児童生徒に「学ぶ意義」を実感させる。また、「なりたい自分」を広げる授業をつくり、主体的に学習に取り組む態度の育成を図る。

イ 沖縄型授業づくりを指針として、日頃の授業を見直し、授業改善を図る。

ウ 児童生徒に基礎的・基本的な知識・技能を習得させ、活用する力を育成するために、授業と連動させた宿題の与え方等を工夫するなど、児童生徒の主体的な態度を育成する。

エ 児童生徒の思考力、判断力、表現力等を育む観点から、言語に関する能力の育成を図る上で必要な「言語活動の充実」を各教科等で取り入れる。

オ 予想や見通しを立てたり、実際に確かめたり、比較・分類したり、考察したりするなどの問題解決的な学習や表現したり、活動を振り返ったりするなどの活動を工夫する。

③指導と評価の一体化

ア 観点別評価規準を明確にした上で、評価方法や評価時期を工夫した単元指導計画を作成し、

指導と評価の一体化（指導→評価→指導）による授業改善に取り組む。

イ 目標に準拠した評価及び個人内評価を充実させるため、評価資料や評価場면을適切に設定し、客観的な評価に努めるとともに、児童生徒の進歩の状況を認め・励ます等の自己評価・個人内評価を適切に取り入れる。

ウ 学習評価について理解を図るため、保護者や児童生徒に向けて、年度や学期の始め等に説明する機会を設ける。

④学力向上主要施策「夢・にぬふぁ星プランⅢ」の推進

ア キャリア教育の視点を踏まえた「確かな学力」の向上の推進

イ 「わかる授業」の構築による「確かな学力」の向上の推進

ウ 学力向上マネジメントによる「目標管理型評価システム」の推進

【施策及び研修事業等】

文部科学省教科調査官等招聘事業

学力向上に係る県外先進地校視察研修事業

学校人材バンク設置推進

（５）道徳教育の充実

児童生徒一人一人が豊かな心を育み、自らの人生をよりよく生きていけるようにするためには、自他の生命を尊重する心を基盤に、美しいものに感動するなどの豊かな情操、善悪の判断などの規範意識及び公共の精神、健康・安全、規則正しい生活などの基本的な生活習慣を育むとともに、伝統と文化を尊重し、それらを育んできた我が国と郷土を愛する態度を培うことが重要である。

このため、学校においては、児童生徒の発達段階に応じて、道徳的な心情や判断力、実践意欲と態度などの道徳性を培う道徳教育を、道徳の時間を要として学校の教育活動全体を通じて計画的・発展的に指導するとともに、全体にわたって調和的に補充、深化、統合することが必要である。

①学校の教育活動全体を通じた道徳教育の実践

ア 校長の方針の下、道徳教育推進教を中心とし、全教師による指導体制を整え、学校や地域の実態に応じた有効で具体性のある全体計画、年間指導計画（別葉を含む）を作成し、それに基づいた実践を全校体制で推進する。

イ 学校の重点目標に、生命を尊重する心や態度の育成を位置付けるとともに、発達の段階に応じた指導内容の重点化を図り、一層効果的な指導に努める。

ウ 各教科等で、それぞれの特性に応じた道徳の内容を適切に指導するとともに、学習が児童生徒の生き方に直接関わっていることを実感させるなど、共に学ぶ楽しさや自己の成長に気付かせる指導を展開する。

エ 児童生徒が身につける道徳の内容を表したWeb版「心のノート」（文科省）を教育活動の様々な場面で活用する。

②道徳の時間の指導の充実

ア 各学年の道徳の時間の「年間指導計画」、及び「３４・３５週分の指導略案」を作成する。

イ 年間指導計画、指導略案、資料等について、学年の協働体制による定期的な検討及び評価の場を設定する。

ウ 道徳の内容項目を児童生徒自らの課題としてとらえさせる。

エ 児童生徒が体験活動等で得た思いや考えを道徳の時間で生かしたり、先人の伝記、伝統と文化、スポーツなどの教材を活用したりすることで、心に響く道徳教育の充実に努める。

※Web版「読み物資料集」（文科省）の活用を図る。

※「道徳教育用郷土資料（守礼）」や「道徳実践活動学習教材」等、郷土に関わる適切な資料を活用し、人とのかかわりや郷土への愛着を高める指導の充実に努める。

オ 家庭や地域の方々をゲストティーチャーとして活用することで、開かれた道徳教育の充実に努める。

カ 教員の資質・力量を高めるため、授業力を向上させる研究会を実施する。

③家庭・地域社会との緊密な連携の推進

- ア 豊かな体験活動を一層活発に展開するため、家庭や地域の方々の参加・協力を得る。
- イ 教師及び保護者の道德教育に対する意識の高揚を図るため、道德の授業を保護者や地域に公開する。
- ウ 地域と学校・家庭とを結ぶあいさつや声かけ等、地域ぐるみの「凡事徹底」を推進する。

【施策及び研修事業等】

ボランティア活動の促進 心のノート活用促進
文部科学省指定道德教育研究校（東小学校）

（６）たくましい心と体を育む教育の推進

健康に関する指導については、生涯を通じて自らの健康をコントロールし、保持増進していく資質や能力を育成するため、保健、安全及び食に関する指導を教育活動全体を通じて行う必要がある。

また、体育・スポーツ活動に関する指導については、心と体を一体としてとらえ、積極的に運動に親しむ資質や能力を育てるとともに、豊かなスポーツライフの基礎を培う観点に立ち、基礎的な体力の向上を図る必要がある。

①学校・地域社会と連携した健康教育の充実

- ア 児童生徒の健康課題を解決するために、保健主事を中核として、学校医、学校歯科医、学校薬剤師、保護者及び専門機関と十分な連携のもと、学校保健委員会を年３回（計画立案、中間評価、まとめ）開催し、組織的・計画的に取り組む。
- イ 喫煙・飲酒・薬物乱用防止教育や性（エイズ）教育においては、児童生徒の発達の段階や学校、地域社会の実態を考慮し、学校教育活動全体を通じた特設授業や関連教科等における指導の工夫・改善を図る。
- ウ 心身の健康をコントロールできる児童生徒を育成するために、保健室の機能を充実させるとともに、学校教育活動全体を通じた健康教育の工夫・改善を図る。また、健康な生活習慣を形成するため、担任や養護教諭、学校医等が連携を図り、家庭・地域社会と一体となった支援体制の充実にむけた取組を行う。
- エ 安全教育においては、学校安全計画に基づき、日常的、定期的な安全点検の実施や「防災避難訓練」「防犯訓練」「交通安全教室」等の参加・体験・実践型教育の工夫・改善に努める。
- オ 食に関する指導を年間計画に位置付け、栄養教諭や学校栄養職員等を積極的に活用し、家庭や地域社会との連携を図りながら、給食時間や学級活動、関連教科等において、望ましい食習慣を形成するよう指導の工夫・改善を図る等、学校における食育推進体制の整備・充実に努める。

②体育・スポーツ活動の指導の充実

- ア 教科体育、特別活動、体育的行事のねらいの一貫性を図るとともに、地域や学校、児童生徒の実態に応じ、卒業までを見通した体力向上年間指導計画を作成する。
- イ 個を伸ばすため、「めあて学習」や「選択制授業」の拡充を図るとともに、ティームティーチングによる指導や学習形態の工夫・改善並びに目標に準拠した評価の工夫・改善に努める。
- ウ 本県の伝統文化である空手道、郷土の踊り等を、教科体育や学校行事等に積極的に取り入れるとともに、外部指導者の活用にも努める。
- エ 保健分野においては、児童生徒が健康・安全に関する理解を深めるため、「個に応じた指導」の充実に努めるとともに、「課題解決的な学習」、「実習を取り入れた学習」の充実に努める。
- オ 校内体力向上推進委員会等を設置して、新体力テスト及び泳力調査を計画的に実施・分析し、各学校や個に応じた数値目標や体力的課題等を明確にして、学校の教育活動全体を通じて体力・泳力の向上に努める。
- カ 運動部活動においては、加入率を高めたり、外部指導者を積極的に活用したりすることで活

性化を図るとともに、週1日程度の休養日等を設定するなど、運動部活動の適正化を推進する。

【施策及び研修事業等】

各種競技会への選手派遣費の補助 新体力テスト・泳力調査の実施
養護教諭研修会の開催 小体連・中体連への補助

（７）食育の推進

食は人間が生きていく上での基本的な営みの一つであり、健康的な生活を送るためには健全な食生活は欠かせないものである。

しかし、近年の子どもの食生活を取り巻く社会環境の変化などに伴い、食生活の乱れ、肥満や過度の痩身など、生活習慣病と食生活の関係も指摘され、望ましい食習慣の形成に係る指導の充実が求められている。特に成長期にある幼児児童生徒にとって、健全な食生活は健康な心身を育むために欠かせないものであると同時に、将来の食習慣の形成に大きな影響を及ぼすものであり、きわめて重要である。

このことを踏まえ、各学校においては、学校教育活動全体を通じた食育の推進に努め、家庭や地域関係機関と連携し、児童生徒に様々な経験を通じて「食」に関する知識と「食」を選択する力を習得させ、健全な食生活を実践することができる能力を育成していくことが必要である。

①学校における食育推進体制の確立及び充実

- ア 食育担当や栄養教諭等を中心に、学校の食に関する指導の全体計画及び発達段階に応じた各学年毎の食に関する指導の年間計画等を作成する。
- イ 児童生徒の発達段階に応じ、栄養や食事の取り方等について、正しい知識を習得させ、自ら判断し、実践していく力を身につけさせるよう食に関する指導の工夫を図るとともに、農漁業体験等、食に関する豊かな体験活動の充実に努める。
- ウ 学級担任等と栄養教諭、食育担当者等とのＴＴ授業等により、学校給食を生きた教材として活用しつつ、給食の時間をはじめとする関連教科等における食に関する指導の充実を図る。
- エ 学校給食等を活用した栄養指導等、個別の相談指導について、学校教育活動全体で推進するとともに、学校における食育推進の評価指標（朝食欠食率、給食残食率、地場産物活用率、児童生徒の肥満率等）を設定し、その改善を図る。
- オ 健康な食習慣を形成するため、宮古教育事務所が提唱する「心のみやこ～７つの習慣～」や「早寝・早起き・朝ごはん」の推進等、担任や養護教諭、学校医等が連携を図り、家庭・地域社会と一体となった支援体制の充実にむけた取り組みを行う。

②学校給食の充実

- ア 栄養教諭や学校給食調理場との連携を通して、安全・安心でおいしい学校給食に地域の地場産物の活用を促進したり、地域の行事食を提供するなど、学校給食の充実に努める。

③家庭・地域・関係機関との連携

- ア 家庭等における望ましい食習慣を確立するため、「日本型食生活」の実践について啓発するとともに、学校給食関係機関と連携し、食品の安全、栄養の摂取等、様々な機会を通じて食に関する情報の把握及び発信に努める。
- イ 家庭や地域における児童生徒の基本的な生活習慣に係る課題などについて共通理解を図り、課題解決に向けた取組につとめる。
- ウ 「食事バランスガイド」の活用にも努めるなど、宮古島市食育推進計画と連携した指導に努める。

（８）キャリア教育の充実

児童生徒に夢や希望をはぐくみ、時代の変化に力強くかつ柔軟に対応し、主体的に人生を生きることができる自立した社会人・職業人の育成を図ることが求められている。

このため、学校においては、児童生徒の発達の段階に応じたキャリア教育を推進し、望ましい勤労観・職業観の育成に努める必要がある。

①キャリア教育の理解、校内体制等の確立

- ア キャリア教育に係る「校内委員会」を設置するとともに、キャリア教育担当者を校務分掌に位置付け、校内の推進体制の確立を図る。また、「キャリア教育全体構想図」及び児童生徒の発達の段階に応じた「キャリア教育プログラム」を作成し実践する。
- イ キャリア教育の共通理解、取組の充実を図る校内研修等を推進する。
- ウ キャリア教育で児童生徒に身に付けさせたい「基礎的・凡庸的能力」を構成する4つの能力（人間関係形成・社会形成能力、自己理解・自己管理能力、課題対応能力、キャリアプランニング能力）の視点を踏まえた、各教科等の年間指導計画の作成を推進する。
- エ 授業のねらいの達成に向けた指導効果を高めるため、キャリア教育の視点に基づく地域教育資源を活用した授業づくりを推進する。

②進路指導の充実

- ア 「進路指導はキャリア教育の中核をなすものである」ことを踏まえ、生徒が自らの生き方を考え、主体的に進路を選択することができる力の育成を目指した計画的、継続的な進路指導を工夫する。
- イ 各学校は、卒業生や保護者、地域人材等を活用して、中・高の学校生活や学校と将来の職業とのつながりについての進路学習会等を推進する。
- ウ 各家庭へ進路情報や進路資料を提供し、子どもの将来についての話題づくりができるよう働きかけていく。
- エ 相談活動の拠点となる進路相談室を整備し、ガイダンスの機能を生かした進路指導の工夫を行う。
- オ 情報・進路資料等を提供する。

③職場見学、職場体験等の充実

- ア 職場体験活動は、体験を重視した教育の改善・充実を図る取組の一環としての役割を担うものであり、日々の学習活動と社会とを関連づけた活動を推進する。
- イ 小学校においては、保護者等の職場で、仕事の多様さや人と人とのつながり、身近な大人への理解及び夢や希望を育む機会として職場見学を実施する。
- ウ 中学校においては、地域の職場において、コミュニケーションと人間関係の大切さの理解、仕事を通した生きがいや責任感、自己有用感の育成、日常の学習と社会生活との結びつきを考えるなどの望ましい勤労観・職業観の育成を図るため、5日程度の職場体験を実施する。
- エ 職場体験の実施に当たっては、当該市町村教育委員会が設置する支援委員会等を通して、受入事業所等の確保に努め、近隣校や地域、家庭とも連携し、安全で円滑に実施する。
- オ 職場体験活動の事前指導では、児童生徒がその意義や狙いを十分に理解し、自分なりの目標をもって臨むことができるよう指導する。事後指導では、体験から学んだことをまとめ、その後の学習の充実につながるよう指導する。

【施策及び研修事業等】

進路適性検査の実施 職場見学・職場体験学習の促進
学校見学・体験入学の促進 シラバスの推進
地域型就業意識向上支援事業（西辺小、西辺中）

（９）特別活動の充実

社会の一員として成長していくためには、児童生徒一人一人が充実した学校生活を送り、学級や学年での集団活動を通してよりよい生活を築こうとする自主的・実践的な態度を育むとともに、個性の伸長に努めることが重要である。

このため、学校においては、児童生徒が集団の一員としての自覚を深め、自己を生かせるように学級や学年集団の中での望ましい人間関係の育成に努めることが大切である。

①指導計画の充実と指導体制の確立

- ア 特別活動の目標を明確にするとともに、具体的かつ実戦可能な全体計画を作成し、計画的に指

導する。

イ 年間指導計画の作成に当たっては、各教科等との関連を図るとともに、児童生徒の自主的・実践的な活動が助長されるようにする。

ウ 特別活動についての校内研修を実施するとともに、全職員の共通理解、協力体制のもとで計画、実施、評価を通して指導する。

②特別活動の内容の重点化と指導の充実

ア 学校や児童生徒の実態に応じて指導内容の重点化を図り、教師の適切な指導のもとに、児童生徒が、現在及び将来の生き方を考えることができるように工夫する。

イ 話し合い活動の充実を図り、学級活動を通して自主的に問題を解決したり、健全な生活態度を確立したりする。

ウ 係活動や当番活動、児童会・生徒会活動等を通して、児童生徒と教師、児童生徒相互の望ましい人間関係を構築する。

エ 幼児、高齢者、障害のある人々との交流や社会体験・自然体験、ボランティア活動等、社会奉仕の精神を養う活動などの豊かな体験活動を実施する。

オ 学校や地域の特性及び児童生徒の発達の段階に応じて、行事内容の重点化及び精選を行う。

カ 学校生活への適応や人間関係の形成及び進路の選択などの指導に当たっては、ガイダンスの機能を充実させ、定期的な教育相談を実施する。

キ 小学校においては、クラブ活動の意義を踏まえ、適切な授業時数を充て、異年齢集団のよさを生かした、自主的な活動を実施する。

ク 本土復帰40周年を迎え、その意義等を踏まえた学習の場を学校行事に位置づけ、平和教育と関連した取組を行う。

③家庭や地域社会との連携の充実

児童生徒が、自然や文化との触れ合いや地域の人々との幅広い交流などができるよう、社会教育施設や文化芸術団体等の活用などを工夫するとともに、家庭や地域社会と連携する。

④国旗・国歌の指導の充実

日本人としての自覚を養い、国と郷土を愛する心を育てるとともに、児童生徒が将来国際社会において信頼される日本人として成長していくことができるよう、国旗・国歌の指導を行う。

【施策及び研修事業等】

各種コンクール等への派遣費補助

修学旅行・体験学習等への補助

(10) 総合的な学習の時間の充実

総合的な学習の時間は、地域や学校の実態等に応じて、児童生徒に、自ら学び自ら考える力や学び方、調べ方を身に付けさせることをめざして行うことが重要である。

このため、学校においては、児童生徒自らが課題を設けて主体的、創造的、協同的に取り組む態度を育てるとともに、自己の将来の生き方を考える学習を展開するためのカリキュラム開発を行い、それに基づいた問題の解決や探究的な学習を推進する必要がある。

①全体計画や年間指導計画等の改善・充実

ア 育てようとする資質や能力及び態度、学習活動、指導方法や指導体制、学習の評価の計画等について見直しを行い全体計画を作成する。

イ 各教科、道徳、外国語活動及び特別活動で身に付けた知識や技能等を相互に関連付け、学習や生活において生かし、それらが総合的に働くようにするための指導計画を作成する。

ウ 児童生徒の学習経験や、はぐくまれた資質・能力を生かした体験活動に問題の解決や探究活動の過程を適切に位置付けた指導計画を作成する。

エ 学年ごとの目標や学習活動を学年間で関連付けるとともに校種間での取組状況の違いと学校段階の取組の重複を避け、内容の系列を明確にする。

②実施方法等の充実

- ア 全職員の共通理解の下、互いの専門性や特性を発揮し合って推進する指導体制を確立する。
- イ 教師の指導計画作成や運用の能力、特色ある学習活動を生み出していく構想力の向上を図るため校内研修を位置付け実地体験研修等を積極的に行う。
- ウ 児童生徒の自発性・能動性を重視しつつ、学習活動の活性化や発展を図るための教師の適切な指導を行い、教師の指導性と児童生徒の自発性・能動性のバランスを保ち豊かな学習活動を展開する。
- エ 問題の解決や探究活動の過程においては、他者と協同して問題を解決しようとする学習活動や、言語により分析し、まとめたり表現したりするなどの学習活動を積極的に取り入れる。
- オ 校外学習（調査・見学、体験等の活動）における児童生徒の安全の確保に努める。
- カ 万一の事故等に備え、保険に加入する等の措置も必要である。

③評価の充実

- ア 児童生徒に育てようとする資質や能力、態度をもとに、評価の観点や評価の規準を設定する。
- イ 児童生徒の学習状況について、育てようとする資質や能力及び態度が適切に育まれているか丁寧に見取り評価する。
- ウ レポートなどの制作物による評価やポートフォリオによる評価など多様な評価を位置づけ、自己評価や相互評価により自他の学びのよさに気付かせるように工夫する。

④保護者や地域社会の理解と協力

- ア 地域の関係機関や施設を利用したり、地域の人材を活用するにあたっては、日常的なかかわりを重視し、総合的な学習の時間の趣旨等についての理解を図るため、事前打ち合わせ等を綿密に行う。
- イ 活動の状況や成果を積極的に外部に公表し、地域の人々の理解や協力を得る。

【施策及び研修事業等】

総合的な学習の時間活動補助 全国市長会学校災害賠償保険への加入
「総合的な学習の時間事例集」等の活用促進
「総合的な学習の時間の授業と評価の工夫（国立教育政策研究所）」

(11) 人権教育の充実

人権教育は、生命を大切にし、自他の人格を尊重し、互いの個性を認め合う共生の心や他人の痛みがわかり、気持ちが理解できるなどの他人を思いやる心、正義感や公正さを重んじる心などの豊かな人間性を育むことをめざして行うことが重要である。

このため、学校においては、人権尊重の考え方や共生の心について児童生徒に正しく身に付けさせる指導を充実させるとともに、日常的なかかわりの中で、教職員と児童生徒間の信頼関係づくり、児童生徒相互の人間関係づくりに努めることが必要である。

①人権教育の指導体制や校内研修の充実

- ア 人権教育の全体計画を作成し、校内における指導体制の確立を図るとともに、人権に係る事項について共通認識、共通実践に努める。
- イ 校内における「人権委員会」の機能化を図るとともに、人権に関する校内研修を行う。
- ウ 児童生徒、教職員が共に人権感覚を高める「人権を考える日」（月1回程度）の取組を展開する。
- エ 「いじめ」は、基本的人権に係る重大な問題であるにとらえ、教職員間の日常的な情報交換など、全校体制による「いじめ」の未然防止と早期発見・早期解決に努める。
- オ 家庭や地域との連携を深めるとともに、保護者との信頼関係のもと、「いじめ」の未然防止、早期発見・早期解決に努める。
- カ インターネット等による人権侵害等の課題について、情報モラル指導の充実に努める。

②人権教育の指導の工夫・改善

- ア 自分の人権を守り、他者の人権を守ろうとする意識・意欲・態度の育成に努める。
- イ 人間尊重の視点から人権教育を推進するため、学校の教育活動全体を通じて、生命の尊重や法の下での平等、個人の尊重、男女平等及び相互の理解・協力についての指導の工夫・改善に努める。

③豊かな人間性を育む教育の充実

- ア 家庭・地域社会や関係機関と連携し、ボランティア活動や社会体験活動、高齢者や障害者との交流などの豊かな体験の機会の充実に努める。
- イ 児童生徒が意見や考えを発表する機会や場を設けるなど、児童の権利条約に基づいた活動を実際の生活に生かすよう努める。
- ウ 日常的な児童生徒とのかかわりの中で、虐待の早期発見に努めるとともに、関係機関と連携を図るなど、虐待の有無等についての把握及び適切な対応に努める。

【施策及び研修事業等】

- 「人権を考える日」の設定 i-checkの活用
- 「法務局・児童相談所・子どもの権利擁護委員会・警察署」等との連携

(12) 平和教育の充実

平和教育は、生命の尊重や個人の尊厳を基本に、思いやりの心や寛容の心を育むとともに、我が国と郷土を愛し、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度の育成をめざして行うことが重要である。

このため、学校においては、本県の歴史や地域の特性を考慮し、平和教育を各学校の教育計画に位置づけ、学校の教育活動全体を通して、組織的・計画的に推進する必要がある。

①学校の教育活動全体を通した平和教育の推進

- ア 「平和教育指導の手引き」（県教育委員会）に示されている「基本的な考え方」と「指導指針」を踏まえ、全職員の平和教育に対する共通理解に努める。
- イ 各教科、道徳、特別活動及び総合的な学習の時間の目標や内容との関連を明確にしながら、各教科等の年間指導計画に位置づけ、平和教育を推進する。
- ウ 平和教育を推進するにあたっては、心身ともに発達の過程にある児童生徒の判断力や社会的経験を配慮する。
- エ 外部講師等に頼らない平和教育の指導力の向上を目指し、校内研修計画に平和教育を位置づけ、研鑽を深めるとともに、全職員による協働体制を確立し、指導の充実に努める。

②指導内容や指導方法の工夫・改善

- ア 世界平和と人類の幸福に貢献する立場から、生命の尊重や個人の尊厳を理解させ、思いやりの心、寛容の心を育てる。
- イ 平和教育の指導にあたっては、児童生徒の発達段階に応じた教材を開発するとともに、体験的な学習や地域の人材を活用するなど、多様な指導方法の工夫・改善に努める。
- ウ 『平和教育関連施設マップ』（県教育委員会）等を活用するとともに、児童生徒の安全等に十分配慮して、校外における体験的な学習の充実に努める。
- エ 他の国の文化や生活様式、価値観を理解し尊重する態度を育てる教材を取り上げ、異なる文化を理解する態度の育成に努める。

(13) 生徒指導の充実

生徒指導は、一人一人の児童生徒の個性の伸長を図りながら、同時に社会的な資質や能力・態度を育成し、さらに将来において社会的に自己実現ができるような資質・態度を形成していくための指導・援助であり、個々の児童生徒の自己指導能力の育成を目指すものである。

そのために、教育活動においては、日頃から学級経営の充実に図り、教師と児童生徒の信頼関係

及び児童生徒相互の好ましい人間関係を育てるとともに、児童生徒理解を深め、児童生徒が主体的に判断、行動し積極的に自己を活かしていくことができるよう生徒指導の充実を図ることが重要である。

①児童生徒個々への対応の充実を図る

- ア 対話と活動を重視し、ブレず、見捨てず、関わり続けることを念頭に、将来を見据えた粘り強いプロGRESS・サポート（段階的指導・支援）を行う。
- イ 児童生徒と教師相互の共感的人間関係を築き、児童生徒理解に努める。
- ウ 自他を認め思いやり、協働し、自主性・自立性を含む自己指導能力の育成に努める。
- エ 将来の夢や希望を持ち自立を目指し、発達段階に応じた指導・支援の充実を努める。

②学校全体としての取組の充実を図る

- ア 校長をリーダーとし、全職員の共通理解と共通実践のもと、組織的な教育活動を行う。
- イ 学校生活全般はもとより授業においても、生徒指導の3機能（自己存在感を与える、共感的人間関係を育成する、自己決定の場を与え自己の可能性を開発する援助）を盛り込み、「わかる授業」の実践・充実に努める。
- ウ 学級活動と連動した、児童会・生徒会活動の活性化を目指し、児童生徒同士が自立を促し、委員会活動や学校行事を通して自治意識の醸成に努める。
- エ 事件・事故・虐待等の未然防止に向けた取組の充実に努める。
暴力行為やいじめ、窃盗(万引き)、喫煙・飲酒等薬物乱用、性の逸脱行為等や不登校、及び事故（交通事故、水難事故）等に対して、役割連携をもとに、生徒指導体制、教育相談体制を確立し対応する。
また、臨床心理士やスクールソーシャルワーカー、問題行動等学習支援員、教育相談員、子どもと親の相談員、巡回教育相談員、中一サポーター等の効果的活用、ケース会議の実施、支援チームの形成等ケースに応じた対応の充実に努める。
- オ 人権教育を推進し、すべての命は尊く、有限であり、何人も自他の命を脅かしてはならないことに留意した指導に努める。
- カ 他と協調する人間関係の構築・維持・改善を図る能力としてのソーシャルスキルを、道徳、特別活動等の授業を中心とした全ての教育活動を通して向上させる。
- キ 教育事務所、市教育委員会、巡回教育相談員、市教育委員会教育相談員等による学校訪問を通して、県生徒指導関連事業の理解を深め、その活用を努める。

③家庭・地域社会、関係機関・団体との連携

- ア 関係機関・団体との連絡会・協議会などの充実を図り、問題行動への対処のみならず、健全育成と問題行動の未然防止の視点を持ち、情報連携・行動連携を積極的に行う。
- イ 市教育委員会、自治会、子ども会、社会教育関係団体等と連携し、児童生徒のよさを伸ばし、心の拠り所となるような「居場所づくり、活躍の場づくり」のための指導・支援体制の確立に努める。
- ウ 中学校区内生徒指導連絡会や家庭教育支援会議等を機能化し、家庭や地域、警察、児童相談所関係機関・団体等との情報連携、行動連携を充実させ、暴力行為、いじめ、窃盗(万引き等)インターネットや携帯電話に係る課題、児童虐待等生徒指導上の諸問題への対応の充実や児童生徒の健全育成に努める。
- エ スクールソーシャルワーカー活用事業の充実を図り、機動的な取組（ケース会議の開催等）を通して、個に応じた支援の充実に努める。
- オ 幼稚園・小学校・中学校・高等学校等の異校種間連携や、同校種間連携の推進に努める。
- カ 家庭・地域社会と連携して、豊かな心や自己指導能力の育成を図るため「心のみやこ〜7つの習慣〜」「早寝・早起き・朝ごはん」の取組を推進する。

【施策及び研修事業等】

- | | |
|-----------------|----------------|
| 小・中学生指導主任研修会の開催 | 生徒指導に係る学校訪問の実施 |
| 教育相談室相談事業の推進 | 子どもと親の相談員の配置 |

市適応指導教室（まていだ教室）指導教諭・指導員の配置
生活実態調査（i - c h e c k）の実施 臨床心理士の活用
スクールソーシャルワーカー配置事業の推進 特別支援教育支援員の配置
中学生生き生きサポート事業支援員の配置

（14）国際理解・外国語教育の推進

国際化の急速な進展に伴い、広い視野を持ち、異なる文化を持った人々と共に協調して生きていく資質や能力を育成することが一層求められている。

このため、学校においては、小学校段階からの国際理解教育の充実を図り、コミュニケーションの手段としての外国語（英語）に慣れ親しませ、外国語（英語）を用いて、コミュニケーションを図る楽しさを体験させるなど、中学校外国語（英語）教育との円滑な接続と学びの連続性を踏まえたコミュニケーション能力の育成を一層の充実させることが重要である。

①学校の教育活動全体を通じた国際理解教育の推進

- ア 各教科等の目標や内容との関連を踏まえた全体計画を作成し、学校の教育活動全体を通じて国際理解教育に取り組む。
- イ 国際理解教育においては、異なる考えや意見を受け入れるなど、相手を思いやる心の育成を重視し、それらを基盤とした取組を重視する。
- ウ 特別活動や総合的な学習の時間等において、地域の外国人との交流やJ I C A沖縄国際センターによる国際理解事業等の活用により、自国や外国の文化に対する理解を深め、異なる文化を持つ人々と協調して生きていく態度などを育成する。

②小学校における外国語活動の充実

- ア 外国語活動の授業は、学習指導要領や地域、学校および児童の実態を踏まえた年間指導計画を基に、学級担任や外国語活動担当教諭が行い、A L Tなどを活用したティームティーチング等、指導方法を工夫する。
- イ 外国語活動の実施においては、小学校5年生、6年生を対象とし、発達の段階に応じた歌やゲーム、簡単な挨拶やスキットなど、音声を中心とした体験的な活動等を工夫する。
- ウ A L Tなどと触れ合う機会を設けることで、英語やその他の外国語に慣れ親しみ、外国や自国の言語・文化に対する理解を深める。
- エ 担任が中心となり外国語活動の指導が展開できるように、指導方法の研究や教材作成等に係る校内研修を行う。

③小学校の外国語活動を踏まえた中学校の外国語（英語）教育の充実

- ア 外国語活動の内容及び方法について理解するとともに、外国語活動の授業参観等を行うなど小学校との連携を図り、系統的な指導に生かす。
- イ 音声を重視したA L Tとのティームティーチングやグループワーク等の指導形態及び指導方法の工夫・改善を積極的に行い、「聞くこと」、「話すこと」、「読むこと」、「書くこと」の4技能の総合的な育成を図り、英語によるコミュニケーション能力の基礎を培う。
- ウ 国際化社会における英語の重要性と必要性を理解させるとともに、具体的な目標を立てさせることや外国人との交流会等を積極的に実施するなど、学習意欲を高める指導を行う。

④帰国・外国人児童生徒教育の充実

- ア 帰国・外国人児童生徒一人一人の実態を十分把握し、当該児童生徒が自信や誇りを持ち、学校生活において自己実現が図られるよう、組織的な支援・相談体制を整備する。
- イ 帰国・外国人児童生徒の特性を生かし、相互に啓発しあう環境づくりを行う。
- ウ 帰国・外国人児童生徒の生活背景、発達の段階などに応じた効果的な日本語指導や教科指導の工夫を行う。

【施策及び研修事業等】

中学生海外ホームステイ派遣事業の促進（米国ハワイ州）
全宮古中学校英語ストーリーテリングコンテスト

(15) 特別支援教育の充実

特別支援教育は、障害のある幼児児童生徒の自立や社会参加に向けた主体的な取組を支援するという視点に立ち、幼児児童生徒一人一人の教育的ニーズを把握し、その持てる力を高め生活や学習上の困難を改善又は克服するための適切な指導や必要な支援を行うものである。

このため、学校においては、特別支援教育に関する校内委員会の設置、特別支援教育コーディネーターの位置付け等の支援体制を整備し、全教職員が一体となった組織的な取組を推進する必要がある。

①特別支援教育を行うための体制の整備及び必要な取組

ア 学校経営計画に特別支援教育についての基本的な考え方や基本的方針を示し、校長のリーダーシップのもと全教職員が協力し合い、組織的、計画的な推進する。

イ 特別支援学級担当教員の適切な配置やその資質の向上を図る。

ウ 校務運営組織に就学指導委員会等の特別支援教育に関する校内委員会を設置する。

エ 特別支援コーディネーターを中心に、校内委員会等の機能化を図り、通常の学級に在籍する障害のある児童生徒の支援体制の充実に努める。

オ 校内研修等を通して特別な支援を必要とする児童生徒への具体的な指導方法、指導上の留意点等について理解を深め、専門性の向上に努める。

カ 特別支援学級の弾力的運用として通常の学級に在籍する児童生徒が、特別支援学級で支援が必要な場合は、校内委員会や保護者との相談等をもって対応できるよう校内の条件整備に努める。

キ 特別支援教育支援員等の活用については、特別支援教育コーディネーターを中心に担任や学年職員などと連携を取り合い、児童生徒への支援が円滑に行われるようにする。

ク 幼児児童生徒個々の発達段階（障害の状態や特性など）を的確に把握し、授業や学校生活での目標、具体的な学習内容・方法など、きめ細かな指導が行えるよう「個別の指導計画」を作成する。また、関係者（教育、医療、福祉等）の一貫した教育的支援を行うために「個別の教育支援計画」を作成する。

※「個別の教育支援計画」を作成する際は、市町村の個人情報保護条例等に基づいて、適切な手続きを行うこと。

②特別支援学級の教育課程の充実

ア 児童生徒の障害の状態、特性等や学級の実態に即した教育課程を編成する。

イ 教育課程編成に当たっては、小・中学校学習指導要領を踏まえ、必要に応じて、特別支援学校の小学校部・中学校部学習指導要領を参考にする。

③交流及び共同学習の充実

ア 特別支援学級の児童生徒と通常の学級の児童生徒との交流及び共同学習は、児童生徒の実施等を十分に考慮して、学校全体の教育計画に位置付けて推進する。

イ 地域の人々と活動を共にする交流及び共同学習を推進する。

④就学指導体制の充実

ア 校長、教頭、校医、教務主任、特別支援学級担任、学年担任、養護教諭等で組織する校内就学指導委員会の機能化に努める。

イ 校内就学指導委員会は、就学指導や教育相談等を継続的に行うとともに、宮古島市就学指導委員会と連携を取り合い、適切な対応に努める。

ウ 障害のある幼児児童生徒及び保護者を対象に特別支援教育を理解してもらうため、体験入学（学校・学級参観、教育活動への参加、就学相談等）を恒常的に実施できるような体制づくりを図り、就学指導の充実に努める。

⑤通級による指導の充実

通常の学級担任と通級の指導担当者は、児童生徒の様子や変化について情報交換会を行い、指

導の充実を図る。

【施策及び研修事業等】

保護者・保育園・福祉保健所等と連携した就学指導体制の確立

特別支援教育に係る学校巡回訪問の実施

特別支援学校への体験入学の恒常化

特別支援学級設置校間の交流促進

特別支援教育講演会の開催

特別支援教育支援員派遣事業の充実

宮古島市就学指導委員会

(16) 情報教育の充実

高度情報通信ネットワーク社会においては、児童生徒がコンピュータやインターネットを活用し、情報化社会に主体的に対応できる「情報活用能力」の育成と情報モラルに関する指導の充実が重要である。

このため、学校において、校務の情報化を積極的に推進するとともに、ICTの活用や情報モラル指導のための校内研修を実施し、児童生徒に情報を適切に活用する基礎的な能力等を系統的に育成する。

①学校教育全体を通じた情報教育の充実

ア 情報化推進リーダーを校務分掌に位置付け、校内教育情報化推進委員会の機能化を図り、校内情報化推進計画の見直しなど、校務の情報化を推進する。

イ ICT活用指導力の向上を図るため、情報教育に係る校内研修を充実させるとともに、ICT教育センター等での研修に積極的に参加する。

ウ 情報モラル教育については、情報教育の年間指導計画に位置付け、各学校の実態に合わせた情報モラル指導カリキュラムを作成し、児童生徒の発達の段階に応じて、系統的、継続的に指導する。

②情報通信ネットワークや教育用コンテンツの活用の充実を図る

ア 校務支援システムを活用し、校務の効率化や教育の質の向上をめざす。

イ 校内LAN等を利用し、教材や校務処理用データ等の教育情報の共有化を図り、授業の改善や校務処理の効率化を推進する。

ウ 教育情報共有システム（IT教育総合案内サイト）等にある教育用コンテンツ（デジタル教材や教育実践事例等）の活用を図るための校内研修を実施する。

エ 教育活動の状況について、保護者や地域住民に対して積極的に情報を公開・提供するため、学校ホームページの定期的（学期1回以上）に更新を行う。

③指導内容や指導方法の充実を図る

ア 情報活用能力を育成するため、児童生徒に身に付けさせたい技能等の達成目標（発達の段階に応じた行動目標）を設定する。

イ ICT機器を活用し、児童生徒の学習に対する興味・関心・理解を高め、「わかる授業」の展開に向けた指導方法の工夫・改善のための校内研修を実施する。

④情報モラル指導や情報安全管理の充実を図る

ア 有害情報やメール・掲示板での誹謗・中傷など、情報化の「影」の部分への対応や個人情報の保護等について教職員自ら理解を深め、情報モラルに関する指導を行う。

イ インターネットや携帯電話を介した事件事故を防止するため、ネット社会に潜む危険性に気付かせるとともに、不適切な情報に的確に対処できる判断力や危険を回避する態度を育成する。

ウ 有害情報に対するフィルタリングの必要性和普及について、PTA研修会や家庭への文書等を通して啓発を行う。

エ 個人情報の取得、情報安全管理等について「個人情報保護方針」「校内における個人所有パソコンの利用」などの情報の安全管理に関する規程を策定し、個人情報を適正に取り扱う。

【施策及び研修事業等】

ICT研修会の開催

情報活用能力及び情報モラルに係る実態調査

(17) 環境教育の充実

学校教育において、地球的視野で環境を大切にし、地球環境の保全やよりよい環境の創造のために主体的に行動する資質、能力を育成していく必要がある。

そのために、地球の身近な問題に目を向けた内容で構成し、身近な活動から始め、家庭や地域社会等における取組と連携を図ることが重要である。

①学校の教育活動全体を通じた環境教育の実施

ア 「環境に親しむ活動」「環境のしくみを学ぶ活動」及び「環境を保全・創造する活動」の環境教育の3つの視点をふまえて全体計画を作成する。

イ 各教科、道徳、特別活動の目標及び総合的な学習の時間のねらいとの関連性を明確にした年間指導計画を作成する。

ウ 児童会・生徒会活動等の活動計画にあたっては、児童生徒が身近な環境問題について考える場を設定し、主体的に取り組めるよう、環境保全に関する内容を位置付ける。

エ 日常的な取組を継続させるとともに、世界環境デー等を生かした取組を展開する。

オ 県の「ちゅら島環境21」、市の「エコアイランド宮古島」の宣言文を踏まえ、全職員の共通理解のもと、学校の教育活動全体を通して地域の特色を生かした環境教育の充実を図る。

②環境に関する指導内容や指導方法の工夫

ア 各教科等における環境に係る内容との関連を図るとともに、身近な素材や題材を扱う体験的な学習や問題解決的な学習を重視する。

イ 小学校の低・中学年においては、自然や文化により多く触れる機会を通じて、身近な環境を大切にする心を育む。

ウ 小学校の高学年や中学校においては、環境問題に関する具体的な事象を通して、環境保全に対する実践的な態度を育てる。

③家庭・地域社会との連携

ア 地域の環境や環境問題等を把握し、児童生徒の発達段階に即した地域素材の教材化を図るとともに、地域の人材や社会教育施設等を積極的に活用する。

イ 地域で行われる自然探索やクリーン活動、3R（リデュース・リユース・リサイクル）運動等への参加を促すなど、家庭や地域社会との連携を図り、生活に生かす環境教育の充実に努める。

【施策及び研修事業等】

環境人材バンクからの人材派遣 環境モデル校の実践（伊良部中・池間小中）

エコアイランド宮古島（環境モデル都市）の推進

副読本（我が美ぎ島みゃーく）の活用 太陽光パネルの活用

(18) へき地教育の充実

へき地教育では、へき地の特性である「へき地性」「小規模性」「複式形態」を生かし、地域に根ざした創意ある教育課程を編成・実践し、主体的で創造性豊かな児童生徒の育成に取り組む必要がある。

このため、へき地の学校においては、少人数・複式学級における学習指導の深化・充実を図るとともに、合同学習、集合学習、交流学习を積極的に推進し、児童生徒の自主性・社会性を育むことが重要である。

①へき地の特性を生かした体験的な学習の充実

ア 地域の特性や少人数のよさを生かし、児童生徒一人一人の実態に応じた体験的な学習を実施する。

イ 地域のよさを知るとともに、地域に誇りと愛着もてる地域の文化、環境、歴史についての体

験活動を取り入れた学習の工夫改善に取り組む。

ウ 地域と一体となった勤労体験的活動や社会体験活動を推進するため、「人材リスト」を作成するなど地域の人材の積極的な活用に努める。

②少人数学級・複式学級における学習指導の改善・充実

ア 地域や学校の特性を生かし、地域に根ざした教育課程を編成するとともに、児童生徒一人一人の個性や能力に応じた指導方法・指導体制の改善・充実に努める。

イ 少人数・複式指導における授業研究を行うとともに、それらについての成果を全職員で共有する。

ウ ICTの活用を促進し、児童生徒が多くの学習情報に接する機会を増やすとともに、情報発信の機会を設定することで、情報活用能力や発表力を育成する。

エ 県立総合教育センターのへき地教育実践の事例資料や、へき地教育講座、小規模・複式学級担任講座、移動教育センター等を活用し、指導方法の工夫・改善に取り組む。

オ 複式学級においては、当該児童生徒に、未履修教科が生じないように、適切な教育課程を編成する。

③合同学習・集合学習、交流学習等の積極的な展開

ア 音楽や体育等における合同学習、近隣の小規模校同士の集合学習を実施し、集団での学習の充実に取り組む。

イ 修学旅行や校外学習の機会等を利用して、他市町村や平地校との交流学習を積極的に実施し、児童生徒の自主性、社会性や発表力の育成に努める。

ウ 近隣の幼・小・中学校と日常的に情報交換や意見交換を行うとともに、授業交流、合同授業研修会等を強化し、実践研究の充実に図る。

【施策及び研修事業等】

「へき地・複式学習指導資料（県総合教育センター）」の活用

(19) 教育課程の効果的な推進

小中学校教育は義務教育であり、公の性質を有する（教育基本法第6条第1項）ため、全国どこにおいても同水準の教育を確保することが求められる。このため、小中学校で編成、実施する教育課程は、教育課程に関する法令に従いながら、学校教育の目的や目標を達成するため、創意工夫を加えて、地域や学校及び児童生徒の実態に即した教育課程を責任をもって効果的に推進する必要がある。

① 教育課程編成の原則を踏まえる

ア 「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」の調和を重視し、学校教育全体として調和のとれた教育課程を編成し実施するとともに、各教科等の年間授業時数の実質的な確保（標準時数以上）に努める。

イ 基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させ、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力、その他の能力が育まれるような教育の充実に努める。

ウ 主体的に学習に取り組む態度を養い、個性を生かす教育の充実に努める。

- ・ 各教科等において、体験的な学習や問題解決的な学習の充実に図る。

- ・ 指導方法や指導体制を工夫改善し、個に応じたきめ細かな指導を一層充実する。

エ 児童生徒の発達の段階を考慮して、言語活動を充実するとともに、家庭との連携を図りながら学習習慣の確立に努める。

②教育課程編成・実施に係る指導計画（学校経営計画書・各教科等年間指導計画）の充実

ア 学校教育目標及び年度重点目標の実現に努める。

- ・ 年度重点目標は、学校評価による自校の成果や課題及び対応策を勘案しながら設定する。

- ・ 学校経営計画書における各領域の計画は、学習指導要領の目標、内容に基づき作成し、あわせて校長の経営方針や経営の重点と関連させる。

イ 教育課程の「量」と「質」の確保に努める。

- ・ 各教科等の授業時数は、学習指導要領に基づいた教育活動を適切に実施するために標準授業時数以上を年間35週以上にわたって行うよう計画し、指導に必要な時間を確保する。
- ・ 各教科等年間指導計画は、学年ごとあるいは学級ごとに「指導目標、指導内容、指導の順序、指導方法、使用教材、指導の時間配当、学習評価等」を定め作成し、諸調査結果を生かすとともに計画に沿った指導の展開を図る。
- ・ 週案を活用して適切な授業等の運営、管理に努める。

③教育課程の評価・改善の充実

- ア 教育課程の実施状況等の自己点検・自己評価を実施し、常に教育課程の改善と充実に努める。
- イ 学校経営計画書や各教科等年間指導計画の見直しを計画的に行い、学習指導要領の趣旨に沿った量、質ともに充実した教育活動ができるよう努める。
- ウ 学校評価に組織的に取り組み、学校の説明責任を果たすとともに、学校評価の結果を通して指導方法等の改善を図り、学校教育の質の向上に努める。

【施策及び研修事業等】

教育課程編成書の作成	学校教育計画の作成	リーフレットの作成
年間指導計画の作成		

(20) 学校図書館の活用及び読書指導の充実

学校図書館を計画的に利用しその機能の活用を図り、児童生徒の主体的・意欲的な学習活動や読書活動の充実を図る。

①学校図書館の運営の充実

- ア 学校図書館運営計画及び年間読書指導計画の作成と取組の充実を図る。
- イ 各教科、道徳、特別活動、総合的な学習の時間等における図書館の活用を計画的に行い児童生徒の主体的、意欲的な学習活動や読書活動の充実を図る。
- ウ 蔵書の増加や更新、データベース化、コンピュータの設置促進を図る等、設備の計画的な充実に努める。
- エ 「調べ学習」等に必要な図書資料の収集や学習教材の充実を図る。

②読書指導の充実

- ア 児童生徒一人当たりの年平均読書冊数を小学校110冊以上、中学校40冊以上の達成目標を維持し、すべての児童生徒がより充実した読書活動ができるような読書指導の充実を図る。
- イ 児童生徒が読書に親しむ機会や読書の質の向上に取り組み、読書の習慣を身に付けるよう、全職員が一体となって組織的・計画的な取組に努め、全校一斉の読書活動や「読み聞かせ」「音読」「読書月間」等の読書活動の工夫を行う。
- ウ 言語能力を高め、児童生徒の思考力・判断力・表現力等を育むために、読書指導の充実を図る。
- エ 読書活動を通して、自らの国や地域の伝統・文化についての理解を深め、尊重する態度の育成を図る。

③関係機関・団体等との連携

- ア 「沖縄県子どもの読書活動推進計画～五感に響かせるE・E・Tプラン～」の趣旨を踏まえた読書活動を推進するため、「子ども読書の日」（4月23日）にちなんだ読書活動を展開し、積極的に関係機関・団体・地域・保護者との連携を図る。
- イ 「子どもの読書活動の推進に関する法律」に基づいた、「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」（第二次計画）の策定に伴い、これまでの成果や課題を踏まえた子どもの読書活動を推進する。
- ウ 読書センター、学習・情報センターとしての学校図書の充実を図る。
- エ 月別図書館活用状況調査や、年度ごとの貸し出し冊数調査等を行い、学校図書館活用の活性化を図る。

【施策及び研修事業等】

学校図書館蔵書の充実
学校図書館司書研修会

読書量実態調査と結果分析及び対策
移動図書館の活用促進

(21) 家庭教育の充実

保護者は子どもの教育に第一義的な責任を有するものであり、子どもが家族とのふれあいを通じ、健康的な生活、基本的な生活習慣や善悪の判断をはじめとしたものの見方、考え方など生きる力の基礎的な資質・能力を育成することは、学校教育においても家庭の協力が極めて重要になる。

学校は、家庭に対して、学校で行うことや家庭の役割を周知し、家庭との連携を通して、子どもの教育に関わることが重要になる。

①学校と家庭の連携の強化

ア 早寝・早起き・朝ごはん運動、Go家（ごーやー）運動等、基本的な生活習慣の確立を図る取組を推進する。

イ 学校は、授業参観日・学校行事等で学校の公開を推進する。

ウ 学校は、学校評価を充実させ、学校経営への保護者の意見を取り入れることを推進する。

エ 学校は、行事や授業等への保護者の参加を推進する。

②学校の家庭支援の充実

ア 学校は、面談等を通して、幼児児童生徒への個に応じた支援を推進する。

イ 学校は、生活実態調査を実施し、幼児児童生徒の実態に応じた支援を推進する。

【施策及び研修事業等】

「早寝・早起き・朝ごはん」の推進

「ファミリー読書」の推進

「Go家（ごーやー）運動」の推進

3 平成24年度 事業実績

(1) 教育振興事業

①外国青年招致事業

事業内容・・・人材育成を目指し、英語指導助手（ALT）を市立小中学校に配置し、国際理解教育や外国語教育を推進した。

○5人体制・・・小学校3名、中学校2名

②海外ホームステイ派遣事業

事業内容・・・海外ホームステイ体験を通して、異文化を尊重し国際的に活躍し得る人材育成に努めた。

○ハワイ州オアフ島・マウイ島・・・市内中学生13名



③教育指導事業

事業内容・・・幼児、児童、生徒、保護者、教師の教育上の悩み事の相談や問題行動等への相談・指導に努めた。また、問題を抱える児童、生徒に支援を行い教育指導体制

の充実・地域との連携、校外支援システムの充実を図った。

○配置人員：特別支援員 24 名、問題行動支援員 3 名、スクールソーシャルワーカー 4 名

④学力向上対策事業

事業内容・・・幼児、児童、生徒の基礎学力向上のため、学力対策の向上を図った。

○市標準学力検査実施（5 月） 対象：小学 2、4 年、中学 1 年

○自分発見・総合質問紙調査（i-check） 対象：小学 2～6 年、中学 1～3 年

○市研究指定校の導入 研究指定校：平良第一小学校、北小学校、鏡原中学校

○検定受験料半額補助

⑤教育振興事業

事業内容・・・国・県等の補助事業の積極的な受け入れにより、学校教育の振興を図った。

○キャリア教育研究事業（鏡原中学校） 平成 23 年度～平成 25 年度

(2) 小中学校教育振興対策事業

①理科・算数（数学）教育等設備整備事業

事業内容・・・理科・算数（数学）教育に関する備品の整備を行い、児童の教育の充実を図った。

○小学校・・・平一、宮原、西辺、来間、久松、狩俣、池間、城辺、伊良部

○中学校・・・平良、久松、鏡原、西辺、城辺、福嶺、来間、佐良浜、伊良部

②要保護及び準要保護児童・生徒援助費事業

事業内容・・・就学困難な児童・生徒に係る就学奨励について、国の援助に関する法律に基づき、学習に使用する学用品費・給食費・医療費等を補助することにより、児童・生徒の就学援助を図った。

○受給者数・・・小学校 560 名、中学校 322 名

③教育コンピュータ導入事業（図書館管理システムを含む）

事業内容・・・コンピュータを導入し、情報教育の環境の充実を図った。

○平成 24 年度入替実施校・・・北小学校、久松小学校、城辺小学校、北中学校

④選手派遣補助金交付事業

事業内容・・・各種競技・コンクール等の県大会、県外大会への派遣費の一部を援助した。

○派遣人員・・・小学校 県内 626 名、県外 32 名 楽器移送 4 校

中学校 県内 1,213 名、県外 16 名 楽器移送 1 校

(3) 幼稚園就園奨励補助事業

事業内容・・・私立幼稚園に在園している幼児の保育料を減免した設置者に対し、補助金を交付した。公立幼稚園は保護者に対し減免措置をとった。

○減免人員・・・私立幼稚園 158 名、公立幼稚園 121 名

2 節 教育研究所

1 設置の目的

教育に関する専門的・技術的事項の研究及び教育関係職員の研修を行う
(宮古島市立教育研究所設置条例第 1 条)

2 方 針

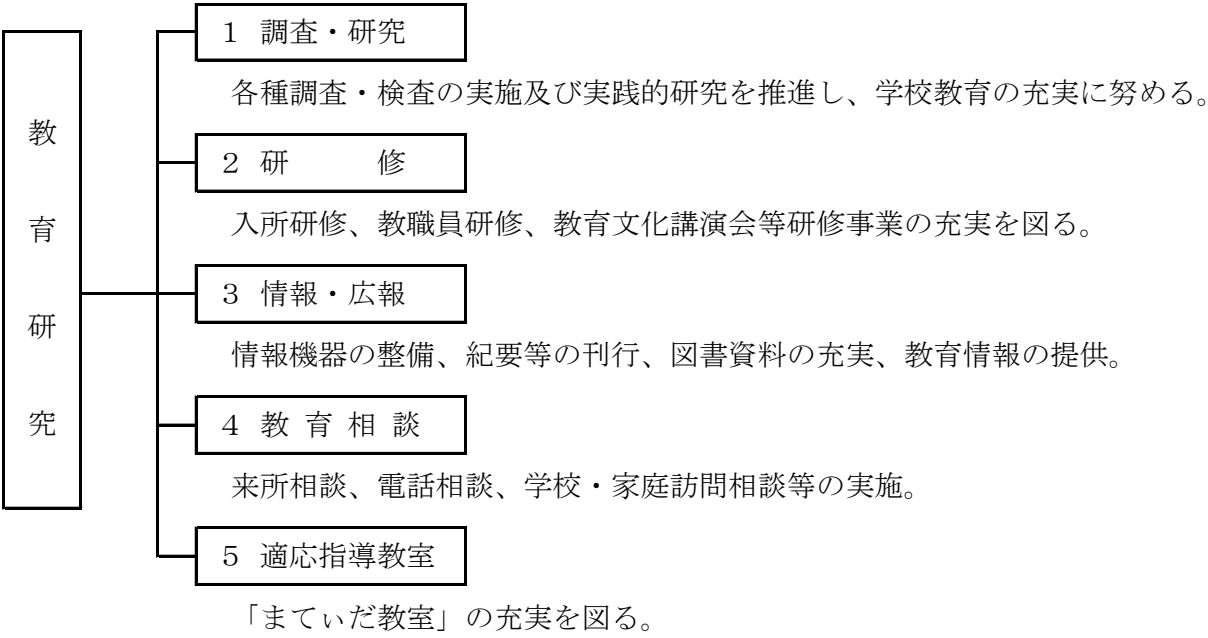
宮古島市立教育研究所は、生涯学習への視点に立って、学校教育、社会教育、家庭教育の直面している課題を積極的に取り上げ、教育実践に結びついた教育活動の推進に寄与する。

○職員らは自らの資質を高めるように努力し、協働体制のもと、子ども・学校・保護者への援助を行う。

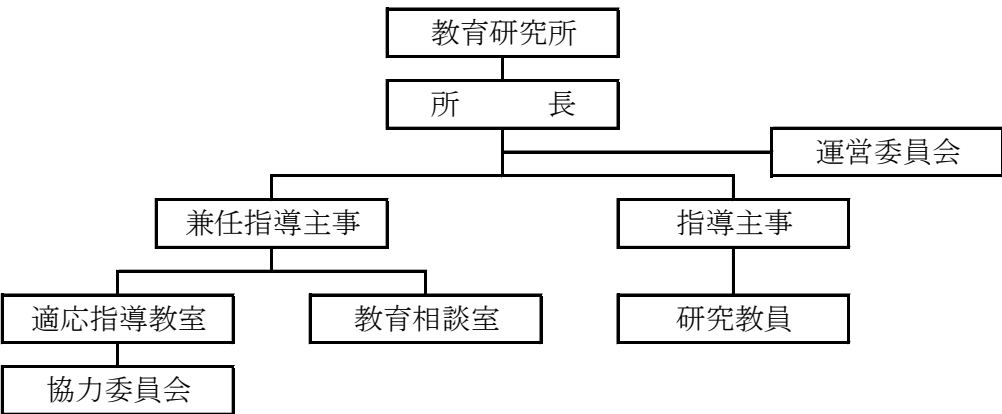
○本市の現状を把握し、教育現場のニーズにあった援助を行う。

○各教育機関との連携を図り、効果的な援助を行う。

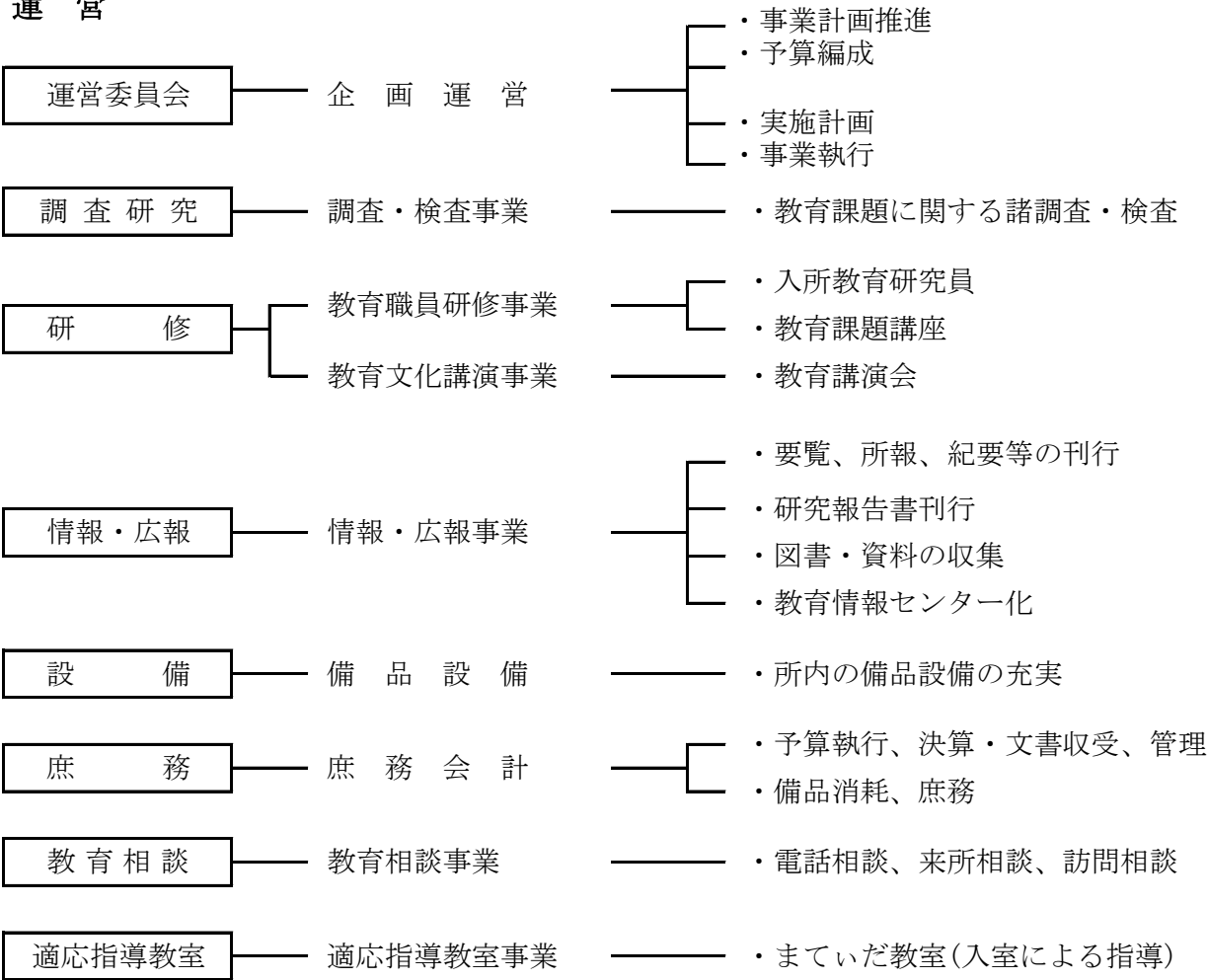
3 事 業



4 組 織



5 運 営



6 職員構成

職 名	氏 名	担 当 職 務
所 長	野原 敏之	運営全般
指 導 主 事（兼任）	松本 尚	適応指導・教育相談
指 導 主 事（専任）	下地 忠夫	所務全般
まていだ教室指導教諭	比嘉 公代	まていだ教室運営
まていだ教室指導員	平良 ゆかり 砂川 恵	まていだ教室補佐
教育相談員	立津 和代 宮平 幸子 平良 勝也 久貝 清順	来所相談 電話相談 学校訪問相談 家庭訪問相談

※指導講師は研究教員の研究テーマに合わせて委嘱する。

7 事業概要

（１）調査・研究事業

- ①目 的
- 各種調査・検査の実施及び実践的研究を推進し、学校教育の充実に努める。
- ②方 針
- ア 本市の現状に即した実践的な調査・研究を行い、その結果や成果を学校や教育委員会

へ提供する。

イ 琉球大学教育学部との連携を図り、調査・研究の専門家の助言を得ることにより、学校教育に有効なデータを提供する。

(2) 研修事業

①目 的

入所研修、教職員研修、教育文化講演会等研修事業の充実を図る。

②方 針

ア 研究教員は、今日の教育課題を踏まえた研修を推進し、研究と修養の理念に基づき、教育の専門家としての確かな力量と総合的な人間力を高め、資質の向上を図る。

イ 研究教員の研究は、先輩教員や琉球大学教育学部との連携を図り、研究の進め方等への助言を得ることにより、研究の資質向上を図る。

ウ 研究教員は、公開授業、報告書の作成、成果報告会により、研究の成果を教育関係者に提供する。

エ 教職員研修・教育講演会は、現場のニーズに対応し、教職員の資質の向上を図る。

③入所研修

市内の小学校・中学校教諭から年間2人を選任し、前期及び後期の6か月間の長期にわたり入所し、それぞれの教科・領域の研究テーマで研究を行い、研究の成果を報告書にまとめ報告会で発表する。

【研修期間・募集人員】

○前期：平成25年 4月1日～平成25年9月30日 1人

○後期 平成25年10月1日～平成26年3月31日 1人

④教職員研修

市内の幼稚園・公立学校の教諭等を対象に、今日的教育課題や学校課題に即したテーマで研修会を開催し、学校教育の活性化に寄与する。

⑤教育文化講演会

市民、教育関係者を対象に教育的、文化的テーマで講演会を開催する。

(3) 情報・広報事業

①目 的

ア 情報機器の整備、紀要等の刊行とインターネットを活用した情報を発信する。

イ 教育図書や県内外の教育研究資料を収集・整理し、閲覧や貸出しを行う。

②方 針

ア 開かれた教育研究所を目指し、効果的な方法で研究所の事業の周知を図る。

イ ホームページを通して研究情報を発信し、情報の共有化を図る。

ウ 市内の研究指定校や県内の教育研究所等の研究紀要を収集整理し、教育関係者に提供する。

エ 研究教員報告書、まていだ教室実践報告書を刊行し、教育関係者に提供する。

オ 教育相談リーフレットを作成し、教育相談室、まていだ教室の機能を知らせる。

カ 図書資料を充実し、教育関係者の研究を援助する。

(4) 教育相談事業

①目 的

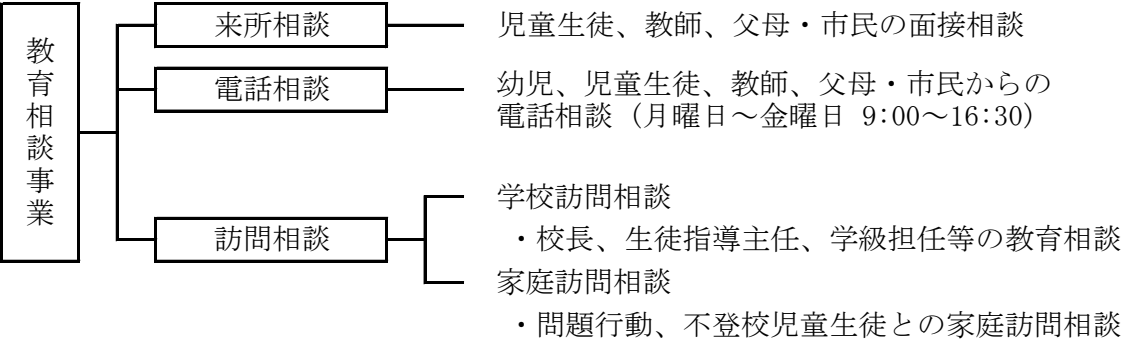
宮古島市の問題行動や様々な悩みを持つ児童生徒の健全育成を支援するために必要な事項

について相談を受け、児童生徒・教師・保護者の問題解決を支援する。

②方 針

- ア 相談者の意向を傾聴し、問題解決に向けて、真摯な態度で向き合い「心のふれあい」を大切にする。
- イ 相談者のニーズにあった相談活動を行う。
- ウ 相談者のプライバシー保護の観点から「守秘義務」を徹底する。

③事業の概要



（５）適応指導教室

①目 的

宮古島市の心理的要因による不登校児童生徒に対して、個々の状態に応じた援助指導を行い自立を促進し、社会性を養い、学校教育への適応促進を図る。

②方 針

- ア 職員間の協働体制を大切にし、援助指導の工夫改善を行いながら不登校児童生徒への支援を行う。
- イ 安心して登室できるように温かい雰囲気をつくり、児童生徒が落ち着いて過ごせるように努める。
- ウ 児童生徒一人一人に受容的に接することで情緒の安定を図り、信頼関係を築くように努める。
- エ 相談活動、体験活動、学習活動を通して自立心を育て、原籍校への適応を図る。
- オ 学校や家庭、必要に応じて各関係機関と情報交換を密にし、連携協力して児童生徒の学校復帰を支援する。

③入室対象児童生徒

心理的要因によって登校できない宮古島市立小学校・中学校に在籍する児童生徒で、適応指導教室での入室を希望する者のうち、宮古島市教育委員会が適応指導教室における指導が望ましいと判定した者とする。

④室期間及び入室日時

- ア 入室期間：毎年５月～翌年３月までとする。
(ただし、４月は学校復帰期間とし、入室式は５月に行う。それまでの間は仮入室の形で受け入れる)
- イ 開室曜日：月～金までの週５日間(祝祭日は休み)
- ウ 入室時間：原則として、原籍校の週時程に準ずる。
(児童・生徒の実態により対応する)
※長期休業等は、市立小中学校に準ずる。

8 平成25年度 事業計画

	行 事	入所研修	適応指導教室	備 考
4月	委嘱状交付式 初任者研修①(学級経営)		仮入室	所報1号
5月	初任者研修②(ICT活用) 講演会	長期研究教員事前研修①	入室願書受付 第1回入室判定会 入室式・保護者会	研究所要覧作成・配付 所報2号
6月	授業づくり研修会① 授業づくり研修会② 第1回運営委員会	長期研究教員事前研修②	遠足 勤労生産学習 平和学習	所報3号
7月	幼・小連携研修会 小・中連携研修会	長期研究教員事前研修③	体験学習 勤労生産学習 1学期終業式	所報4号
8月	夏期研修会①②③④ 10年経験者研修 (社会体験①②③) 初任者研修③(史跡巡り)		学習支援	所報5号
9月			保護者会 勤労生産学習	所報6号
10月	後期研究教員入所式 授業づくり研修会③	オリエンテーション テーマ検討会 全体構想図検討会	体験学習 勤労生産学習 入室願書受付 第2回入室判定会	所報7号
11月	中間報告会 授業づくり研修会④	中間報告会	体験学習 勤労生産学習 ケース会議	所報8号
12月		検証授業指導案検討	勤労生産学習 体験学習 2学期終業式	平成25年度 研究教員募集 所報9号
1月	検証授業(公開)	検証授業	書き初め会 勤労生産学習	所報10号
2月	授業づくり研修会⑤	報告書検討 研究報告書作成	勤労生産学習 体験学習 ケース会議	研究教員決定 所報11号
3月	第13期成果報告会 研究教員終了式	成果報告会	勤労生産学習 遠足 退室式	研究報告書配付 所報作成・配付 所報12号

【主な所内研修会】 ①研究の進め方 ②先輩研究員講話 ③テーマ検討会
 ④構想図について ⑤理論研究について ⑥中間報告会に向けて
 ⑦報告書作成に向けて ⑧研究成果報告会に向けて ⑨報告書検討会

【主な所外研修会】 ①研究の進め方 ②先輩研究員講話 ③テーマ検討会

9 平成24年度 事業実績

教育研究所運営事業

(1) 調査・研究事業

- 「小学校社会科ウェブサイトの開設並びに運営に係る研究」を実施。
- (2) 研修事業
- ① 2名の長期研究教員が研究を行い、報告書にまとめ、成果報告会を開催し現場への還元を図った。後期研究員2名(小学校：生活科，中学校：数学科)。
 - ② 主催研修会を9回開催。合計249名の教員が参加した。
 - ③ 琉球大学教育学部との連携事業(琉大教員の招聘研修)を10回開催。
- (3) 情報・広報事業
- リーフレットの配付，所報の発行，ホームページで情報を発信した。

(4) 教育相談事業

(相談室利用延べ人数)

	小学生	中学生	父母	祖父母	教 員	関係機関	計
来所相談	0	7	5	2	7	22	43
電話相談	13	18	136	12	78	30	287
訪問相談	14	42	28	8	87	10	189
合 計	27	67	169	22	172	62	519

(5) 適応指導教室

①在室児童生徒数

※()は登校支援

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
小学校	男子				1			1	1	1(1)			
	女子												
中学校	男子							(1)		(1)			
	女子		1	1	1					2	2	2	2
合 計		0	1	1	2	0	0	1	1	2	2	2	2

- ②支援結果 (平成24年3月時)
- ア 小学校登校・・・1名 (学校復帰)
 - イ 中学校部分登校・・・1名
 - ウ 中学校卒業・・・2名 (高校受験2名)

3 節 学校給食

1 宮古島市立学校給食共同調理場の概要

所在地：〒906-0006 宮古島市平良字西仲宗根 7 4 5－1 3
電 話：7 2－4 2 4 1 F A X：7 2－3 0 7 4

- 敷地面積 8, 6 4 1 m²
- 建物面積 1, 5 2 3 m²
- 設備能力 5, 0 0 0 食
- 付帯施設及び設備等 機械室（1 1 6. 9 m²）、ガスボンベ室、排水処理槽、連続揚げ物機、食器洗浄機等
- 給食開始 昭和 5 0 年 9 月
- その他施設

名 称 \ 事 項	施設面積(m ²)	設備能力(食)	給食開始
城辺学校給食共同調理場	5 0 0	8 0 0	昭和 5 8 年 6 月
下地学校給食共同調理場	3 7 0	5 0 0	昭和 4 3 年 1 1 月
上野学校給食共同調理場	3 2 7	5 0 0	昭和 4 6 年 2 月
伊良部学校給食共同調理場	3 3 9	7 0 0	平成 1 5 年 4 月

2 学校給食の目的及び目標

(1) 学校給食の目的

学校給食は、児童及び生徒の心身の健全な発達に資し、かつ、児童及び生徒の食に関する正しい理解と適切な判断力を養う上で重要な役割を果たすものであることを考慮し、学校給食の普及充実及び学校における食育の推進を図る。

(2) 学校給食の目標

学校給食については、義務教育諸学校における教育の目的を実現するために、次に掲げる目標の達成に努める。

- ①適切な栄養の摂取による健康の保持増進を図ること。
- ②日常生活における食事について正しい理解を深め、健全な食生活を営むことができる判断力を培い、及び望ましい食習慣を養うこと。
- ③学校生活を豊かにし、明るい社交性及び協同の精神を養うこと。
- ④食生活が自然の恩恵の上に成り立つものであることについての理解を深め、生命及び自然を尊重する精神並びに環境の保全に寄与する態度を養うこと。
- ⑤食生活が食にかかわる人々の様々な活動に支えられていることについての理解を深め、勤労を重んずる態度を養うこと。
- ⑥我が国や各地域の優れた伝統的な食文化についての理解を深めること。
- ⑦食料の生産、流通及び消費について、正しい理解に導くこと。

(3) 学校給食の定義

学校給食の目標を達成するため、義務教育諸学校において、その児童又は生徒に対し実施される給食をいう。

(4) 学校給食の経費の負担

- ①学校給食の実施に必要な施設及び設備に要する経費並びに学校給食の運営に要する経費のうち政令で定めるものは、義務教育諸学校の設置者の負担とする。

②前項に規定する経費以外の学校給食に要する経費は、学校給食を受ける児童又は、生徒の学校教育法第16条に規定する保護者の負担とする。

3 給食共同調理場の事業

給食共同調理場は学校給食法(昭和29年法律第160号)第2条に定める目標を達成するため、次のような事業を行っている。

- (1) 宮古島市立小、中学校の児童生徒及びその他教育機関の職員の給食に関すること。
- (2) 給食物資の調達に関すること。
- (3) 学校給食の調理及び配送に関すること。
- (4) 食器、食缶の洗浄、消毒及び保管に関すること。
- (5) その他教育委員会において必要と認めること。

4 平成25年度 年間給食回数予定表

調理場名	給食予定日	牛 乳	パ ン	麵	米 飯	
					委託	自校
平良学校給食共同調理場	200	200	59	16	83	42
城辺学校給食共同調理場	200	200	38	23		139
下地学校給食共同調理場	200	200	60	22		118
上野学校給食共同調理場	200	200	27	14		159
伊良部学校給食共同調理場	200	200	28	30		142

5 配送状況

調理場名	配送車 (台)	配送校		備 考
		小学校	中学校	
平良学校給食共同調理場	4	11	7	業者委託(人員8名)
城辺学校給食共同調理場	2	4	4	
下地学校給食共同調理場	1	2	2	
伊良部学校給食共同調理場	2	2	2	

6 給食状況

平成25年5月1日現在

調理場名		配食校	児童 生徒数	職員数	合計
平良学校給食共同調理場	小学校	11	2,472	227	2,699
	中学校	7	1,277	135	1,412
城辺学校給食共同調理場	小学校	4	295	58	353
	中学校	4	169	49	218
下地学校給食共同調理場	小学校	2	184	29	213
	中学校	2	109	21	130
上野学校給食共同調理場	小学校	1	184	18	202
	中学校	1	118	14	132
伊良部学校給食共同調理場	小学校	2	272	31	303
	中学校	2	161	30	191

7 児童生徒一人一食当たり摂取栄養量

【小学校】

平成25年5月調査 宮古島市

栄養素	エネルギー		たんぱく質		脂 肪		カルシウム (mg)	鉄 (mg)	ビ タ ミ ン				一食単価 (円)
区 分	総量 kcal	穀類 kcal	総量 (g)	動物性 (g)	総量 (g)	動物性 (g)			A (mg)	B 1 (mg)	B 2 (mg)	C (mg)	
基準量	640	—	24.0	—	熱量の 25～30%	—	350	3.0	170	0.40	0.40	20	192.5
摂取量	631	272	24.6	13.4	20.1	—	338	2.1	222	0.48	0.63	35	
充足率 (%)	99	—	103	—	94	—	97	70	131	120	158	175	

【中学校】

平成25年5月調査 宮古島市

栄養素	エネルギー		たんぱく質		脂 肪		カルシウム (mg)	鉄 (mg)	ビ タ ミ ン				一食単価 (円)
区 分	総量 kcal	穀類 kcal	総量 (g)	動物性 (g)	総量 (g)	動物性 (g)			A (mg)	B 1 (mg)	B 2 (mg)	C (mg)	
基準量	820	—	30.0	—	熱量の 25～30%	—	450	4.0	300	0.50	0.60	35	220
摂取量	735	344	28.2	14.6	22.2	—	357	2.5	252	0.58	0.70	40	
充足率 (%)	90	—	94	—	81	—	79	63	84	116	117	114	

4 節 学校教育施設

1 施設整備の基本方針と役割

(1) 施設整備の基本方針

学校教育施設について、学校教育の基本施設である校舎、屋内運動場等の必要面積は整備されているが、老朽化の進んでいる校舎・屋内運動場の整備、屋外環境の整備を「学校施設整備計画」に基づいて、年次的に整備する。

加えて教育施設のバリアフリー化、進展する情報教育への対応や地域に開かれた学校及び生涯学習の場としての施設づくりを推進し、安全、安心な教育環境施設の充実を図るとともに、次代を担う児童・生徒の人材育成に努める。

(2) 学校施設の役割

①安全、安心な施設

学校施設は、子ども達にとって一日の大半を過ごす学習・生活の場であり、学校教育活動を行うための基本的な教育条件である。このため、充実した教育活動を十分に展開できる機能的な施設環境を備えるとともに、豊かな人間性を育むのにふさわしい快適で十分な安全性、防災性、防犯性や衛生的な環境を備えた安全・安心な施設づくりを図る。

②地域に開かれた施設

学校施設は、子ども達の教育施設であると同時に地域住民にとって最も身近で、生涯にわたる学習、文化、スポーツなどの活動の場としても利用され、また、地域の防災拠点としての重要な役割も担っていることから、地域に開かれた施設づくりを図る。

2 平成25年度 事業計画

(1) 屋外環境整備事業

屋外環境を機能的に整備することにより教育環境の充実を図る。

①久松中学校屋外環境整備工事

アスファルト舗装工1, 236㎡ 張り芝工1, 725㎡

②平良中学校屋外環境整備工事

アスファルト舗装工2, 466㎡ 張り芝工417㎡

(2) 屋内運動場改築事業

老朽化に伴う危険屋内運動場を改築することにより教育環境の充実を図る。

①久松小学校屋内運動場改築事業

面積 919㎡

①池間小中学校屋内運動場改築事業

面積 600㎡

5 節 学校規模適正化

1 設置の目的

児童生徒の減少に伴い、小規模校や複式学級のある過小規模校が増加しており、学校教育の目標は新学習指導要領に示されているように「生きる力」の育成にあることから、学校における教育課程の一層の充実を図る必要がある。学校規模適正化とは教育目標を達成するための教育条件の整備を推進するための施策である。

本対策班は、これまで特命職員で対応してきた業務をより円滑に行うためのプロジェクトチームとして、平成24度に設置された。（宮古島市教育委員会学校規模適正化対策班設置要領第2条）

2 学校規模適正化に関する基本的な考え方

適正化の推進にあたっては、教育委員会の基本方針に沿って、対処していくことを基本とし、その上で複式学級の解消は喫緊の課題ではあるが、中学校の規模適正化を先行させ、一部小学校については早期の解消を図っていく。一部小学校の定義については新たに校舎等を建設する必要性がないことや、児童・保護者に比較的通学負担が少ないことが条件として挙げられる。

旧5市町村が合併して宮古島市が誕生したものの、過小規模校・小規模校が大きな割合を占めている。児童・生徒の教育環境・教育条件をより良いものに改善し、クラス替えのできる複数学級を基本とし、1学級25人から32人の児童・生徒で構成される学校規模を確立できるように適正化を進めていく。児童生徒の力・教職員の力・保護者の力・教育予算を効果的・効率的に束ね、「学校力」を高め、児童・生徒の生きる力を育てる教育行政を推進する。

池間地区については、北部地区全体での統合を議論してきたところであるが、統合しても過小規模・小規模校としての課題が依然として残ること等に鑑み、当面の措置として幼小中併置校とする。

3 平成25年度 事業計画

- ①基本方針（平成25年4月一部見直し決定）について説明会の開催。
- ②統合推進委員会（仮称）を統合対象地区で設置予定。
- ③統合予定校の交流計画の策定。

4 平成24年度 事業実績

対象12地区における基本方針素案説明会の開催。

【対象地区】伊良部、池間、福嶺、砂川、来間、狩俣、宮原、西辺、西城、島尻、城辺、佐良浜

6 節 伊良部分室

1 分室の役割

分室では、地域住民が十分なサービスを受けることができるよう本庁主管課と連携を図り、主に次の業務を行う。

(1) 学校教育に関すること

- ①所管区域の幼稚園、小学校、中学校に関する申請受付等
- ②要保護、準要保護に関する申請受付等
- ③幼稚園入園料、保育料減免に関する申請受付等
- ④学校予算（一部）の執行
- ⑤奨学金の申請受付及び徴収

(2) 生涯学習に関すること

- ①所管区域の生涯学習、社会教育、社会体育、成人式の企画及び実施
- ②青少年の健全育成、青少年団体、社会教育団体の指導育成

(3) 学校・社会教育施設に関すること

- ①所管区域の学校施設に関する維持管理及び営繕等
- ②所管区域の学校施設に関する調査、台帳整理保存等
- ③所管区域の教員住宅の管理に関すること
- ④伊良部B & G海洋センターに関すること
- ⑤佐良浜スポーツセンターに関すること

2 平成25年度 事業計画

	事業	概要	開催日(予定)
7月	夏休み水泳教室	児童・生徒に水泳の基礎知識と泳力及び体力向上を図ることを目的に実施。	7月21日(日)～25日(木)
	佐良浜中学校1・2年生体験学習(追い込み漁体験)	地域伝統漁業の体験と漁師及び地域の世代間交流を図る。	7月25日(木)
	佐良浜中学校3年生体験学習(かつお一本釣り・かつお加工場体験)	地域伝統漁業の体験と漁師及び地域の世代間交流を図る。	7月30日(火)～31日(水)
1月	伊良部地区成人式	伊良部地域内の成人を対象。	平成26年1月5日(日)

3 平成24年度 事業実績

事業名	目的	日時・場所	備考
夏休み水泳教室	水に親しみ水泳の基礎知識、泳力向上を図るとともに児童の体力向上が目的。	平成24年 7月21日～25日 佐良浜スポーツセンター	参加児童27人

事業名	目的	日時・場所	備考
	 		
かつお一本釣り・かつお加工体験学習	佐良浜地区のかつお一本釣り・加工製造業を体験することにより水産業への関心を習得し、世代間の交流を図る。	平成24年7月31日 午前0時～午後3時 パヤオ海域・各加工場	3度の台風の為中止
追い込み漁体験学習	佐良浜地区の追い込み漁を体験することにより水産業への関心を習得し、世代間の交流を図る。	平成24年7月26日 午前9時 伊良部島白鳥近海	参加生徒40人 (佐良浜中1・2年生)
宮古島市成人式 (伊良部地区)	晴れて成人の仲間入りをする若者たちの輝かしい出発にあたり、社会人としての自覚と責任をもって活躍することを期待し、その門出を祝福し激励する。	平成25年1月5日 午後2時 伊良部公民館	参加者80人

事業名	目的	日時・場所	備考
			

4 平成24年度 伊良部B&G海洋センター利用状況

(延べ人数)

	体育館		艇庫	プール
	アリーナ	武道場		
4月	883	83		
5月	820	59		
6月	833	38		
7月	828	38		
8月	764	25		
9月	623	16		
10月	635	22		
11月	557	25		
12月	619	17		
1月	655	5		
2月	571	0		
3月	767	0		
合計	8,555	328		

※艇庫及びプールは使用不能により施設閉鎖

社 会 教 育

～みんなで学ぶ生涯学習～

1 節 社会教育

1 主要施策

市民の生涯にわたる学習活動を推進するため、生涯学習の視点に立って学校教育、家庭教育、社会教育の相互の連携を図りつつ、市民の学習ニーズに応じた生涯各期における多様な学習機会を提供するとともに、社会教育施設・設備の充実や社会教育指導者の養成・確保等、社会教育活動の充実と生涯学習の振興を図る。

2 施策の推進

(1) 生涯学習の推進

市民の多様化・高度化する学習ニーズに応じて、いつでも、どこでも学習でき、その成果が社会において適切に評価され活用される生涯学習社会の実現に努める必要がある。

このため市民が生涯各期において自らの意志により、自らの適した手段・方法を選択し、必要とする学習ができる機会を提供し、潤いと生きがいある生涯学習の推進を図る。

- ①生涯学習の普及、啓発のため生涯学習フェスティバルを開催し、市民一人ひとりが、学ぶ楽しさ、交流することの喜びを体感でき学んだ成果を地域で生かせるよう、生涯学習の具体的な展開を進めている。
- ②市民の自主的な学習を支援するため、地域の人材を発掘・育成するとともに、生涯学習人材登録(リーダーバンク)の内容充実を図り、学校や団体、クラブ・サークル等での活用を促す。
- ③生涯学習に関する情報を収集・整理し、学習情報の提供や学習者の相談体制を整備する。

(2) 社会教育の推進

社会教育の充実を図るため、社会教育施設、設備の充実を図り、市民ひとり一人が必要に応じた学習課題や、地域の必要課題を積極的に取り上げ、多くの市民が参加できるよう社会教育諸事業の拡充を図るとともに社会教育関係団体の育成・強化と活性化に努める。

- ①地域住民のニーズ・シーズに対応した学習活動の場を拡充し、社会教育活動の充実を図る。
- ②社会教育関係団体等の指導者研修会を開催し、指導者の資質の向上を図る。
- ③青少年団体、婦人団体、PTA等、社会教育関係団体の育成援助と活動の促進を図る。
- ④地域の教育力向上、体験活動の推進のため、関係機関・団体との連携強化を図り、社会奉仕活動、自然体験活動等の社会参加活動を推進する。
- ⑤社会情勢の変化に伴い「地域の教育力の低下」が指摘されている中、学校教育では教育活動以外の業務など教員の業務量の増加傾向が問題となっており、教員一人一人が、児童生徒へのきめ細かな指導を行う時間の確保が必要となっている。
学校教育力の向上と教師が子どもと向き合える時間時間の拡充を図るため、地域と学校が連携協力し、地域全体で地域人材を活用した教育支援を行い、学校支援地域本部事業の充実を図る。
- ⑥放課後や週末に地域の人材を活用し、勉強やスポーツ・文化活動などの様々な体験活動を推進する放課後子ども教室の充実を図る。

3 平成25年度 生涯学習・社会教育事業計画

月	日	曜日	事業名	対象	会場（予定）
5	2	木	第1回社会教育委員会議	宮古島市社会教育委員	城辺庁舎
	24	金	宮古島市青少年問題協議会		平良庁舎
6	30	日	宮古島市社会教育団体研修会	各社会教育団体	城辺中央公民館 （改善センター）
7	12	金	「青少年深夜はいかい防止」・ 「未成年者飲酒防止」県民一斉行 動宮古島市民大会	各関係機関団体	北小学校体育館
	19	金	「青少年深夜はいかい防止」 「未成年者飲酒防止」 ボランティア夜間街頭指導	ボランティア	市内一円
	28	日	第1回宮古島市社会教育団体 ワークショップ	各社会教育団体	
8	6・7	木 金	少年団体リーダー研修会	各地域子ども会リーダー	沖縄県宮古青少年 の家
	18 ～ 30	土 日	海外ホームステイ派遣事業	市内高校生（中学生）	マウイ島
9	8	土	宮古地区少年の主張大会	各中学校代表	中央公民館
	13	金	第2回社会教育委員会議	宮古島市社会教育委員	城辺庁舎
11	16 17	土 日	第9回宮古島市生涯学習 フェスティバル	各種社会教育団体・ 一般市民	中央公民館
	22	金	沖縄県公民館研究大会	沖縄県社会教育関係	中央公民館
	29	金	第3回社会教育委員会議	宮古島市社会教育委員	城辺庁舎
1	5	日	平成26年宮古島市成人式	新成人者	マティダ市民劇場 及び各地区公民館
2	16	日	教育の日	一般市民	中央公民館
3	25	金	第4回社会教育委員会議	宮古島市社会教育委員	城辺庁舎 2階会議室
通年事業			生涯学習リーダーバンク事業	社会教育団体・ サークル等	事業実施団体・機 関による
通年事業			学校支援地域本部事業	平良中校区 佐良浜中校区	各学校内
通年事業			放課後子ども教室推進事業	各小学校（10教室）	各学校教室等

4 施策の推進体制

（1）社会教育委員

- ①社会教育委員は、社会教育法に基づき、社会教育に関し教育長を経て教育委員会に助言するため次の職務を行う。（社会教育法第17条）
- ア 社会教育に関する諸計画を立案
 - イ 定時又は臨時に会議を開き、教育委員会の諮問に応じ、これに対し意見を述べる
 - ウ ア・イの職務を行うために必要な研究調査を行う
- ②社会教育委員は、教育委員会に出席して社会教育に関し意見を述べるができる。
- ③市町村の社会教育委員は、当該市町村から委嘱を受けた青少年教育に関する特定の事項

について、社会教育関係団体、社会教育指導者その他関係者に対し、助言と指導を与えることができる。

平成24年度社会教育委員会議



(2) 宮古島市青少年問題協議会

宮古島市青少年問題協議会（協議会条例第2条）

- ①青少年の指導、育成、保護及び矯正に関する総合的施策の樹立につき必要な重要事項を調査審議する。
- ②青少年の指導、育成、保護及び矯正に関する総合的施策の適切な実施を期するために必要な関係行政機関相互の連絡調整を図ること。
- ③規定する事項に関し、宮古島市の長及びその区域内にある関係行政機関に対し意見を述べることができる。

(3) 宮古島市学校支援地域本部事業

- ①宮古島市学校支援地域本部運営委員会（地域本部運営委員会設置要項第2条）
 - ア．事業計画・安全管理・広報活動の検討
 - イ．ボランティア等地域の協力者の確保策の検討
 - ウ．地域実情に応じた活動プログラムの検討
 - エ．事業実施後の検証・評価等の検討
- ②宮古島市学校支援地域本部コーディネーター（地域本部コーディネーター配置要項第3条）
 - ア．地域ボランティア募集広報活動
 - イ．ボランティア等地域の協力者の確保・登録・配置
 - ウ．学校・地域ボランティアとの連携調整
 - エ．地域の実情に応じた活動プログラムの企画

コーディネーター	上松 朋子(平良中校区)／仲間 ひとみ(佐良浜中校区)
任 期	平成25年4月1日～平成26年3月31日

(4) 宮古島市放課後子ども教室推進事業

- ①宮古島市放課後子ども教室推進事業運営委員会
 - ア．放課後子ども教室事業計画の策定
 - イ．活動プログラムの企画
 - ウ．安全管理員、ボランティア等の人材確保
 - エ．広報活動の方策
 - オ．事業実施後の検証・評価
- ②宮古島市放課後子ども教室コーディネーター（コーディネーター配置要項第3条）
 - ア．保護者等に対する参加の呼びかけや、学校、関係機関・団体等との連絡調整

- イ. ボランティア等地域の協力者の確保・登録・配置
- ウ. 地域の実情に応じた活動プログラムを企画

コーディネーター	上松 朋子
任 期	平成25年4月1日～平成26年3月31日

5 平成24年度社会教育・生涯学習活動スナップ集

PTA指導者研修会



高齢者リーダー研修会



女性リーダー及び自治公民館長研修会



少年団体リーダー研修会



青年リーダー研修会



生涯学習フェスティバル



「青少年深夜はいかい防止」「未成年者飲酒防止」県民一斉行動宮古島市民大会



成人式



2 節 公民館

1 現状と課題

本市には市民の学習施設として、中央公民館、城辺公民館、下地公民館、上野公民館、伊良部公民館、西原地区公民館、久松地区公民館、下崎地区公民館の他、自治公民館等が設置されている。

各公民館とも市民の教養の向上、健康の増進、情操の純粋、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与するため各種講演会や発表会、講座、学級、教室等の諸事業を実施し、さらに市民の自主的なサークル活動を推進するなど、市民の学習能力向上に努めている。

市民の公民館活動に対する関心や学習への意欲は一段と高まりをみせ、公民館は市民の学習の場、ふれあいの場、憩いの場として多くの市民に活用されている。また、情報化、国際化、少子高齢化、週休2日制等自由時間の増える現代社会においては、市民の要求する学習内容も多様化、高度化してきている。

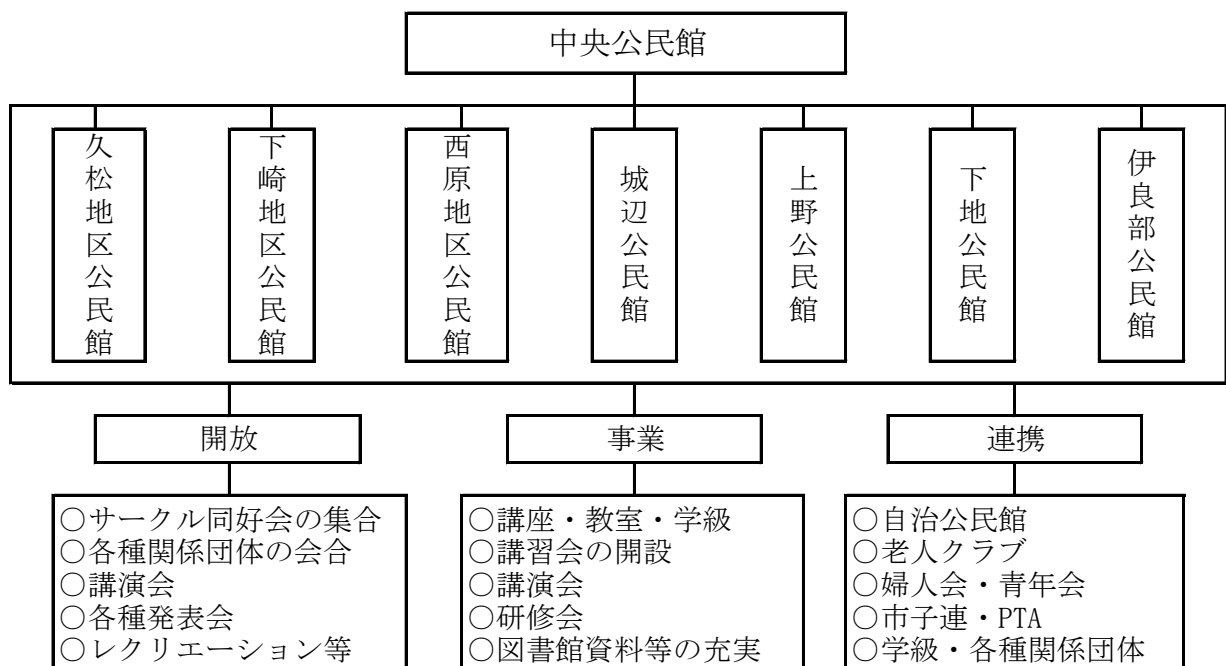
このような状況から公民館としては、今後市民の学習への意欲に応えられるような公民館運営が重要であり、そのために次のような課題について取り組まなければならないと考えている。

- (1) 中央公民館と各地区公民館、自治公民館及び各種団体との連携を図り、公民館活動の活性化を図る。
- (2) 公民館の独自性から、市民のニーズや社会の要求に即した事業の組み立て、地域の課題に対応できる物的、人的条件整備の充実を図る。
- (3) 生涯学習の推進につながる生活に密着した各種情報の資料を整備し活用を図る。
- (4) 生涯学習を共有する関係機関との連携を密にし、公民館運営の合理化を図る。
- (5) 積極的な公民館情報の発信に努める。

2 運営目標

社会の要求と男性の参加、市民の学習ニーズに対応した事業を企画実践するとともに、市民への学習の場を提供し、人づくり・地域づくりに貢献する拠点としての社会教育施設とする。

3 執行体制と活動内容



4 各公民館

(1)中央公民館

宮古島市平良字下里315 電話：73－1123 FAX：73－1223

① 施設の概要

構 造：鉄筋コンクリート一部鉄骨入り
敷地面積：17,135㎡
延床面積：2,520㎡（1階：1,790㎡／2階：730㎡）
野外ステージ：52.40㎡
建築年月：昭和60年6月

② 主な施設

施設名		収容 人数	備 考
1階	大ホール	800	講演会、発表会、展示会、レクリエーションなどに利用可
	創作室	30	絵画、書道、彫刻、和裁、洋裁などに利用可
	図書室	—	読書、資料活用などに利用可
	和室	50	茶道、生け花、着付けなどに利用可
	料理講習室	25	料理やケーキ作りなどに利用可
	ロビー・談話室	—	
	野外ステージ・芝生広場	—	野外演奏やグランドゴルフなどに利用可
2階	視聴覚室	70	視聴覚機器を利用した学習会、映写会、講演会などに利用可
	研修室	130	研修会、講演会、集会などに利用可
	講座室	30	小規模の研修会、講演会、集会などに利用可

③ 平成24年度事業実績

	事業名	期 間	回数	時間	対象者	定員	受講者 (延べ)	講師名
1	花づくり講座	4月～11月	9	8	一般市民	25	155	上 地 登
2	健康講座	5月～7月	10	20	一般市民	30	257	佐久田 稔
3	厨房男子変身 食べる人から作る人	6月	2	4	一般市民	16	32	(株)南西楽園 リゾート
4	公民館活用事業 「犬の飼い方講座」	7月～8月	5	7	一般市民	30	49	狩 俣 章 子
5	夏休み親子陶芸教室	7月～8月	2	4	一般市民	30	54	佐渡山 正 光
6	島講座 「はじめての三線」	6月～8月	10	20	一般市民	30	168	與那覇 寛 仁
7	うたごえ講座 「懐かしのフォークソング」	7月～9月	9	9	一般市民	30	124	野 原 京 子
8	国際交流講座 「世界のお家ごはん」	9月	3	6	一般市民	16	43	上地フェン他2名
9	水墨画講座	8月～10月	10	20	一般市民	15	93	仲 間 利 夫
10	筆遊び講座	10月～11月	5	10	一般市民	20	87	森 田 令 子
11	あったかベスト編み物講座	10月～11月	6	12	一般市民	20	92	佐和田 京 子
12	籐とクバで作る癒しの灯り	10月～11月	2	4	一般市民	20	44	小 川 京 子

	事業名	期 間	回数	時間	対象者	定員	受講者 (延べ)	講師名
13	パソコン講座「エクセル」	12月	12	20	一般市民	20	181	(有) ズミコム
14	パソコン講座「ワード」	12月	12	20	一般市民	20	180	(有) ズミコム
15	ホームクッキング講座 「ピザ&スイーツ」	12月	2	4	一般市民	16	40	皆 川 加代子
16	宮古島の祭祀と神話講座	1月～2月	4	9	一般市民	20	63	佐渡山 安 公
17	健康講座 「お家でできる簡単健康法」	1月～3月	3	6	一般市民	20	72	井 出 泰 平
18	自分史講座	2月	3	6	一般市民	20	20	下 地 清 雄
19	島講座「美味しい芋餅&さ たばんびん」	3月	1	2	一般市民	16	19	上 里 栄 子

④ 平成24年度サークル一覧

	サークル名	代表者名	曜 日	活動時間	人数
1	手話がじゅまるの会	宮 城 育 子	火 曜 日	20:00～21:30	503
2	プアエナミヤコ (フラ)	平 間 直 美	水 曜 日	19:00～21:30	763
3	藤間流日本舞踊	宮 国 順 子	火 曜 日	20:00～21:00	471
4	ブーゲンビリアコーラス	下 地 悦 子	火 曜 日	20:00～21:30	277
5	沖縄空手道	新 里 和 彦	火 曜 日	20:00～21:30	91
6	沖縄空手道 (こども会)	新 里 和 彦	火 曜 日	18:30～19:30	416
7	大正琴さわやか	砂 川 三 枝	水 曜 日	14:30～16:00	351
8	マミーヨガ	斎藤 由起子	第2・4水曜日	10:00～11:30	290
9	野村流三線	與那覇 寛仁	水 曜 日	19:30～21:30	767
10	宮古フロイデ合唱団	高 田 憲	水 曜 日	20:00～21:30	1,129
11	手話サークル虹の会	国 仲 恵 利	木 曜 日	14:00～16:00	201
12	日本3B体操	与那覇 朝子	木 曜 日	20:00～22:00	341
13	大正琴宮美	平 良 和 子	金 曜 日	10:00～12:00	236
14	ハートフルコミュニケーション	與 儀 環	金 曜 日	10:00～12:00	29
15	女声コーラスきらきら	友利 多喜子	金 曜 日	20:00～22:00	1,780
16	珊瑚礁ガイドの会	友 利 博 一	第1金曜日	19:30～21:00	176
17	野村流こども三線	与那覇 寛仁	土 曜 日	15:00～17:00	102
18	ピースアクション	佛 原 行 夫	土 曜 日	19:00～21:00	100
19	クラシックギター愛好会	砂 川 光 弘	土 曜 日	19:00～21:00	257
20	フォークダンスラグーン	前 里 幸 子	第1・2日曜日	10:00～15:00	706
21	ヨガ (フォーリークローバー)	垣 花 尚 子	火 曜 日	10:00～12:00	173
22	宮古島フォークソング倶楽部	岡 田 雄 二	日 曜 日	19:30～21:30	231
23	自力整体サークル	板 坂 美 栄	火 曜 日	19:30～21:30	84
24	すこやか会	奥 平 桂 子	土 曜 日	10:00～12:00	354

	サークル名	代表者名	曜 日	活動時間	人数
25	文化琴和音の会	宮 城 文 子	火 曜 日	14:00～16:00	108
26	宮古島子ども劇団	マティダホール	第2・4日曜日	15:00～17:00	851
27	宮古島市ジュニアオーケストラ	天野 誠	日 曜 日	15:00～17:00	460
28	宮古少年少女合唱団	宮 国 貴 子	日 曜 日	15:00～17:00	1,862
29	吹矢レクリエーション宮古島	齋 藤 司	水 曜 日	09:30～11:30	90
30	市手話奉仕員養成講座	市障がい福祉課	木 曜 日	10:00～12:00	460

⑤ 平成24年度利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
大ホール													
利用日数	16	17	19	12	17	11	21	17	17	12	14	7	180
利用者数	1,365	2,559	1,139	649	3,323	799	3,762	2,796	2,144	1,552	1,416	708	22,212
和室													
利用日数	17	9	15	21	18	15	18	15	17	17	17	16	195
利用者数	197	170	207	220	209	242	499	280	251	256	412	267	3,210
料理教室													
利用日数	3	1	2	1	0	4	0	4	4	1	2	2	24
利用者数	80	10	32	30	0	68	0	90	64	20	9	26	429
研修室													
利用日数	21	17	22	24	23	20	22	20	21	22	22	25	259
利用者数	818	892	913	1,532	930	641	2,620	1,461	660	849	981	942	13,239
講座室													
利用日数	10	8	15	13	7	11	14	21	12	14	11	14	150
利用者数	120	115	203	340	125	141	1,946	946	116	190	247	184	4,673
視聴覚室													
利用日数	11	4	12	8	6	9	4	8	4	6	8	8	88
利用者数	273	119	422	222	143	265	126	556	99	201	198	162	2,786
創作室													
利用日数	14	15	17	17	14	15	21	15	10	14	17	16	185
利用者数	140	134	156	155	109	112	976	253	136	151	247	129	2,698
図書室													
利用日数	1	1	1	0	5	4	4	5	10	3	4	0	38
利用者数	16	7	9	0	52	34	74	93	368	37	52	0	742
その他													
利用日数	3	4	3	4	5	1	3	7	2	5	4	1	42
利用者数	60	358	545	114	62	17	358	402	11	45	368	15	2,355
合計													
利用日数	96	76	106	100	95	90	107	112	97	94	99	89	1,161
利用者数	3,069	4,364	3,626	3,262	4,953	2,319	10,361	6,877	3,849	3,301	3,930	2,433	52,344

⑥ 平成25年度事業計画

	事業名	学習内容・テーマ	時期	時間数	対象	定員(人)
1	花作り講座	ブーゲンビリアの植え方、育て方を学び生活の彩りに役立てる。ハンキングバスケットを利用した寄せ植え等ひと味違った花づくりを楽しむ。	4月～11月	16	一般市民	25

	事業名	学習内容・テーマ	時期	時間数	対象	定員 (人)
2	男性料理講座 「男の手料理」	「男子厨房に入るべからず」はもう古い！今や料理も立派な男の趣味です。	5月 6月	6	一般男性	16
3	公民館活用啓発事業 「宮古島の自然講座」	隆起珊瑚で出来た宮古島の特徴や自然景観、自生する動植物について学ぶ。	5月 6月	12	一般市民	20
4	島講座 「はじめての三線」	琉球古典音楽の野原流三線を基礎から学びながら上達をめざす。	6月～ 8月	20	一般市民	20
5	夏休み親子陶芸教室	土の感触を味わい、作品作りを楽しむ中で親子のコミュニケーションを深める。	7月～ 8月	4	親子	15組
6	大人の木工教室 「Do it yourself」	大工道具の種類や使い方を習得し、自分で作品を作り上げる喜びを実感することで創作意欲へとつなげる。	7月～ 8月	14	一般市民	15
7	初めての社交ダンス講座	初心者対象に社交ダンスのマナーとステップの基本を学び、心身のリフレッシュと受講生の交流を図る。	7月～ 9月	20	一般市民	20
8	水墨画講座	基本的な筆の使い方、面、線の描き方など、墨色の独特な画風の技術を習得する。	8月～ 10月	20	一般市民	15
9	手作り教室「凧」	親子で凧づくりにチャレンジし、材料や作り方、道具の扱い方等を学んだり、体験したりする。	9月～ 10月	8	親子	15組
10	筆文字遊び講座	自分の感情や想像力をそのまま筆の動きにつなげる。笑いと感動の筆あそびを楽しもう。	10月～ 12月	10	一般市民	20
11	大人の陶芸教室	伝統文化の技術体験を通して、手作りの良さを再発見しよう。	10月	6	一般市民	20
12	キャンドルづくり	「南の島の自然」をコンセプトにしたオリジナルキャンドルを作ろう！	11月	3	一般市民	20
13	ホームクッキング	クリスマスに向けて、家庭で出来る簡単なスイーツ作りを習得しよう！	12月	4	一般市民	16
14	リフレッシュ教室	エアロビクス、ピラティスなどで体を動かし、元気な毎日の為に楽しくさわやかな汗をかきましょう。	1月～ 2月	20	一般市民	20
15	パソコン講座 「エクセル編」	パソコン操作の基礎を学び、日常生活においても活用する。	1月～ 2月	20	一般市民	20
16	パソコン講座 「ワード編」	パソコン操作の基礎を学び、日常生活においても活用する。	1月～ 2月	20	一般市民	20
17	若者の為の交流講座① 美味しいパン作り	パンの基本は、手こねからじっくりと・・・オリジナルなパン作りを楽しもう！	未定	9	20代～30代 独身男女	16
18	若者の為の交流講座②	内容未定	未定	6	20代～30代 独身男女	20

	事業名	学習内容・テーマ	時期	時間数	対象	定員 (人)
19	公民館活用啓発事業 「暮らしの中の豆知識」	冠婚葬祭を学び、暮らしに役立てる。レクリエーションで地域のコミュニケーションを考える。	未定	10	一般市民	20

(2)城辺公民館(城辺農村環境改善センター)

宮古島市城辺字福里579-2 電話：77-4903 FAX：77-4227

① 施設の概要

構 造：鉄筋コンクリート造り

敷地面積：24,950㎡

延床面積：1,460㎡（1階：1,422㎡／2階：38㎡）

建築年月：平成2年4月

② 主な施設

施設名		収容 人数	備 考
1階	大ホール	800	講演会、発表会、展示会、レクリエーションなどに利用可。
	会議室	100	憩いの場所として、談話や小展示などに利用可。
	研修室	30	講座、研修会などに利用可。
	料理講習室	30	調理台7台、季節の料理、各種料理などに利用可。
2階	映写室	—	映写機を利用した学習会、映写会などに利用可。
	音響室	—	音響や照明の調整を行う。

③ 平成24年度事業実績

	事業名	期 間	回数	時間	対象者	定員	受講者 (延べ)	講師名
1	パソコン講座	6月	10	20	一般市民	30	137	羽地康雄 他1人
2	フラダンス講座	6月～8月	10	20	一般市民	20	145	平間 直美
3	健康づくり・民踊講座	6月～8月	10	20	城辺地区 高齢者	15	123	下地 達男
4	書道講座	6月～9月	10	20	児童・ 一般	20	108	川上 克枝
5	児童絵画教室	8月	5	10	児童	20	138	西里 恵子
6	エアロビクス講座	8月～10月	10	20	一般市民	15	264	石垣真由美
7	楽しく歌おうカラオケ講座	9月～11月	5	10	一般市民	15	56	小野寺千代子
8	新舞踊講座	9月～11月	10	20	一般市民	15	111	下地 初枝
9	三線講座	9月～11月	10	20	児童・ 一般	20	109	仲間 寛安
10	手芸講座	9月～11月	8	16	一般市民	10	68	伊佐 信子
11	昔ながらの民具作り講座	11月	4	8	一般市民	20	67	砂川 利枝
12	Xmasケーキ作り講座	12月	3	6	一般市民	20	26	山本 良子
13	ストレッチ講座	2月～3月	5	10	一般市民	15	169	佐久川 稔

	事業名	期 間	回数	時間	対象者	定員	受講者 (延べ)	講師名
14	癒しの石けん デコパージュ講座	2月～3月	3	6	一般市民	15	31	明戸千鶴子

④ 平成24年度サークル一覧

	サークル名	代表者名	曜 日	活動時間	人数
1	女声コーラス	洲鎌 律子	火 曜 日	20:00～22:00	957
2	ていだサークル	西里 ミヨ	火・木曜日	14:00～16:00	101

⑤ 平成24年度利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
大ホール													
利用日数	6	12	20	20	17	15	19	23	19	7	4	12	174
利用者数	458	592	882	889	567	2,150	2,785	2,451	3,199	692	98	1,011	15,774
会議室													
利用日数	1	8	18	14	17	15	22	9	10	5	3	11	133
利用者数	6	272	234	262	634	364	746	176	406	140	40	361	3,641
研修室													
利用日数	3	4	7	2	2	3	3	6	1	1	1	4	37
利用者数	9	118	33	16	30	107	151	120	7	5	5	42	643
調理室													
利用日数	0	1	1	1	2	1	0	1	3	0	0	2	12
利用者数	0	90	20	20	30	30	0	30	27	0	0	40	287
その他													
利用日数	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
利用者数	0	0	0	10	0	0	0	0	0	0	0	0	10
合計													
利用日数	10	25	46	38	38	34	44	39	33	13	8	29	357
利用者数	473	1,072	1,169	1,197	1,261	2,651	3,682	2,777	3,639	837	143	1,454	20,355

⑥ 平成25年度事業計画

	事業名	学習内容・テーマ	時期	時間数	対象	定員 (人)
1	パソコン教室	パソコンの技術を身につけ情報社会への対応を可能する。	5月～ 6月	20	一般市民	20
2	健康づくり レクレーション講座	高齢期における健康の維持や趣味などを学習に積極敵に取り組む、潤いある生活をおくる。	5月～ 7月	20	一般男性	30
3	書道教室	習字をとおして、正しく美しい文字の基本を習得する。	6月～ 8月	20	一般市民	20
4	三線講座	工工四の読み方や三線の初歩を学び、あわせて民謡を楽しむ。	6月～ 8月	20	一般市民	20
5	エアロビクス講座	リズム感を身につけ、美容と健康の増進を図る。	6月～ 8月	20	親子	30
6	夏休み児童絵画教室	絵画、写生をとおし、子ども達の豊かな情操を培う。	7月	10	一般市民	20

	事業名	学習内容・テーマ	時期	時間数	対象	定員 (人)
7	ステンシル講座	遊び心を取り入れ、オリジナルデザインを描いて楽しむ。	7月～ 8月	8	一般市民	15
8	親子木工講座	木のぬくもりを生かしながら木細工を親子で楽しむ。	8月	6	一般市民	20
9	楽しく歌おうカラオケ講座	基本的な発声から楽しく歌えるまでを学び、歌う楽しさを知る。	9月～ 11月	10	親子	15
10	手芸講座	手作りの温もりで創り出す楽しみ、日々の暮らしを彩る。	9月～ 11月	16	一般市民	20
11	新舞踊講座	基本を習得し、踊りの楽しさを知る。	9月～ 11月	20	一般市民	20
12	昔ながらの民具作り講座	チガヤや月桃を使い、物入れやバック等を作る。	10月～ 11月	10	一般市民	20
13	ケーキ作り講座	家庭で手軽にケーキが作れるようにする。	12月	6	一般市民	12
14	気分爽快ストレッチ講座	リラックスするとともに疲労の回復、老化予防。	1月～ 3月	20	一般市民	30

(3)上野公民館(上野農村環境改善センター)

宮古島市上野字野原 7 0 1－8 電話：7 6－2 4 8 3 FAX：7 6－6 3 9 8

① 施設の概要

構 造：鉄筋コンクリート2階建
敷地面積：48,667㎡
延床面積：1,425㎡
建築年月：昭和53年8月

② 主な施設

施設名	収容 人数	備 考
大ホール	300	講演会、発表会、展示会、レクリエーションなどに利用可。
会議室	30	サークル、会議、研修会などに利用可。
生活研修室	20	会議、研修会などに利用可。
調理実習室	—	調理台2台、回転釜1台設置。料理教室などに利用可。
和室	40	サークル、会議、研修会などに利用可。
図書室	—	読書や資料活用などに利用可。
多目的室	50	主にサークル活動として利用可。

③ 平成24年度事業実績

	事業名	期 間	回数	時間	対象者	定員	受講者 (延べ)	講師名
1	ヨガ講座	6月～7月	10	20	一般市民	30	154	三 羽 千 明
2	三線講座	5月～7月	10	20	一般市民	15	111	宮 城 育 子

	事業名	期 間	回数	時間	対象者	定員	受講者 (延べ)	講師名
3	いきいきシルバー講座	5月～10月	10	20	城辺地区 高齢者	30	150	池 間 澄
4	家庭で出来る アセロラの育て方講座	8月～10月	4	8	児童・ 一般	15	48	上 地 登
5	夏休み子ども陶芸教室	8月	2	4	児童	15	59	佐渡山 安 公
6	夏休み子ども絵画教室	8月	5	10	一般市民	15	104	砂 川 純 子
7	健康ストレッチ講座	9月～11月	10	20	一般市民	30	162	石 垣 真由美
8	琉球舞踊講座	10月～11月	8	20	一般市民	15	85	池 間 澄
9	エコクラフト講座	10月～11月	5	10	児童・ 一般	15	87	与那覇 久 美
10	絵てがみ講座	10月～11月	8	16	一般市民	15	56	砂 川 純 子

④ 平成24年度サークル一覧

	サークル名	代表者名	曜 日	活動時間	人数
1	上野三線クラブ	宮 城 育 子	水曜日	20:00～21:00	391
2	ジャフリカン宮古	松 本 孝 司	水曜日	14:00～16:00	435
3	大正琴サークル	砂 川 ヒロ子	第1・3・4水曜日	20:00～21:30	9
4	プアエナ宮古フラサークル	室 上 直 美	日曜日	09:00～11:00	799
5	親子フラダンスの会	川 満 直 美	日曜日	11:00～13:00	230
6	ウクレレサークル	水 本 純 代	日曜日	11:00～13:00	27
7	絵画サークル	与那覇 淳	第3火曜日 第1土曜日	19:00～22:00	23
8	なおきバンド	愛 澤 直 樹	第1・3土曜日	14:00～16:00	12
9	簡単体操サークル	伊志嶺 厚 子	火曜日	20:00～22:00	730
10	女声あんさんぶるAYAGU	田 上 真由美	金曜日	20:00～21:30	150

⑤ 平成24年度利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
大ホール													
利用日数	11	14	18	20	18	13	13	16	13	9	7	8	160
利用者数	150	513	503	459	569	676	354	1,022	787	192	116	125	5,466
会議室													
利用日数	5	5	5	5	4	3	10	12	5	7	4	4	69
利用者数	22	24	26	20	27	20	82	114	77	52	35	27	526
和室													
利用日数	4	8	9	7	5	4	7	8	4	4	4	4	68
利用者数	48	108	135	93	60	51	75	74	37	38	57	39	815
料理実習室													
利用日数	0	0	0	0	1	1	2	0	0	0	0	0	4
利用者数	0	0	0	0	15	15	40	0	0	0	0	0	70
生活研修室													
利用日数	0	0	0	8	3	3	2	0	0	0	0	0	16
利用者数	0	0	0	149	17	19	12	0	0	0	0	0	197

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
図書室													
利用日数	1	0	1	0	1	0	0	1	1	1	1	0	7
利用者数	4	0	4	0	1	0	0	1	1	2	1	0	14
青年会室													
利用日数	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	4
利用者数	3	2	0	0	0	0	0	0	0	5	2	0	12
ピロティ													
利用日数	1	2	0	2	2	2	1	0	0	0	0	0	10
利用者数	6	11	0	26	17	23	12	0	0	0	0	0	95
合計													
利用日数	23	30	33	42	34	26	35	37	23	22	17	16	338
利用者数	233	658	668	747	706	804	575	1,211	902	289	211	191	7,195

⑥ 平成25年度事業計画

	事業名	学習内容・テーマ	時期	時間数	対象	定員 (人)
1	三線講座	沖縄伝統芸能である三線に親しみながら奏法の基礎技術を習得する。	4月～7月	20	一般市民	15
2	いきいきシルバー講座	元気でいきいきとした人生を過ごせるよう踊りやレク、体操等で健康増進を図る。	5月～10月	20	一般市民	30
3	ヨガ講座	ヨガをとおして、自分自身の心と体を見つめ直しリフレッシュを図る。	6月～7月	20	一般市民	30
4	園芸講座	花(果樹)を育てる基礎を学ぶことで管理に興味を深める。	7月～10月	8	一般市民	15
5	夏休み子ども陶芸講座	宮古焼きの陶芸作りを楽しみながら、陶芸の基礎を学ぶ。	7月～8月	6	小学1年～小学3年	15
6	夏休み子ども絵画講座	絵画を楽しみながら、夏休みを有意義に過ごす。	8月	10	小学生	15
7	英会話講座	英会話をとおして英語圏の文化及び国際性を養う。	7月～8月	10	一般市民	15
8	舞踊講座	琉舞の基礎を学ぶことで地域の文化を見直し、琉舞を通して地域間の親睦を図る。	9月～10月	16	一般市民	15
9	エコクラフト講座	エコクラフトの基礎を学び、手芸を楽しむ。	10月～11月	10	一般市民	15
10	絵てがみ講座	「へタがいい、へタでいい」を合い言葉に初心者でも楽しく絵てがみを始められる。	10月～11月	16	一般市民	15
11	エアロビクス講座	ストレッチや体操で体を動かし、毎日を健康で過ごす。	10月～11月	20	一般市民	30
12	簡単体操講座	簡単体操をとおしてリフレッシュを図る。	11月～12月	20	一般市民	30

	事業名	学習内容・テーマ	時期	時間数	対象	定員 (人)
13	親子たこ作り講座	昔取った杵柄を思いだし、子どもに宮古のたこの作り方を継承する。	12月	8	親子	20

(4)下地公民館

宮古島市下地字上地628-1 電話：76-6017 FAX：76-6018

① 施設の概要

構 造：鉄筋コンクリート2階建
敷地面積：17,182㎡
建築面積：874㎡（1階：538㎡／2階：336㎡）
建築年月：昭和53年3月

② 主な施設

施設名	収容 人数	備 考
大講堂	200	各種団体の集会の会場や軽スポーツなどに利用可。
小講堂	30	サークル、会議、研修会などに利用可。
調理実習室	30	料理講習などに利用可。
婦人会・青年会室	—	婦人会や青年会の活動の拠点として利用可。
展示室	—	各種展示会に利用可。
和室	—	講座、サークル、会議、研修会などに利用可。
ロビー・図書室	—	自由に利用でき、読書、資料活用に利用可。
視聴覚室	—	映写会、会議などに利用可。

③ 平成24年度事業実績

	事業名	期 間	回数	時間	対象者	定員	受講者 (延べ)	講師名
1	タケアラ学校講座	5月～3月	7	14	下地地区 60代以上	20	116	平良耕次郎 他
2	子どもと大人のお習字講座	4月～9月	10	20	親子	20	151	玉城恵美子
3	パソコン講座「ワード初級」	5月	10	20	一般市民	20	163	ズミドットコム
4	ヨガ講座	5月～6月	5	10	一般市民	20	106	山下 貴子
5	三線講座	5月～7月	10	20	一般市民	20	151	村吉 順榮
6	夏休み親子陶芸講座	7月～8月	4	8	親子	20	64	金城 敏信
7	夏休み子ども茶道講座	8月	5	10	小・中学生	10	55	平良 宗幸
8	手芸（チガヤ）講座	9月	5	10	一般市民	20	83	砂川 利枝
9	一葉式いけ花講座	10月～11月	5	10	一般市民	20	71	斉藤 和美
10	茶道講座	10月～12月	10	20	一般市民	10	65	平良 宗幸
11	エアロビクス・ 有酸素運動講座	1月～2月	8	16	一般市民	30	115	与那嶺 幸子

④ 平成24年度サークル一覧

	サークル名	代表者名	曜 日	活動時間	人数
1	下地子ども太鼓	友利 美幸	土曜日(月2回)	17:00～19:00	770
2	ヨガサークル	山下 貴子	火 曜 日	09:00～11:30	313
3	フラダンスサークル	福嶺 道子	木 曜 日	20:00～21:30	355
4	大正琴サークル	仲里美智子	木 曜 日	20:00～21:30	90

⑤ 平成24年度利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
大講堂													
利用日数	4	18	30	20	15	15	18	22	20	13	14	16	205
利用者数	66	471	747	426	263	168	292	312	309	188	218	299	3,759
小講堂													
利用日数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
利用者数	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0
和室													
利用日数	0	0	0	1	6	2	2	1	1	2	2	2	19
利用者数	0	0	0	10	65	50	27	62	7	18	15	30	284
調理実習室													
利用日数	0	1	0	0	2	2	1	6	2	2	0	2	18
利用者数	0	10	0	0	35	50	20	110	30	35	0	80	370
パソコン室													
利用日数	0	0	5	10	20	5	2	0	0	0	0	0	42
利用者数	0	0	13	17	24	16	5	0	0	0	0	0	75
視聴覚室													
利用日数	6	11	3	14	7	7	2	3	2	2	3	1	61
利用者数	68	48	19	231	160	81	23	39	14	24	15	20	742
図書室・eラー													
利用日数	20	15	18	12	22	16	15	18	17	18	15	23	209
利用者数	66	40	36	140	45	80	22	85	46	20	20	32	632
合計													
利用日数	30	45	56	57	72	47	40	50	42	37	34	44	554
利用者数	200	569	815	824	592	445	389	608	406	285	268	461	5,862

⑥ 平成25年度事業計画

	事業名	学習内容・テーマ	時期	時間数	対象	定員(人)
1	タケアラ学校(60代)	健康で生きがいある人生を送るため、時代に応じた教養を身につけ楽しい学習活動を目指す。	5月～3月	16	下地地区60代～	20
2	夏休み子ども茶道教室	日本の伝統文化である「茶の湯」の作法を通して思いやりの心を育む。	8月	20	小・中学生 高校生	20
3	三線講座	唄い継がれてきた民謡を通して、郷土の文化に親しむ。	5月～7月	20	一般市民	20
4	琉球舞踊講座	琉球舞踊の基本を学び、芸を身に付けるとともに、心身を豊かにする。	5月～7月	20	一般市民	20

	事業名	学習内容・テーマ	時期	時間数	対象	定員 (人)
5	茶道講座	日本の伝統文化である茶の湯の作法を通して思いやりの心を学ぶ。	11月～ 12月	10	一般市民	20
6	パソコン講座(初級)	パソコンの基本操作を学び、日常生活に役立てる。	7月	20	一般市民	20
7	手芸講座	手芸の手法を学びながら、生活空間の色彩を楽しむ。	9月～ 10月	10	一般市民	20
8	夏休み親子陶芸教室	陶芸の基礎と親子で作る楽しさを学ぶ。	8月	10	親子	20
9	ストレッチ講座	有酸素運動により、体力を向上させ、丈夫で健康な身体作りをする。	11月～ 12月	10	一般市民	20
10	生け花講座	花を生ける楽しさと知識を養う。	10月～ 11月	10	一般市民	20
11	健康マッサージ講座	不要なものが滞らず、流れの良い健康な体を維持するためのマッサージ方法を学ぶ。	1月	10	一般市民	20

(5)伊良部公民館

宮古島市伊良部字前里添 1 0 5 6 - 1 電話：7 8 - 3 5 5 8 FAX：7 8 - 6 2 1 0

① 施設の概要

構 造 ： 鉄筋コンクリー造ト2階建
敷 地 面 積 ： 2 7 , 6 3 1 m²
床 面 積 ： 1 , 5 0 4 m²
建 築 面 積 ： 1 , 6 8 2 m²
建 築 年 月 ： 平成10年3月

② 主な施設

施設名	収容 人数	備 考
大ホール	600	講演会、発表会、展示会、祝い会場などに利用可。
和室	30	各種講座、サークル、研修会などに利用可。
実習室	30	料理教室、講習などに利用可。
会議室	10	サークル、会議、研修などに利用可。
高齢者・子供交流室	20	集会、談話、交流の場として利用可。
視聴覚室	30	サークル、学習会、講演会などの利用可。
控室	20	発表会、祝いなどに利用可。
図書室	5	読書と資料活用に利用可。

③ 平成24年度事業実績

	事業名	期 間	回数	時間	対象者	定員	受講者 (延べ)	講師名
1	着付け講座	5月～6月	10	20	一般市民	10	48	尾屋 直子
2	マングローブ観察講座	8月	1	2	一般市民	10	3	仲間 明典
3	夏休み児童絵画教室	8月	4	8	児童・生徒	12	34	山原 英治

	事業名	期 間	回数	時間	対象者	定員	受講者 (延べ)	講師名
4	夏休みものづくり教室	8月	2	4	一般市民	30	56	前泊 克己
5	三線講座	7月～8月	10	20	一般市民	12	72	浜川 孝之
6	琉球舞踊講座	10月～11月	10	20	一般市民	20	209	湧川 絢子
7	パソコン教室	12月	10	20	一般市民	12	89	譜久村 喬
8	パソコン初級教室	3月	3	6	一般市民	6	14	譜久村 喬

④ 平成24年度サークル一覧

	サークル名	代表者名	曜 日	活動時間	人数
1	佐良浜三線同好会	浜川 孝之	火・木・土曜日	19:00～21:00	1,770
2	大正琴サークル	仲間美江子	土曜日	13:30～15:30	101
3	太鼓サークル	平山さおり	水・金曜日	19:30～21:00	947
4	フラダンスサークル	水野 友子	水・土曜日	09:00～11:00	170
5	フォークダンスサークル	友利 京子	水・土曜日	19:00～21:00	420
6	三線サークル	友利 裕美	木・日曜日	19:00～21:00	202

⑤ 平成24年度利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
大ホール													
利用日数	6	7	8	6	10	8	6	19	8	4	3	3	88
利用者数	283	512	318	834	538	1,876	856	1,948	130	331	517	379	8,522
和室													
利用日数	10	12	13	16	18	12	23	21	15	13	13	15	181
利用者数	150	170	198	232	223	124	311	233	181	144	154	366	2,486
実習室													
利用日数	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
利用者数	0	0	0	0	30	0	0	0	0	0	0	0	30
会議室													
利用日数	8	5	9	12	12	4	7	6	10	6	8	7	94
利用者数	69	30	99	88	151	32	45	78	70	36	118	69	885
視聴覚室													
利用日数	3	2	3	3	0	1	0	10	2	0	2	7	33
利用者数	20	15	18	14	0	4	0	150	9	0	9	35	274
図書室													
利用日数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
利用者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計													
利用日数	27	26	33	37	41	25	36	56	35	23	26	32	397
利用者数	522	727	633	1,168	942	2,036	1,212	2,409	390	511	798	849	12,197

⑥ 平成25年度事業計画

	事業名	学習内容・テーマ	時期	時間数	対象	定員 (人)
1	和裁講座	和裁の基礎的な手法を習得する。	5月	20	一般市民	10

	事業名	学習内容・テーマ	時期	時間数	対象	定員 (人)
2	絵画教室	絵画の基本を習得すると共に 絵を描く楽しさを知る。	8月	8	一般市民	12
3	夏休み物作り教室	親子で工作を行うことで、豊 かな情操を養う。	8月	2	親子	20
4	伊良部郷土史講座	地域の歴史を学び、広い視点 を持つ。	8月	8	一般市民	10
5	三線講座	親子で工作を行うことで、豊 かな情操を養う。	9月～ 11月	20	一般市民	10
6	琉球舞踊講座	琉球舞踊の基礎を学び、郷土 芸能に慣れ親しむ。	9月～ 11月	20	一般市民	20
11	パソコン講座	操作する基礎を学び、楽しみ ながら基礎的な知識を得る。	12月	20	一般市民	12

(6)久松地区公民館

宮古島市平良字久貝 2 2 3 電話：7 2－7 9 7 7 (FAX兼用)

① 施設の概要

構 造：鉄筋コンクリート平屋
敷地面積：1, 8 5 9. 3 7 m²
延床面積：6 2 5 m²
建築年月：昭和6 2 年 3 月

② 主な施設

施設名	収容 人数	備 考
講堂(大ホール)	400	講演会、発表会、展示会、レクリエーションに利用可。
ロビー兼展示室	—	憩いの場所として談話や小展示などに利用可。
料理講習室	—	ガスレンジ付き調理台が2台あり、各種料理実習に利用可。
和室	約15人	お茶や生け花などのお稽古やサークルの集会などに利用可。
会議室	約20人	学習、読書会、子供会などの集会に利用できます。

③ 平成 2 4 年度事業実績

	事業名	期 間	回数	時間	対象者	定員	受講者 (延べ)	講師名
1	アレンジフラワー講座	4月	5	10	一般市民	15	57	西平 富士子
2	琉球舞踊講座	6月～7月	10	20	一般市民	20	221	根 間 幸 子
3	夏休み親子シーサー作り講座	7月	2	6	親子	15	26	濱 川 幸 洋
4	島サバ作り講座	8月	2	4	児童・ 一般	24	21	古波蔵 千枝美
5	三線講座	9月～10月	10	20	一般市民	20	134	平 良 美枝子
6	パッチワーク講座	10月～11月	5	10	一般市民	15	66	桃 原 美智子

	事業名	期 間	回数	時間	対象者	定員	受講者 (延べ)	講師名
7	大正琴講座	11月～2月	10	20	一般市民	15	81	砂 川 寿 美
8	ヨガ講座	2月～3月	5	10	一般市民	20	68	山 下 貴 子

④ 平成24年度サークル一覧

	サークル名	代表者名	曜 日	活動時間	人数
1	社交ダンス	杉 本 昌 子	水 曜 日	20:00～22:00	493
2	パッチワーク	砂 川 典 子	第2・4火曜日	20:00～22:00	129
3	三 線	平良 美枝子	第2・4火曜日	20:00～22:00	281
4	絵 画	下 地 充	第2・4土曜日	15:00～17:00	22
5	フォークダンス (ラグーン)	前 里 幸 子	隔週日曜日	10:00～12:00	174
6	親子で楽しむワールドダンス&ミュージック	森 本 由 香	日 曜 日	13:00～15:00	137

⑤ 平成24年度利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
大ホール													
利用日数	15	10	18	20	18	15	18	15	20	10	15	13	187
利用者数	299	155	783	749	300	1,003	515	418	1,239	409	353	188	6,411
和室													
利用日数	0	4	6	3	3	4	3	2	3	1	0	2	31
利用者数	0	33	55	22	17	27	16	24	36	12	0	16	258
料理講習室													
利用日数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
利用者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
会議室													
利用日数	0	3	2	3	2	5	8	7	3	3	4	6	46
利用者数	0	21	16	25	13	43	69	78	48	41	74	63	491
その他													
利用日数	0	2	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	5
利用者数	0	11	0	3	5	0	3	0	0	0	0	0	22
合計													
利用日数	15	19	26	27	24	24	30	24	26	14	19	21	269
利用者数	299	220	854	799	335	1,073	603	520	1,323	462	427	267	7,182

⑥ 平成25年度事業計画

	事業名	学習内容・テーマ	時期	時間数	対象	定員 (人)
1	おやつ作り講座	家庭で簡単に作れるおやつ作りを学ぶ。	5月～	4	一般市民	12
2	琉球舞踊講座	琉球舞踊の基本を学び、芸を身につけるとともに、心身を豊かにする。	6月～	20	一般市民	20
3	夏休み子ども絵画講座	絵画、写生を通して、子ども達の豊かな情操を培う。	7月～	10	児童・生徒	20

	事業名	学習内容・テーマ	時期	時間数	対象	定員 (人)
4	夏休み子ども三線講座	古くから伝わる琉球の三線を基礎から学ぶ。	8月～	20	児童・生徒	20
5	小物作り講座	作る魅力を味わいながら、作り上げる楽しさを知る。	9月～	10	一般市民	15
6	エコクラフト講座	古紙のリサイクル材料で環境問題を考えながら物作りも楽しむ。	10月～	10	一般市民	15
7	クリスマスリース作り講座	クリスマスに向けて、デザインやアレンジを考え、オリジナル作品を作る。	11月～	10	一般市民	15
8	ヨガ講座	体操と呼吸法と瞑想の基本を学ぶ。	12月～	10	一般市民	20

(7)西原地区公民館

宮古島市平良字西原 1 0 7 8 電話：7 2－1 7 3 2（FAX兼用）

① 施設の概要

構 造：鉄筋コンクリート平屋
敷地面積：1, 9 0 2 m²
延床面積：6 2 5 m²
建築年月：昭和6 3 年 5 月

② 主な施設

施設名	収容 人数	備 考
講堂（大ホール）	300	講演会、発表会、レクリエーションなどに利用可。
和室	25	生け花、茶道、着付けなどの学習に利用可。
調理室	25	各種料理実習に利用可。
会議室	30	小規模な集会や学習会などに利用可。
図書室	10	読書と資料の閲覧可。

③ 平成 2 4 年度事業実績

	事業名	期 間	回数	時間	対象者	定員	受講者 (延べ)	講師名
1	ハンドメイド講座	5月～6月	5	10	一般市民	20	75	仲 間 ひとみ
2	琉球舞踊講座	5月～7月	10	20	一般市民	20	317	池 田 千香子
3	和裁講座	6月	5	10	一般市民	20	54	長 田 千枝美
4	シーカヤック講座	8月	2	4	小中学生・ 一般市民	15	34	平 良 一 訓
5	サマークラフト	8月	5	10	小中学生・ 一般市民	20	78	西 平 守 匡
6	コーラス講座	9月～10月	5	10	一般市民	20	36	上 原 留美子
7	新舞踊講座	10月～11月	8	16	一般市民	20	137	砂 川 アイ子
8	年賀状講座	12月	2	4	一般市民	15	30	嵩 原 安 雄

	事業名	期 間	回数	時間	対象者	定員	受講者 (延べ)	講師名
9	三線講座	2月～3月	6	12	一般市民	20	110	古 謝 正 行
10	親子クッキング講座	2月～3月	2	4	親子	5組	20	中野渡 睦 男

④ 平成24年度サークル一覧

	サークル名	代表者名	曜 日	活動時間	人数
1	ボランティア幸の会	浜川 和 子	第2・4火曜日	14:00～16:00	262
2	コーラスゆりの会	本村 キミ子	第2・4土曜日	14:00～16:00	767
3	日舞サークル友の会	砂川 アイ子	第2・4土曜日	15:00～17:00	367
4	琉舞サークル結の会	仲間 千代子	水 曜 日	15:00～17:00	229

⑤ 平成24年度ひらら大学事業実績

事業名	参加者(延べ)	活動時期	回数	講師名
琉球舞踊	361	5月～2月（第2・4木曜日）	15	久田 多嘉子
大正琴	133	5月～2月（第2・4水曜日）	21	砂川 寿 美

⑥ 平成24年度利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
大ホール													
利用日数	24	18	23	25	24	21	22	21	20	11	11	10	230
利用者数	553	440	734	831	812	791	1,445	894	991	269	204	308	8,272
和室													
利用日数	2	2	3	1	1	1	3	2	4	2	2	5	28
利用者数	50	31	36	20	10	10	65	40	85	30	29	56	462
料理講習室													
利用日数	2	1	1	1	1	2	2	1	3	1	1	2	18
利用者数	30	5	10	10	10	53	30	10	50	10	11	30	259
会議室													
利用日数	9	9	4	9	9	8	6	3	7	4	4	1	73
利用者数	93	118	36	84	85	71	96	23	78	28	37	18	767
図書室													
利用日数	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
利用者数	0	0	0	0	0	0	0	0	20	0	0	0	20
合計													
利用日数	37	30	31	36	35	32	33	27	35	18	18	18	350
利用者数	726	594	816	945	917	925	1,636	967	1,224	337	281	412	9,780

⑦ 平成25年度事業計画

	事業名	学習内容・テーマ	時期	時間数	対象	定員 (人)
1	ニュークラフト講座	リサイクルで環境問題を考えながらオリジナルの手作り作品を仕上げる。	5月～ 6月	10	一般市民	20
2	サマー工作講座	テーマを決め、デザインを考え道具を使用して作品を仕上げる。	7月～ 8月	6	小中学生	20

	事業名	学習内容・テーマ	時期	時間数	対象	定員 (人)
3	サマー絵画教室	感性や独創性を育むと共に、作品を通して表現する楽しむを味わう。	7月～ 8月	10	小中学生	20
4	小物講座	家庭にある様々な物に注目し、再利用できる布や材料で作品を仕上げる。	9月	10	一般市民	20
5	琉球舞踊講座	古くから伝わる琉球の踊りを初歩から応用まで幅広く学ぶ。	9月～ 10月	20	一般市民	20
6	新舞踊講座	踊りの基礎を学び、新舞踊を楽しく踊る喜びを知る。	10月～ 11月	16	一般市民	20
7	エアロビクス講座	リズム感を身につけ、美容と健康の増進を図る。	12月	14	一般市民	20
11	英会話講座	日常生活に必要な英会話を学び、国際性を養う。	1月～ 2月	14	中学生・ 高校生・ 一般市民	20

(8)下崎地区公民館

宮古島市平良荷川取４８６－１ 電話：７３－００４４（FAX兼用）

① 施設の概要

構 造：鉄筋コンクリート２階建
敷地面積：１，０００㎡
延床面積：６０３㎡
建築年月：平成３年３月

② 主な施設

施設名	収容 人数	備 考
大ホール	300	講演会、発表会、レクリエーションなどに利用可。
図書室	—	読書と資料の閲覧可。
和室	—	生け花、茶道、着付けなどの学習に利用可。
視聴覚室	—	視聴覚機器を利用した学習会などに利用可。
調理室	—	料理講習会などに利用可。
会議室	—	小規模な集会や学習会などに利用可。

③ 平成２４年度事業実績

	事業名	期 間	回数	時間	対象者	定員	受講者 (延べ)	講師名
1	琉球舞踊講座（高齢者）	5月	5	10	高齢者	16	85	根 間 幸 子
2	ストレッチ& 有酸素運動講座	6月～7月	10	20	一般市民	20	266	石 垣 真由美
3	クッキング講座	7月	2	4	一般市民	10	26	下 地 恵 勇
4	ちぎり絵講座	7月	5	10	一般市民	15	30	石 原 ヨ シ
5	ペーパークラフト講座	8月	5	10	一般市民	15	80	与那覇 久 美
6	創作舞踊講座	10月	5	12	一般市民	20	129	与那覇 恵 子

	事業名	期 間	回数	時間	対象者	定員	受講者 (延べ)	講師名
7	フラドレス&髪飾り講座	10月	5	10	一般市民	10	51	根 間 亜也子
8	新舞踊講座	10月～11月	10	20	一般市民	20	108	根 間 幸 子
10	門松作り講座	12月	2	4	一般市民	15	20	下 地 貞 夫

④ 平成24年度サークル一覧

	サークル名	代表者名	曜 日	活動時間	人数
1	フラサークルポーポーレファ	佐久田 優子	水 曜 日	20:00～22:00	23

⑤ 平成24年度利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
大ホール													
利用日数	10	14	14	11	13	9	35	15	18	8	9	9	165
利用者数	156	247	353	217	246	204	1,135	210	513	184	176	176	3,817
和室													
利用日数	5	3	9	3	5	4	7	6	4	6	5	7	64
利用者数	51	70	22	134	60	64	##	59	30	42	66	101	868
調理室													
利用日数	0	7	4	3	4	3	11	3	3	4	3	2	47
利用者数	0	23	7	35	5	5	20	5	14	10	8	6	138
会議室													
利用日数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
利用者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計													
利用日数	15	24	27	17	22	16	53	24	25	18	17	18	276
利用者数	207	340	382	386	311	273	1,324	274	557	236	250	283	4,823

⑥ 平成25年度事業計画

	事業名	学習内容・テーマ	時期	時間数	対象	定員 (人)
1	リサイクル講座	古着や古布等を利用して、自分だけのオリジナル作品を作る。	6月	12	一般市民	15
2	パッチワーク講座	パッチワークの基礎を学び色彩豊かな生地を利用して作品を作ってみる。	7月～ 8月	14	一般市民	15
3	サマークラフト講座	海岸で拾った貝殻を利用してデザインを考えて作品を作ってみる。	8月～ 9月	10	一般市民	15
4	エアロビクス講座	ウエアロビクスを通して、日々の運動不足を解消し美容と健康の増進を図る。	8月	20	一般市民	30
5	琉球舞踊講座	琉球舞踊を通じて地域の人々との交流を図りながら、日々の生活を楽しむ。	8月～ 10月	20	一般市民	20

	事業名	学習内容・テーマ	時期	時間数	対象	定員 (人)
6	お菓子作り講座	カルカン作りの基礎を習得し 幅広く活用する。	10月	4	一般市民	10
7	日本舞踊講座	日本舞踊の基礎を学び踊りの 楽しさを知る。	10月	4	一般市民	10

3 節 図書館

1 現状と課題

平成24年度における宮古島市立図書館3館の利用状況は、前年度と比較して入館利用者数が73,470人で約5.3%の増加、貸出利用者数が46,945人で約16%の増加、貸出冊数は168,432冊と約8%増加した。

また、開館日数を前年度より多く開館し平良図書館で9日間、城辺図書館で6日間、平良図書館北分館で7日間と、多くの市民が利用できるようサービスを展開した。その結果、平成24年度における市民1人当たり年間約3冊の貸出利用となり、県平均値3.3冊に近づきつつある。

平成25年度は、各自治体で課題となっている過疎地及び高齢者・障害者向けサービスの拡充を中心に、市民のニーズにあったサービス展開を図っていく。

2 運営の基本方針

宮古島市立図書館は、幼児から高齢者まですべての市民に必要な図書館サービスを提供するとともに、地域の魅力ある文化・情報を発信し、地域を支え市民に役立つ図書館を目指す。

3 重点目標

図書館の基本的サービスである「貸出し」を中心に、市民の生涯学習・自己学習を支援し、関係機関との協力・連携を図りつつ学習環境の条件整備に努めます。また、島ぬ宝育成情報支援プロジェクト、おはなし会や学級招待、季節のイベントなどとおして読書の楽しさや学ぶ機会を提供し、図書館利用の促進に努める。

(1) 図書館基本サービスの充実

すべての市民への貸出しサービスを基本に、レファレンス（調べ物・読書案内）、リクエスト（予約）サービスを親切かつ的確に行い、資料・情報提供の拡充に努める。

(2) 図書館行事の充実

図書館ボランティアと連携しながら、おはなし会・読書週間関連行事・学級招待・季節行事などとおして子ども達の豊かな情操を育みながら図書館利用の促進を図る。

(3) 移動図書館車の利用促進

遠隔地の住民に図書館サービスが行き渡るように、移動図書館車（平良館：みらい号、城辺館：夢の光号）のサービス拡充とステーション増設に努める。

(4) 学校等関係機関とのネットワークの強化

学校図書館や地域保育関係との連携を図り、子ども達の読書環境の充実に努める。学校との架け橋となる「こども図書館大使」を任命して、図書館の役割やこども大使おすすめ本等の図書館情報を提供し、図書館の利用促進につなげる。

(5) ボランティア活動の推進

住民（利用者）参加の図書館運営と図書館サービスの拡充に資するため、ボランティアの図書館活動を推進する。

(6) 北分館の利用促進

市民の学ぶ機会を提供するため郷土史講座を開設し、郷土への理解と認識を深めていく。また、資料の特別展示等とおして分館利用の促進に努める。市民の調査研究、生活情報の提供やまちづくりに資するため、宮古島市立図書館地域資料収集基準に基づき郷土に関する資料を積極的に収集する。

(7) 島ぬ宝育成情報支援プロジェクトの推進

島ぬ宝である子ども達や子育て中の親世代を支援していくため、関連部署と連携して各年齢に応じた資料や情報の提供に努め、図書館の利用促進につなげる。

4 平成24年度 事業計画

	平良図書館・北分館	城辺図書館		平良図書館・北分館	城辺図書館
4月	★移動図書館 ★おはなし玉手箱 ★学級招待 ★子どもシアター (21日)	★移動図書館 ★おはなし会 ★子ども読書週間行事 ・おはなしひろば ・読み聞かせおすすめ本展	10月	★移動図書館 ★おはなし玉手箱 ★学級招待 ★職場体験学習(下地中) ★職場体験学習(北中) ★宮古郷土史講座 (北分館)	★移動図書館 ★おはなし会 ★秋の読書月間行事 ・一日図書館員 ・学級招待
5月	★移動図書館 ★おはなし玉手箱 ★学級招待	★移動図書館 ★おはなし会	11月	★移動図書館 ★おはなし玉手箱 ★学級招待 ★職場体験学習(平良中) ★沖縄県公共図書館研修会 ★宮古郷土史講座 (北分館)	★移動図書館 ★おはなし会
6月	★移動図書館 ★おはなし玉手箱 ★インターシップ (宮古総実高) ★施設見学(北小2年) ★学級招待 ★平和資料展 (北分館)	★移動図書館 ★おはなし会 ★平和資料展	12月	★移動図書館 ★おはなし玉手箱 ★学級招待 ★クリスマス会 ★DVD上映会	★移動図書館 ★クリスマス絵本展 ★クリスマス会
7月	★移動図書館 ★おはなし玉手箱 ★学級招待	★移動図書館 ★たなばた祭り ★サマースクール 低学年(5日間)	1月	★移動図書館 ★おはなし玉手箱 ★学級招待	★移動図書館 ★おはなし会 ★蔵書点検
8月	★移動図書館 ★おはなし玉手箱 ★子ども図書館大使 蔵書点検 ★DVD上映会 ★学級招待	★移動図書館 ★サマースクール 高学年(5日間) ★夏休みわくわく シアター	2月	★移動図書館 ★おはなし玉手箱 ★学級招待 ★蔵書点検	★移動図書館 ★おはなし会 ★蔵書点検
9月	★移動図書館 ★おはなし玉手箱 ★学級招待 ★宮古郷土史講座 (北分館)	★移動図書館 ★おはなし会(4日)	3月	★移動図書館 ★おはなし玉手箱 ★学級招待 ★DVD上映会 ★蔵書点検(北分館)	★移動図書館 ★おはなし会

5 施策の推進体制

(1) 宮古島市図書館協議会

①図書館協議会の任務（図書館法第14条）

図書館協議会は、図書館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、図書館の行う奉仕活動につき、館長に対して意見を述べる機関とする。

6 平成24年度事業実績

(1) 利用状況

①貸出利用者数

単位：人，％

	平成24年度	平成23年度	対前年度	増減率
平良図書館	38,260	33,424	4,836	14.5
北分館	1,082	863	219	25.4
城辺図書館	7,603	6,243	1,360	21.8
合計	46,945	40,530	6,415	15.8

②貸出冊数

単位：冊，％

	平成24年度	平成23年度	増減	増減率
平良図書館	130,351	119,679	10,672	8.9
北分館	2,257	2,021	236	11.7
城辺図書館	35,824	34,267	1,557	4.5
合計	168,432	155,967	12,465	8.0

(2) 図書館の行事

①平良図書館

(ア) おはなし玉手箱等

実施月	行事名・内容等	回数	参加人数
4月	おはなし玉手箱（素話・絵本・紙芝居等）	3	48
	子どもシアター（素話・エプロンシアター・ペープサート）	1	75
5月	おはなし玉手箱（素話・絵本・紙芝居等）	4	62
6月	おはなし玉手箱（素話・絵本・紙芝居等）	3	54
7月	おはなし玉手箱（素話・絵本・紙芝居等）	4	43
8月	おはなし玉手箱（素話・絵本・紙芝居等）	4	72
9月	おはなし玉手箱（素話・絵本・紙芝居等）	4	33
10月	おはなし玉手箱（素話・絵本・紙芝居等）	4	57
11月	おはなし玉手箱（素話・絵本・紙芝居等）	5	65
12月	おはなし玉手箱（素話・絵本・紙芝居等）	3	64
	クリスマス会（お話・エプロン・人形劇・サンタ等）	1	202
1月	おはなし玉手箱（素話・絵本・紙芝居等）	3	65
2月	おはなし玉手箱（素話・絵本・紙芝居等）	3	50
3月	おはなし玉手箱（素話・絵本・紙芝居等）	5	117
計		47	1,007

(イ) 行事的おはなし会

実施月	内 容 等	回数	参加人数	延貸出 (冊)
4月	慰霊の日キャンドル制作・平和のおはなし	1	28	578
5月	七夕集会	1	40	637
6月	節分	1	60	515
計		3	128	1,730

(ウ) 子ども映画会(夏・冬休みに合わせた子ども向け映画上映会)

実施日	時 間	対 象	参加人数
7・8月の1日及び29日	10：30～12：00	幼児から小学生	15
3月27日・28日	10：30～12：00	幼児から小学生	50

(エ) 学級招待

実施日	園名	参加人数
4月25日	ふたば保育園	30
5月24日	北幼稚園・中央保育園	46
6月26日	ちびっこランド	39
7月26日	中央保育園	23
8月23日	ふたば保育園	23
11月29日	ちびっこランド	22

(オ) こども図書館大使

【大使内訳：宮古総業実業高等学校(3人)、
北中学校(3人)、久松中学校(2人)、西辺中学校(2人)】

活動日	活動内容	場所
8月 8日 (水)	任命証交付式・ワーケショップ	平良北分館
8月10日 (金)	平良図書館視察	平良図書館
8月15日 (水)	こども図書館大使新聞素案作成	平良北分館
8月17日 (金)	提言書・こども図書館大使新聞作成	平良北分館
8月29日 (水)	図書館運営改善への提言及び新聞発刊	教育長室

②平良図書館・北分館

(ア) 郷土史講座

	実施日	講師	講座名	受講数
1	10月14日 (日)	久貝 弥嗣	発掘にみる先史・グスク時代	26
2	10月 7日 (日)	下地 利幸	与那覇勢頭豊見頭の中山朝貢	25
3	10月13日 (土)	下地 利幸	仲宗根豊見親の中山服属	19
4	10月21日 (日)	仲間 伸恵	貢納布と女性たち	17
5	10月27日 (土)	砂川 幸夫	近世社会の人々の暮らし	17
6	11月 4日 (日)	下地 和宏	王政府末期の災害と事件	19
7	11月11日 (日)	下地 和宏	旧慣温存と人頭税廃止	18
8	11月18日 (日)	仲宗根將二	戦争への道・「15年戦争」	15
9	11月24日 (土)	下地 和宏	史跡めぐり	18
計				174

※台風のため一部日程調整

③城辺図書館

(ア) おはなし会

実施月	内 容	回数	参加人数
4月	フィンガーアクション・読み聞かせ・紙芝居等	1	35
5月	ペープサート・読み聞かせ・エプロンシアター等	1	35
6月	フィンガーアクション・読み聞かせ・エプロンシアター等	1	41
7月	ペープサート・読み聞かせ・紙芝居等	1	29
9月	フィンガーアクション・すばなし・エプロンシアター等	1	20
10月	ペープサート・読み聞かせ・紙芝居等	1	16
11月	フィンガーアクション・読み聞かせ・紙芝居等	1	28
1月	フィンガーアクション・紙芝居・パネルシアター等	1	26
2月	フィンガーアクション・ペープサート・読み聞かせ等	1	20
3月	ペープサート・すばなし・人形劇等	1	28
計		10	278

(イ) その他行事

実施月	行事名	行事内容	参加人数
6月	平和資料展	パネル写真・本・新聞切り抜き・戦争関連資料展示	48
7・8月	サマースクール	感想画 低学年：7月28日～8月1日 高学年：8月4日～9日	145
8月	夏休みわくわくシアター	ブラックシアター・ペープサートなど	25
月	学級招待	ペープサート・手話・ブラックシアター等	17
月	1日図書館員	西城中生徒図書館業務体験	2
12月	クリスマス会	季節行事	149
計			386

(3) 島ぬ宝（こども）育成情報支援プロジェクト

	実施月	事業内容	回数
1	4月～9月	福祉保健部健康増進課主催「あかちゃん広場」で早期読書習慣と親子スキンシップなどの効果など説明	3
2	2月～3月	市立保育園児・幼稚園児及び保護者向け絵本、子育て関連書と図書館資料活用法と早期読書習慣の確立啓蒙について文書配布	4
3	3月	私立幼稚園児対象に就学時前移動図書館車みらい号Ⅱ世利用体験と利用申込書配布	2

(4) 移動図書館

①ステーション数

移動図書館名	種類	数	ステーション
みらい号 (平良館)	小学校	9	平一・南・東・久松・鏡原・宮原・西辺・狩俣・宮島
	中学校	6	久松・池間小中・西辺・狩俣・来間小中・特別支援学校
	イベント	6	エコフェスタ・エコハウス・宮古産業まつり・生涯学習フェスティバル・秋の文化祭・沖縄サイエンスキャラバンin宮古島

移動図書館名	種類	数	ステーション
みらい号 (平良館)	その他	8	下地児童館・池間添児童館・佐和田児童館・徳洲会病院 他館貸出・幼稚園体験試乗 ・私立幼稚園（3園）
夢の光号 (城辺館)	幼稚園	4	砂川・西城・福嶺・上野
	小学校	3	砂川・西城・福嶺
	中学校	4	砂川・城辺・西城・福嶺
	保育園	3	砂川・西城・上野
	その他	7	くがにハウス・上野子育てセンター・城辺生き生き教室・ 介護事務所きゃーぎ・宅配（3件）

②貸出人数及び冊数

移動図書館名	貸出人数	貸出冊数
みらい号(平良館)	5,707	20,003
夢の光号(城辺館)	2,470	18,230
計	8,177	38,233

③おはなし会

実施月	行 事 名 ・ 内 容 等	回数	参加人数
6月	おはなし会（パネルシアター・大型絵本・エプロンシアター等）	1	67

（５）施設等利用状況

館 名	集会室・視聴覚室		インターネット 利用人数	複写サービス 件数
	件 数	人 数		
平良図書館	0	0		
北 分 館	0	615	298	
城辺図書館	0	616	456	
合 計	0	1,231	754	

（６）蔵書統計

①蔵書冊数

区 分	平良図書館	平良北分館	城辺図書館	合計
一般図書	33,570	4,593	18,910	57,073
児 童 書	27,169	1,279	18,056	46,504
保育資料	94	0	22	116
アメリカンシェルフ	505	0	0	505
郷土資料	57	49,287	3,171	52,515
雑 誌	2,133	427	711	3,271
ムック	452	5	0	457
A V	2,304	6	629	2,939
計	66,284 (9,363)	55,597	41,499	163,380

() 内はみらい号蔵書数

②資料受入数

区 分	平良図書館			平良北分館			城辺図書館			合計		
	購入	寄贈	計	購入	寄贈	計	購入	寄贈	計	購入	寄贈	計
一般図書	2,983	202	3,185	53	1	54	1,149	25	1,174	4,185	228	4,413

区 分	平良図書館			平良北分館			城辺図書館			合計		
	購入	寄贈	計	購入	寄贈	計	購入	寄贈	計	購入	寄贈	計
児 童 書	1,510	46	1,556	10	1	11	779	19	798	2,299	66	2,365
保育資料	20	0	20	0	0	0	8	0	8	28	0	28
アメリカンシェルフ	0	32	32	0	0	0	0	0	0	0	32	32
郷土資料	3	0	3	215	295	510	4	7	11	222	302	524
雑 誌	1,128	37	1,165	132	0	132	282	0	282	1,542	37	1,579
ムック	47	2	49	4	0	4	0	0	0	51	2	53
A V	33	38	71	0	0	0	23	4	27	56	42	98
計	4,194	311	4,505	404	296	700	1,458	36	1,494	6,056	643	6,699

③雑誌・新聞種類

館 名	雑 誌	新 聞
平良図書館	90 種	17 種
北 分 館	16 種	6 種
城辺図書館	24 種	13 種
合 計	130 種	36 種

スポーツ振興

～スポーツアイランドの確立～

1 基本方針

(1) 基本的な考え方

今日、社会環境は高度情報化社会の到来により、人々の生活に利便性をもたらしている。日常生活において体を動かす機会の減少により体力や運動能力の低下、人間関係の希薄化、ストレスの増大など、心身両面に渡る健康上の諸問題が顕著化してきている。

このような中、人々が健康で明るく豊かな生活を形成するために、スポーツの果たす役割は大きな意味を持つものであり、生涯スポーツは、生涯を通じて、いつでも、どこでも、誰とでも、個人の体力や年齢、目的に応じて楽しみ体力の向上と健康保持増進を図り、スポーツの普及促進に努めることが基本理念である。

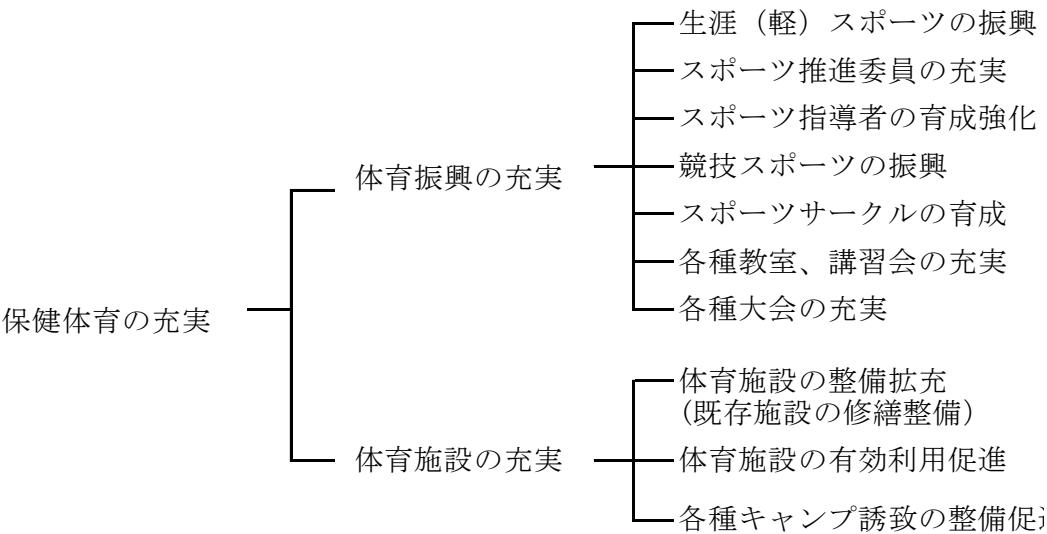
(2) 現状と課題

近年、自由時間の増大や少子高齢化の進展、ライフスタイルの変化の中で、健康に対する意識や生活習慣病への関心が高まりを見せており、健康体力の保持増進や仲間づくりを目的に、市民の誰もがいつでも、誰とでもスポーツに親しむことの出来る豊かなスポーツ環境を市民に提供することは重要なことである。

このような中、宮古島市において、多様化しているスポーツを充実し、市民本位の体力の向上と健康増進を図るため、施設の利用促進と施策展開が望まれる。このため、既存のスポーツ施設の充実、そして民間指導者の発掘と育成強化、サークル活動の育成、体育スポーツ施設の整備拡充や既存施設の修繕をすることにより、多くの市民がスポーツを楽しめると共に地域のスポーツ振興がより一層図られるよう施策の展開を図る。

2 社会体育における重点施策

(1) 施策の体系



(2) 施策の内容

- ①市民本位の体力の向上と健康の保持増進のため体育施設の利用促進を図る。
- ②今後の宮古島市まちづくりにおいて、スポーツ環境事情から巡る様々な現状と課題を整理し、「必要人材の育成」「施設の有効活用」「コストフロー」「情報収集・発信」を総合的に分析し、具体的な目標設定と発展的運営のあり方を実施するため、スポーツマネジメントプランを策定する。
- ③現在のスポーツ傾向は、競技スポーツと生涯スポーツに分けられ、生涯スポーツの普及とともに、競技スポーツの重要性が薄れがちであるが、体育スポーツの振興のバランスからニーズを的確につかみ、競技スポーツ振興の促進を図る。
- ④市民スポーツは多様化している傾向にあるため、子供から高齢者まで出来る生涯スポー

- ツを促進する。
- ⑤各種キャンプの誘致が出来る施設整備の充実と既存施設の整備促進を図る。
- ⑥体育関連機関との連携と民間活力を生かしたスポーツ振興を図る観点から、体育施設の指定管理を実施する。

（３）重点事業の内容と目標

- ①体育スポーツ施設整備
 - ア 市民球場の改修
 - イ 既存施設整備及び付帯施設の充実
- ②指導者の育成とスポーツクラブの育成
 - ア スポーツリーダーバンク登録指導者の育成
 - イ スポーツ指導者の育成強化
 - ウ スポーツクラブ、同好会等の育成
 - エ 総合型地域スポーツクラブの導入及び育成
- ③各種スポーツ教室等の充実
 - 各種スポーツ教室、各種大会を実施し、体力づくりと健康保持増進に努める。
- ④各種イベントの実施とキャンプの誘致
 - ア 本市の体育施設を使った住民参加型で県外からも参加するイベントの実施。
 - イ プロ野球キャンプの隆盛のように各種スポーツキャンプ誘致を図る。
- ⑤スポーツマネジメントプランの策定
 - スポーツ振興の具体的な目標設定と発展的運営のあり方を実施するため、スポーツマネジメントプランを策定する。
- ⑥スポーツ推進計画の策定
 - スポーツマネジメントプランの策定業務と連動して実施する。
- ⑦体育施設の指定管理
 - 関連条例、同規則の改正を行うとともに、スポーツマネジメントプランに沿った指定管理業務を次年度までに実施する。

3 平成25年度事業計画

	月	事業内容	対 象	場 所	協 力
1	5月	宮古島市体育協会協議 市町村スポーツ行政連絡会議 沖縄県高体連サッカー競技大会	宮古島市体育協会	市陸上競技場 那覇市	
2	6月	宮古島市スポーツ推進委員会 市陸上競技場芝生管理業務 多目的前福運動場芝生管理業務 市民球場芝生管理業務	スポーツ推進委員	市総合体育館	
3	7月	トレーニングルーム講習会	一般市民	陸上競技場	
4	8月	スポーツマネジメントプラン策定委員会	スポーツ審議委員	市陸上競技場	
5	9月	スポーツ教室	市民及び中学生	市総合体育館及び 各体育施設	

	月	事業内容	対 象	場 所	協 力
6	10月	スポーツ教室 スポーツマネジメントプラン策定委員会 体育の日イベント	小・中・高校生 スポーツ審議委員	市総合体育館 市陸上競技場	スポーツ推進委員
7	11月	スポーツ教室	小・中・高	市総合体育館	スポーツ推進委員
8	12月	トレーニングルーム講習会 スポーツマネジメントプラン策定委員会 宮古島市スポーツ推進委員会議	一般市民 スポーツ審議委員 スポーツ推進委員	市陸上競技場 市陸上競技場	
9	1月	スポーツ教室 宮古島市体育協会協議	小・中・高生 宮古島市体育協会	市総合体育館 市陸上競技場	スポーツ推進委員
10	2月	オリックスハッファローズ 春季キャンプ 実業団・大学キャンプ スポーツマネジメントプラン策定委員会	オリックス球団 実業団・大学 スポーツ審議委員	市民球場・屋内運動場・サブグラウンド 市民球場・下地球場・城辺球場	オリックス協力会
11	3月	スポーツ教室 スポーツ推進委員会議 実業団・大学キャンプ	小・中・高 スポーツ推進委員 実業団・大学	市総合体育館 市陸上競技場 市民球場・下地球場・城辺球場	スポーツ推進委員

4 附属機関等

(1) スポーツ審議委員会

①審議会の役割

- 教育委員会は、次の計画を定めることについては、予め審議会の意見を聞かなければならない。
- ア スポーツの振興に関する基本計画を参酌して、その地域の実情に即したスポーツ振興に関する計画を定める。
- イ 教育委員会の諮問に応じて、スポーツの振興に関する重要事項について調査審議し、これらの事項に関して教育委員会に建議する。

②委員の任命

- ア 審議会の委員は、スポーツに関する学識経験者のある者及び関係行政機関の職員の中から教育長が任命する。
- イ この場合において、教育委員会は、その長の意見を聞かなければならない。

(2) スポーツ推進委員

①スポーツ推進委員の職務

- 宮古島市におけるスポーツ振興のため、住民に対しスポーツの実技の指導、その他スポーツに関する指導、助言を行うものとする。
- ア 住民の求めに応じてスポーツの実技の指導を行うこと。
- イ 住民のスポーツ活動の促進のための組織の育成を図ること。
- ウ 学校、公民館等の教育機関、その他の行政機関の行うスポーツの行事又は事業に関し協力すること。
- エ スポーツ団体及びその他の団体の行うスポーツに関する行事又は事業に関し、求めに応じ協力すること。
- オ 広く住民に対し、スポーツに関しての理解を深めること。
- カ その他、住民のスポーツ振興のための指導助言を行うこと。
- キ 公認スポーツ指導者の育成を図ること。

②スポーツ推進委員の任命

スポーツ推進委員は、社会的信望があり、スポーツに関する深い関心と理解及びその職務を遂行するのに必要な熱意と能力の持つ者から、教育長が任命する。

5 平成24年度 事業実績

	月	教室及び大会講習会	対 象	場 所	協 力
1	5月	宮古島市体育協会協議 市町村スポーツ行政連絡会議	宮古島市体育協会	市陸上競技場 那覇市	
2	7月	東平安名崎タートルマラソン総会 宮古島市スポーツ推進委員委嘱状 交付式及び第1回連絡会議 移動式バスケット台入荷・購入 沖縄県中体連 バスケットボール大会	実行委員会役員 スポーツ推進委員 中学生	市陸上競技場 市陸上競技場 市総合体育館 市総合体育館	
3	8月	宮古島市スポーツ推進審議委員委 嘱状交付式及び第1回審議会 市陸上競技場芝生管理業務 多目的前福運動場芝生管理業務 市民球場芝生管理業務	スポーツ 推進審議委員	市陸上競技場 市陸上競技場 多目的前福運動場 市民球場	
4	9月	トレーニングルーム講習会	一般	市陸上競技場	
5	10月	スポーツ教室 宮古島市陸上競技場 競技用器具購入	小・中・高	市総合体育館 市陸上競技場	スポーツ推進委員
6	11月	沖縄県民体育大会 沖縄県高校総体駅伝大会	沖縄県民 高校生	市陸上競技場 市陸上競技場	
7	12月	トレーニングルーム講習会 宮古島市スポーツ推進委員会議	一般 スポーツ推進委員	市陸上競技場 市陸上競技場	
8	1月	スポーツ教室 宮古島市体育協会協議	小・中・高生 宮古島市体育協会	市総合体育館 市陸上競技場	スポーツ推進委員
9	2月	オリックスバッファローズ 春季キャンプ 実業団・大学キャンプ	オリックス球団 実業団・大学	市民球場・屋内 運動場・サブグ ラウンド 市民球場・下地 球場・城辺球場	オリックス協力会
9	2月	実業団・大学キャンプ 第2回宮古島市スポーツ推進審議 委員会	実業団・大学 スポーツ推進 審議委員	市民球場・下地 球場・城辺球場 市陸上競技場	
10	3月	スポーツ教室 宮古島市スポーツ推進委員会議 実業団・大学キャンプ	小・中・高 スポーツ推進委員 実業団・大学	市総合体育館 市陸上競技場 市民球場・下地 球場・城辺球場	スポーツ推進委員

6 体育施設の概要

施 設 名	総面積（㎡）	競技面積（㎡）	施 設 の 概 要
宮古島市陸上競技場	31,665.00	19,239.00	第三種公認 全天候型 夜間照明(付帯施設、マラソンコース)

施 設 名	総面積 (㎡)	競技面積 (㎡)	施 設 の 概 要
宮古島市総合体育館	10,795.71	4,100.00	バレーボール(3面) バスケットボール(2面) バトミントン(8面) ハンドボール(2面)
宮古島市総合体育館	10,795.71	4,100.00	小体育室(80㎡) 小トレーニング室(80㎡) 会議室(30.25㎡) その他
宮古島市民球場	23,180.00	19,713.00	硬式、軟式、管理棟、その他
宮古島市平良 多目的屋内運動場	23,114.00	11,300.00	小運動場(3,600㎡) ブルペン(560㎡) 運動広場(7,140㎡)
宮古島市 城辺陸上競技場	22,000.00	16,944.00	400mトラック 夜間照明
宮古島市城辺 トレーニングセンター	1,579.00	1,300.00	バレーコート(2面) バスケットコート(1面) バトミントン(4面)
宮古島市 上野陸上競技場	38,599.00	19,420.00	400mトラック 夜間照明(安全灯)
宮古島市 上野体育館	3,333.00	1,554.00	バレーボール(2面) バスケットボール(2面) テニス(2面) ハンドボール(1面) バトミントン(4面)
宮古島市 下地陸上競技場	21,607.00		400mトラック 夜間照明
宮古島市 下地体育館	1,629.00	996.04	バレーボール(2面) バスケットボール(2面) テニス(1面) バトミントン(4面) ウエイトトレーニング室(36㎡)
宮古島市佐良浜 スポーツセンター	10,628.00	270.00	野外プール25m×6コース 幼児用プール 野外運動場
宮古島市伊良部 勤労者体育センター	10,628.00		野球場
宮古島市 B&G海洋センター	2,590.00	2,534.00	体育館 野外プール25m×6コース 幼児用プール
カカマ嶺公園 テニスコート	5,828.29		テニスコート
宮古島市営球場	14,578.47	13,848	軟式野球場

文 化 振 興

～文化の振興と文化財の保存・保護並びに活用の促進～

1 節 文化財・文化振興

1 主要施策

本市は、亜熱帯・海洋性気候と島しょ性特有の豊かな自然環境に恵まれ、特色ある郷土文化及び地域の貴重な伝承、伝統文化を受け継いでいる。

よって、市民一人一人が地域の自然、歴史、文化を大切にする心を育み、市民が等しく地域（郷土）文化に触れ、文化財に対する理解や関心を深めるとともに、文化財の保護と活用を図りながら、新たな地域文化の振興に努める。

また、心身の成長期にある児童・生徒に優れた芸術を鑑賞する機会を提供し、豊かな創造性と情操の育成を図るため、芸術文化活動を推進する。

さらに、市民文化の向上と創造・発展を図るために、文化振興関係団体の育成に努める。

2 平成25年度重点施策

（1）文化庁及び県、その他助成事業の活用

できるだけ多くの助成事業を活用し、地域文化の保存・伝承に努めるとともに、優れた芸術を鑑賞する機会を提供する。

また、若い世代の芸術文化の創造・発展及び幅広い芸術的視野の形成を進め、文化協会・文化振興友の会など、関係団体等と協力・連携し、地域文化の振興と各種文化事業の活性化を図る。

（2）市単独事業

事業名	概要
宮古島市民総合文化祭 『児童・生徒の部』	創造する市民の文化をテーマに、これまで培ってきた芸能や技術の向上を図ると共に発表の機会を設け、多くの市民が参加し芸術文化に対する理解と認識を深めることを目的とする。
宮古島市民総合文化祭 『一般の部』	
芸術文化関連事業(その他)	郷土の文化に目を向け、親しむことを目的とする。

3 施策項目

（1）文化財の保護・活用

- ①埋蔵文化財の発掘調査・出土資料整理
- ②宮古島市neo歴史文化ロード整備事業の推進
- ③文化財保護と調査・研究及び環境整備の推進
- ④宮古島市史の編さん
- ⑤歴史考古資料の活用
- ⑥文化財の学校教育への利活用
- ⑦各文化財保持・保存団体との連携

（2）文化の振興

- ①地域文化の振興
- ②文化振興関係団体との協力・支援体制
- ③舞台芸術、各種文化事業の推進
- ④子どもの文化体験活動の推進
- ⑤芸術鑑賞の推進

4 平成25年度 事業計画

(1) 文化財の保護・活用事業

- ①市内遺跡発掘調査事業
- ②市埋蔵文化財公開活用事業
- ③文化財保護審議会の開催
- ④宮古上布伝承者養成事業
- ⑤苧麻糸手績み技術者養成事業

(2) 市史編さん事業

- ①宮古島市史「祭祀編」「自然編」の編さん
- ②宮古島市史資料の発行

(3) 文化振興事業

- ①文化庁助成事業
 - ア 子どものための優れた舞台芸術体験事業(巡回公演・派遣事業分)
 - イ 伝統文化子ども教室事業
- ②市単独事業
 - ア 宮古島市民総合文化祭「児童・生徒の部」
 - イ 宮古島市民総合文化祭「一般の部」
 - ウ 各種助成金活用事業
- ③その他(芸術文化鑑賞事業)
 - 郷土に関する芸術文化関連事業

5 施策の推進体制

(1) 文化財保護審議会

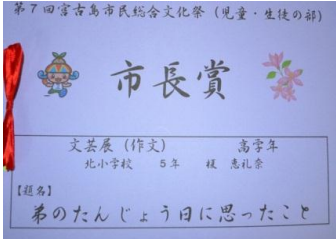
- ①文化財保護審議会は教育委員会の諮問に応じて、文化財の保存及び活用に関する重要事項について調査審議し、及びこれらの事項に関して建議する。
- ②文化財保護審議会は、次の専門4部会で構成されている。
 - 第1部会 有形文化財に関する事項
 - 第2部会 無形文化財に関する事項
 - 第3部会 民俗文化財に関する事項
 - 第4部会 史跡・名勝・天然記念物に関する事項

(2) 宮古島市史編さん委員会

- ①市史編集に関する基本的大綱に関する事項
- ②市史編集に関する調査及び資料収集に関する事項
- ③その他市史編集に関する必要な事項

6 平成24年度 文化事業の実績

事業名	実施時期	内容
宮古島市民総合文化祭 『児童・生徒の部』	9月20日 11月25日 11月4日	〈発表部門〉 高校生の主張大会 音楽祭 郷土の民話大会

事業名	実施時期	内 容
		 【高校生の主張大会】  【音楽祭】  【郷土の民話大会】
	10月20日 ・21日	〈展示部門〉 書道展・美術展・文芸展・自由研究展  【書道展】  【文芸展】  【美術展】  【自由研究展】
宮古島市民総合文化祭 『一般の部』 (宮古島市文化協会へ運営委託)	10月27日 ・28日	〈展示部門〉 盆栽・園芸・茶道・宮古織物・木工 美術・生活文化・文芸・写真・華道 書道 〈表彰部門〉 盆栽・園芸
	11月10日	〈郷土史部門〉 宮古のアイデンティティを求めて (シンポジウム)
	8月 7日 11月25日 12月 2日	〈発表部門〉 芸術劇場 音楽祭 児童文化・芸能祭

2 節 総合博物館

所在地：〒906-0011 宮古島市平良字東仲宗根添 1 1 6 6 - 2 8 7

電 話：7 3 - 0 5 6 7 F A X：7 3 - 0 8 2 2

敷地面積：10,000㎡／建物面積：2,020㎡／展示面積：620㎡（常設展示及び特別企画展）

1 基本方針

宮古の歴史、民俗、自然科学、美術・工芸の4部門からなる総合博物館であり、博物館に足を運べば宮古全域の自然と風土、歴史と文化にふれることができるような博物館づくりを目指している。

宮古圏域住民の文化活動・文化振興の拠点として、さらに島外から訪れる観光客や研究者へ宮古島を紹介するとともに、宮古にかかわる史資料の収集・保存・調査研究の成果を地域の人々に公開する場として、地域に根ざした様々な活用を図る。

2 常設展示

（1）第一展示室

①歴史部門

宮古が史書に登場するのは比較的新しく、14世紀になってからのことである。以後、争乱時代・豊見親時代・人頭税制時代・廃藩置県・旧慣改正期・第二次世界大戦と、宮古の人々は様々な経験を経てきた。考古・歴史部門では、宮古に人々が住み着いた時代から第二次対戦までの歴史の流れを編年体で紹介している。

・渡来人と遺跡	・世替わり前の事件と災害
・婆羅公管下密牙古人	・台湾遭害事件
・按司時代と目黒盛豊見親	・ロベルトソン号救助
・与那覇勢頭豊見親	・下地仁屋利社殺害(サンシー)事件
・朝鮮人漂流民の見た宮古	・学校創設
・仲宗根豊見親	・人頭税廃止運動と土地整理
・人頭税制下の宮古	・日露戦争と宮古
・西洋人の見た宮古	・太平洋戦争と宮古

②民俗部門

沖縄の復帰後、宮古の人々の生活も大きく変化してきた。しかし、昔から引き継がれてきた伝統芸能や民俗行事などは、今もなお各地に継承されている。民俗部門では、明治から昭和初期のカヤヤー(茅葺き家)を復元して当時の住居生活を紹介するとともに、民具やレプリカ、ジオラマ展示を用いて農耕・漁業・信仰・各地の主な民俗行事などを紹介している。

・衣 食 住	・水と生活	・漁 業
・農 耕	・民俗行事、信仰	

（2）第二展示室

①自然科学部門

宮古諸島の原形はおよそ1万年前にできたといわれ、島全体が琉球石灰岩で覆われている。自然科学部門では、宮古諸島の生い立ちを始め動物・植物・昆虫・天体・海洋・気象のコーナーを設け実物資料、テクノメーション、ジオラマ展示を用いて、宮

古の豊かな自然を紹介している。特に「大野山林の鳥・ジオラマ」「四季の星座・プラネタリウム」等は親子そろって楽しめるものである。

○宮古諸島の自然

気候、水の循環、地下水盆、地下ダム

○宮古諸島の生い立ち

島尻海岸の断層崖、陸橋の形成、不整合、石灰岩、動物化石

ミヤコノロジカ（レプリカ）、ミヤコノロジカの化石密集岩

○化石の発見場所

ハシナガソデガイの化石

○宮古諸島の鳥類

大野山林の鳥、池間湿原の鳥類、サシバの渡り、アカハラダカの渡り

ハイイロペリカン（剥製）

○宮古諸島の植物、昆虫

○宮古諸島のほ乳類、は虫類、両生類

○宮古島の海水に生息するエビ、カニ類

○潮間帯（磯）の小動物たち

○博物館収蔵資料目録「自然資料編」

②美術・工芸部門

他地域と異なる歴史と風土の中で育まれた宮古の文化は、特色ある織物や焼き物等の美術工芸品を生み出してきた。美術工芸部門では、宮古島市指定文化財となっている「旧家所蔵品」を中心に宮古の人々が創作や使用、あるいは鑑賞してきた芸術性の高い美術工芸品を紹介している。

・扁額聯	・宮古上布製作工程	・焼物
・書(掛軸)	・絵(掛軸)	・焼物変遷コーナー
・工芸品	・絵画	・織物

3 沖縄振興特別推進交付金事業を活用した取り組み

総合博物館では宮古島市の歴史・文化・自然等を映像コンテンツとして、デジタル化し来館者に最新の情報をわかりやすく説明するため、タッチパネル式音声案内テレビを導入。

(1) 第一展示室

島尻のパーントゥのレプリカの前にタッチパネル式のテレビを設置し、野原のパーントゥの映像を追加した。御嶽コーナーでは、場所の確認がボタン式のランプ点灯のみであったが、宮古島市史年表の下に写真を設置することにより、御嶽の状況がよりわかりやすくなった。

(2) 第二展示室

第2展示室は、宮古の自然と風土を展示していたが、児童生徒の教育普及を図るために既存の音声案内機器を撤去し、最新の映像・音声を充実させた。

また、展示パネルの数を減らすなどスリム化し「台風について」と「地球温暖化について」のコーナーにも、同じタッチパネル式テレビを設置した。特に台風のコーナーでは、平成15年に宮古島を襲った台風14号の映像を取り入れており、地元の来館者に人気がある。

地下水コーナーにおいても、説明ボックス3台を撤去し、宮古島の地下水の様子がわかる

ようにジオラマを制作、農業と地下ダムの関係や様子を最新の映像で見ることができる。

宮古上布・針突コーナーでは設置されていたブラウン管テレビから薄型タッチパネルに変更するなど、文字と映像で内容がわかりやすくコンパクトで車イスの方や子どもたちにも見えやすく工夫した。

(3) ものしり博物館

博物館一押しのコーナーである「ものしり博物館」は、入り口の左側に設置している。メインは、画面で見る写真と動画コンテンツで、宮古島の史跡や遺跡などを数多く紹介し、中央の大型テレビにて宮古島の民族芸能、国指定、旧石器時代の遺跡、先史時代の遺跡、戦争遺跡、自然など85点の映像を見ることができる。バックパネルは、東平安名崎と赤瓦屋根、石積で宮古島の雰囲気表現している。

(4) その他

調査研究や資料収集・展示・保存・教育の普及の基礎となる収蔵資料等の整理と目録作成は、「歴史、民俗、自然科学、美術工芸」の4部門を掲げる博物館の最大の課題とされて来た。「旧家資料編」第一集の目録はすでに作成しているが、自然、歴史、民俗Ⅰ・Ⅱ、美術工芸の目録等作成は年次計画を立てながら、平成24年度に「自然資料編」の目録を完成させた。

これらを目録化することにより今後、研究活動や学習の場などで活用されるなど、新たな価値として生まれることを期待している。また、平成25年度も引き続き「歴史編」の目録等の作成を計画しており、宮古島の貴重な財産として益々活用されれば幸いである。

4 平成25年度 事業計画

(1) 企画展

博物館活動として宮古関連および市民文化の高揚に寄する内容を計画し、企画展及び企画展として開催している。

回数	事業内容	期間
第24回	「野鳥展～知ってほしい宮古の宝～」 5月10日～16日は愛鳥週間に定められており、これに併せて宮古の鳥についての写真やパネル、剥製の展示を行い、宮古の自然について理解を深める。 【関連行事】 ○研究発表「サンバの渡りについて」 伊良部高校自然クラブ ○講演会「宮古の鳥」 宮古野鳥の会 ○野鳥観察会（大野山林） 宮古野鳥の会	平成25年 4月27日(土)～ 5月31日(金) 5月12日(日)
第25回	「宮古の織物展」 本企画展では、宮古の織物をテーマとし国の重要無形文化財に、指定されている宮古上布や高機が導入される以前に使用された地機について説明し総合的な織物の展示会とする。 また、博物館収蔵の宮古上布だけでなく個人の収蔵や、宮古上布保持団体等によって復元された、御絵図柄の宮古上布を展示することで宮古の織物について、改めて認識を深める機会とする。	平成25年 7月20日(土)～ 9月1日(日)

回 数	事 業 内 容	期 間
	【関連行事】 講演会「地機について」及び地機実演会	8月10日（日）
第26回	「宮古人のルーツを探るpart 2 ～先史時代の宮古～」 平成22年度に開催した、第16回企画展「宮古人のルーツを探るpart 1 -12世紀～16世紀の宮古-」に続き、今回は宮古島の無土器時代に焦点をあてた展示内容とする。 宮古島の無土器時代は約2,800年前～1,800年前とされておりこの時期の遺跡からは、シャコガイ製貝斧や焼石調理跡などが検出されている。また、この時期の特徴として土器を制作しない文化であることが挙げられる。 さらに、沖縄本島との文化的なつながりは見えず、シャコガイ製貝斧や焼石調理跡から、南方系の文化を持った集団であったと考えられている。そして、無土器時代の後に続くグスク時代との間には、900年の空白の時間があり、宮古の人たちのルーツを考える上では必要な時期である。 この展示をとおして、宮古の歴史を学ぶとともに、宮古の人たちのルーツを考える機会を提供する。 【関連行事】 講演会及び史跡巡り	平成26年 2月13日（木）～ 3月16日（日） 平成26年 3月1日（土）～ 3月2日（日）

（2）子ども博物館

博物館の教育普及活動の一環として、歴史・文化と自然・環境等に関する体験学習を行うことで郷土に対する認識を深める。募集は市内の小学校4～6年生が対象で、年6回の体験学習を行い定員は30人とする。

回 数	内 容	期 日	場 所	講 師
第1回	「開講式・草木を使ったおもちゃづくり」 趣旨：実際に身の回りの草木をとって、おもちゃづくりを体験することで自然を身近に感じ、郷土に対する理解を深める。	5月19日（日） 9：00～ 12：00	博物館・植物園	砂川 利枝
第2回	「葉脈標本づくり」 趣旨：身近にある植物の葉を採集し、葉脈を取り出し葉脈標本を製作することで自然に対する興味関心を高める。	7月27日（土）・ 28日（日） 9：00～ 12：00	博 物 館	博物館職員
第3回	「博物館探検～学芸員になってみよう～」 趣旨：普段見ることのできない、博物館の収蔵庫や燻蒸室等を見学し資料が展示（収蔵）されるまでの流れを学び博物館	8月18日（日） 9：00～ 12：00	博 物 館	博物館職員

回 数	内 容	期 日	場 所	講 師
	の役割について考える。			
第4回	「宮古の水を考える ～地下ダム見学をしてみよう～」 趣旨：総合実業高校の研究発表と地下ダム資料館の見学をとおして、宮古の地下水について学び考える。	10月6日 (日) 9：00～ 12：00	地下ダム資料館	地下ダム資料館職員・ 総合実業 高校生
第5回	「野草の観察会と野草料理」 趣旨：大野山林の食用食物を知るとともに実際に採集した、野草を調理することで郷土の自然と文化に対する理解を深める。	12月1日 (日) 9：00～ 13：00	博 物 館	川 上 勲
第6回	「天然記念物 宮古馬を学ぼう」 ・閉校式 趣旨：天然記念物である宮古馬についての歴史的背景を学び、実際に接することで宮古馬について総合的に学ぶ。	平成26年 2月23日 (日) 9：00～ 12：00	荷川取牧場	長濱 幸男

(3) 特別展示展

回数	内 容	期 間
第1回	慰霊の日関連特別展示「戦争と子どもたち」 趣旨：本特別展示では、慰霊の日にあわせ「戦争と子どもたち」をテーマに戦時中の学校や教育、疎開、強制動員など、子どもたちから見た戦争をパネルや写真資料、戦争関係資料とともに展示する。展示をとおして、過去の戦争の状況と向き合い考える機会とする。 【関連行事】 講演会「座談会」 平成25年6月22日(土) 15:00～16:00	6月19日(水)～ 6月30日(日)
第2回	文化の日関連特別展示「平成23・24年度収蔵品展」 趣旨：平成23年～24年度までに、博物館に新しく収蔵された資料を一般に公開する。また、寄贈・寄託してくださった方への謝意を表す場とする。	10月23日(水) ～11月10日 (日)
第3回	「金井喜久子展」 趣旨：日本人女性で初めて交響曲を書いたといわれる宮古出身の作曲家「金井喜久子」をテーマに展示する。	平成25年 12月11日(水) ～平成26年 1月13日(日)

5 施策の推進体制

宮古島市総合博物館協議会委員

○博物館協議会委員の職務(総合博物館協議会規則第2条)

協議会は、博物館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、館長に対して意見を述べるものとする。

6 平成24年度 事業実績

(1) 企画展

回数	内 容	期 間(備考)
第21回	「時代によってスタイルもかわる 祖先のすまい展」 宮古島市には国指定1件、県指定2件、市指定10件の墓碑が文化財として指定を受けいているほか、旧十六日祭などの民俗行事は現在でも根強く残っており、お墓は私達の生活に身近な存在となっている。また、発掘調査においても様々な種類の墓の形態が発見されており時代によっても変化している。 本展示では、時代ごとの墓の形態や変化について写真資料やパネルにまとめ、さらに沖縄県立埋蔵文化センターが実施している宮国元島上方古墓群の発掘調査成果を発掘資料と交えて展示を行った。 【関連行事】 講演会「宮国元島上方古墳群発掘調査の概要報告」 日 時：平成24年5月19日（土） 14:00～16:00 講 師：羽方誠（沖縄県立埋蔵文化財センター主任専門員） 参加者：35人	平成24年 4月25日(水)～ 5月20日(日) 入館者 1,300人
第22回	「宮古のマングローブ環境とそこに暮らす生き物たち」 琉球列島の河川河口部には、ヒルギ類を中心とするマングローブ植物が生育する環境が見られ、琉球列島の高い生物多様性を支える重要な環境となっている。 宮古島は、島の大部分が浸水性の琉球石灰岩から構成されているため河川の発達が悪いものの、島の随所に湧水が見られ、それを起源としたマングローブ環境が成立している。 近年では、宮古のマングローブ環境を利用した観光なども盛んになっているが、マングローブ環境やそこに暮らす生物達を紹介する機会は少ない状況である。 そこで、本企画展では宮古のマングローブの種類や環境など、そこに暮らす生物について紹介した。 【関連行事】 講演会「マングローブ環境と生物」 日 時：平成24年8月4日（土） 14:00～16:00 講 師：藤田喜久（琉球大学大学教育センター非常勤講師） 参加者：27人	平成24年 7月11日(水)～ 9月2日(日) 入館者 1,799人

回数	内 容	期 間(備考)
第23回	「現代宮古の作家たちIX」 宮古島内外で、活躍する宮古出身の作家達の作品（絵画・オブジェ）を一同に展示し鑑賞するとともに、宮古の芸術文化の向上に寄与する。 【関連行事】 絵画教室「今日の出会いを絵にしよう（ドミソで描く）」 日 時：平成25年3月17日（日）9：30～12：00 講 師：西里恵子 （アートスペースアキュリア主宰・博物館協議会員） 参加者：16人	平成25年 2月23日（土）～ 3月24日（日） 入館者：1,993人

（２）特別展示展

回数	内 容	期間（備考）
第1回	慰霊の日関連特別展示 「宮古のあゆみ～戦争から復帰まで～」 6月23日の慰霊の日にあわせ、過去の戦争の状況を振り返り、今一度、平和とは何かを考える機会とする。また、今年は沖縄が日本へ復帰して40年という節目の年であることから、「戦争」と「復帰」の2つをテーマにして、戦争から復帰までの宮古のあゆみをパネル展や写真及び関連資料を展示する。 【関連行事】 講演会「戦争体験談」 日 時：平成24年6月23日（土）14:00～15:00 講 師：久貝シゲ 1926年(大正15年)1月1日 上野字野原出身 参加者：37人	平成24年 6月20日（水）～ 6月29日（金） 入館者：756人
第2回	「第2回高校生学芸委員企画展」 宮古島市内の5つの高校における文化活動の成果を展示、公開の場とするとともに高校生が、博物館の学芸員という職種に触れる機会を設ける。平成23年度に引き続き2回目の開催となった。平成25度は、前回以上に広報活動や展示活動など高校生が、中心となって運営できるようにする。 【関連行事】 「高校生による研究発表・展示解説・試食会」 日 時：平成25年1月13日（日）10:00～12:00 14:00～16:00 参加者：93人	平成24年 12月15日（土）～ 平成25年 1月13日（日） 入館者：632人

(3) 子ども博物館

(対象：小学校4・5・6年生)

回数	内 容	期間	講師	受講者（人）
第1回	開講式・昔のあそび・葉っぱであそぼう	5月27日	親泊宗二	14
第2回	マングローブと湧水にくらす生き物の観察	8月 5日	藤田喜久	14
第3回	無土時代の料理をしよう・石蒸し料理	10月21日	博物館職員	13
第4回	野草の観察と野草料理	11月11日	川上勲	13
第5回	みゃーくふつでおしゃべり	12月 9日	天久宏	26
第6回	渡り鳥の観察会	平成25年2月24日	仲地邦博	19

3節 マティダ市民劇場

1 設置目的

住民の舞台芸術活動を推進し、住民文化の創造に寄与するとともに、住民生活の向上を図るため、宮古島市文化ホールを設置する。（宮古島市文化ホール条例第1条）

2 施設の概要

所在地：〒906-0013 宮古島市平良字下里108-12

電話：72-9622 FAX：73-4879

①延床面積	4,354.61㎡	892席	⑤舞台	間口	18m
②客席	固定席	747席		奥行	14m
	移動席	133席		高さ	8m
	（うち身体障害者椅子席	25席）		床面材質	桧集成材
	背たおれ席	12席		バトン	8本
	親子観覧室	8㎡×2室		反響板	有り
③楽屋	楽屋1（洋室	59.00㎡）		緞帳	速度調整可
	楽屋2（和室	71.05㎡）	⑥照明	調光設備	松村電機製作所
	楽屋3（個室	18.74㎡）	⑦音響	音響調光卓	TOA株式会社
④ホワイエ（ロビー）	347.91㎡				

3 施設の開館日及び開館時間

（1）開館日

火曜日から日曜日（ただし、祝日法による休日及び慰霊の日は除く）

（2）開館時間

午前9時から午後10時まで（催物のない場合は、午前9時から午後5時まで）

4 施策の体制

宮古島市文化ホール運営委員会

委員の職務（文化ホール運営委員会規則第2条）

- （1）宮古島市文化ホール（以下「文化ホール」という。）の運営基本計画に関すること。
- （2）文化ホールの自主事業に関すること。
- （3）文化ホールの利用普及に関すること。
- （4）その他教育長が必要と認めること。

5 自主文化事業

（1）事業の基本理念

宮古島市文化ホールは“音楽もできる劇場型多目的芸術ホール”という位置づけがされている。地域独自の風土の中で育まれた文化の育成と、住民が質の高い芸術文化活動を鑑賞または経験して、新たな文化と伝統文化の融合・発展を先導するための文化拠点とする。

（2）事業の内容

- ①鑑賞事業 住民に質の高い舞台芸術を鑑賞する機会を提供する。
- ②文化育成事業 住民の自主的な文化創造活動を支援する。
- ③文化交流事業 住民の芸術文化活動と他地域の芸術文化活動の交流促進を図る。

6 平成24年度 事業実績

	事業内容	期 間							
1	「マティダ市民劇場ワークショップ ～舞台づくりのおもしろミニ講座～」 小・中・高校生が施設見学や音響・照明・舞台の機器操作等を実際に体験することで、劇場への理解を深めるとともに将来の進路、就職等を考える機会を提供することを目的として実施。 	平成24年 7月28日(土) 29日(日)							
2	「マティダライブV」 音楽やダンスパフォーマンスなどに真剣に取り組んでいる高校生に、発表の機会を提供して活動の支援を行うとともに、学生が自主的な企画・運営を行うことで験することで、劇場への理解を深めるとともに創る喜びや達成感を共有し、成長することを期待して実施。 【出演者】 <table border="0"> <tr> <td>○高校生バンド</td><td>8組</td><td rowspan="3">} 合計61名 (ボランティアスタッフ60名)</td></tr> <tr> <td>○高校生ダンスチーム</td><td>4組</td></tr> <tr> <td>○書道パフォーマンス</td><td>1組</td></tr> </table> 	○高校生バンド	8組	} 合計61名 (ボランティアスタッフ60名)	○高校生ダンスチーム	4組	○書道パフォーマンス	1組	平成25年 2月24日(日)
○高校生バンド	8組	} 合計61名 (ボランティアスタッフ60名)							
○高校生ダンスチーム	4組								
○書道パフォーマンス	1組								

	事業内容	期 間
3	「宮古島市こども劇団」 1 目 的 演劇を通して他者との関わりや、自己を客観視する力、社会性を理解する力など人格の形成を図る。また、内在している潜在能力を引き出せるよう支援していくことで、こどもたちの心の成長に役立て、加えてアイデンティティーの意識を高め、地域の文化力を発信することを目的とする。 2 目 標 一過性の演劇発表に留まることなく、演劇の真の魅力を理解しながら、劇団に関わる全ての人々がコンセプトを自分のものにできるようにする。また、互いの目的意識を高めることで、自己実現を確かめ合いながら、世代を超えた感動空間を共有する。加えて、継続した劇団運営ができるよう自立した団体を目指す。 3 事業内容及び成果発表 ①こども劇団設立 4月 ②こども劇団育成 4月後半から演劇の基本指導・公演に向けて稽古 ③立ち上げ公演の上演 第1回公演 「ゆうたっちよの中学生絵日記」 宮古島バージョン 作 田中雄太 演出 杉本孝司（東京芸術座） 第2回公演 第一部「ゆうたっちよの中学生絵日記」 宮古島バージョン 再演 第二部「チェンジ・ザ・ワールド」 作 石原哲也 演出 杉本孝司（東京芸術座）	平成24年 8月12日(日) 平成25年 3月16日(土)



7 平成24年度利用状況

① 月間稼働率

	稼働可能日	稼働実日	稼働率(%)
4月	25	4	16.0
5月	23	8	34.8
6月	25	8	32.0
7月	25	12	48.0
8月	26	18	69.2
9月	24	8	33.3
10月	25	12	48.0
11月	24	21	87.5
12月	22	12	54.5
1月	23	10	43.5
2月	23	5	21.7
3月	26	17	65.4
合計	291	135	46.4

② 目的別利用状況

催し物の種別	回数	比率(%)
音楽	15	11.1
演劇	5	3.7
舞踊	15	11.1
映画	1	0.7
大会/式典	16	11.9
講演会/講習/研修会	13	9.6
教室等発表会	21	15.6
その他	49	36.3
合 計	135	100.0

③ 入場者数月間稼働率

	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
4月	2,550	270	1,650	2,200	1,462
5月	7,100	4,950	4,060	2,580	2,950
6月	4,950	3,000	4,830	4,679	3,380
7月	2,800	3,300	4,050	3,910	4,850
8月	4,300	6,870	3,370	2,720	3,350
9月	3,250	2,050	2,150	3,630	3,790
10月	5,650	7,280	9,400	3,790	4,410
11月	10,590	5,750	7,550	9,550	9,610
12月	6,700	4,750	4,940	3,460	3,350
1月	4,280	4,100	3,450	2,370	3,050
2月	3,140	4,390	1,390	4,320	1,690
3月	3,450	4,600	3,427	6,600	5,570
合計	58,760	51,310	50,267	49,809	47,462

資料編

1. 各種委員名簿

(1) 宮古島市社会教育委員

任期：平成 24 年 5 月 1 日～平成 26 年 4 月 30 日

氏 名	構 成	備 考
◎安慶田 昌宏	学識経験者	NPO法人理事長
○野原 勝也	社会教育関係者	元公務員
渡久山 春吉	学識経験者	元高校事務長
平良 隆	学校教育関係者	小学校長
平良 ヒロ子	学校教育関係者	中学校長
本永 安子	社会教育関係者	社会教育関係団体
仲間 稱	社会教育関係者	社会教育関係団体
下地 達男	家庭教育関係者	元公務員
来間 康夫	社会教育関係者	スポーツ推進委員
島尻 郁子	社会教育関係者	県社会教育委員

◎議長 ○副議長

(2) 宮古島市青少年問題協議会委員

任期：平成 24 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日

氏 名	構 成
◎下地 敏彦	宮古島市長
○川満 弘志	宮古島市教育長
垣花 徳亮	宮古島市教育委員会生涯学習部長
仲間 則人	宮古島市議会議員
与那覇 止	宮古地区小学校長会長
島袋 正彦	宮古地区立中学校長会長
与那覇 敏之	宮古島市青少年育成市民会議会長
奈良 俊一郎	宮古島市子ども育成連絡協議会長
狩俣 勝成	宮古地区PTA連合会長
宮城 英眞	宮古島警察署長
本永 光子	宮古島市家庭児童相談委員
安慶田 昌宏	宮古島市社会教育委員会議長
宮里 敬一	宮古保護区保護司会長

◎会長 ○副会長

(3) 宮古島市放課後子ども教室推進事業運営委員会委員

任期：平成25年4月1日～平成26年3月31日

氏 名	備 考	氏 名	備 考
◎野原 勝也	宮古島市社会教育委員	島尻 幸江	東小教室
○永松 才易	学校長代表	木曾 智恵美	宮原小教室
上原 栄子	佐良浜小教室	砂川 葉子	来間小教室
宮国 修	久松小教室	山里 美沙	西辺小教室
前里 芳人	平良第一小教室	下地 信輔	北小教室
上田 美晴	南小教室	與座 くるみ	鏡原小教室

◎委員長 ○副委員長

(4) 宮古島市学校支援地域本部運営委員会委員

任期：平成25年4月1日～平成26年3月31日

氏 名	備 考
◎伊志嶺 吉作	宮古地区中学校長会長
○根路銘 敢	宮古地区小学校長会長
狩俣 勝成	宮古地区PTA連合会長
垣花 徳亮	宮古島市教育委員会生涯学習部長
田場 秀樹	宮古島市教育委員会教育部長
天久 康	沖縄県宮古教育事務所

◎実行委員長 ○副委員長

(5) 宮古島市文化財保護審議会委員

任期：平成24年4月1日～平成26年4月30日

氏 名	構 成	住 所	備 考
◎岡 徹	元沖縄県立宮古工業高等学校教頭	宮古島市平良	動物
○金城 透	沖縄県立宮古工業高等学校教頭	宮古島市城辺	考古
奥濱 幸子	沖縄女性史研究家	宮古島市平良	歴史・民俗
佐渡山 安公	太陽が窯主宰・陶芸家	宮古島市上野	歴史・民俗
砂川 幸夫	元沖縄県立図書館宮古分館長	宮古島市平良	歴史・民俗
下地 和宏	宮古の織物文化研究協議会長	宮古島市平良	考古
砂川 玄正	宮古島市市立図書館長	宮古島市平良	歴史・民俗
佐藤 宣子	宮古島市市史編さん室嘱託職員	宮古島市平良	植物
我那覇 念	前沖縄県立浦添高等学校校長	浦添市経塚	歴 史
梶原 健次	博士（水産学） 宮古島市上下水道部総務課長補佐	宮古島市平良	海 洋

◎会長 ◎副会長

(6) 宮古島市史編さん委員

任期：平成 24 年 6 月 1 日～平成 26 年 5 月 31 日

氏 名	構 成	住 所	備 考
仲宗根 將二	旧平良市史編さん委員長	宮古島市平良	祭祀編小委員会
下地 和宏	宮古郷土史研究会長	宮古島市平良	祭祀編小委員会
上原 孝三	沖縄尚学高等学校教諭	那覇市小祿	祭祀編小委員会
梶原 健次	宮古島市上下水道部総務課長補佐	宮古島市平良	自然編小委員会
下地 利幸	元宮古島市教育委員会文化振興課長	宮古島市平良	祭祀編小委員会
砂川 玄正	前宮古島市文化財保護審議会会長	宮古島市平良	祭祀編小委員会
平良 勝保	沖縄県労働金庫	那覇市首里	祭祀編・自然小委員会
豊見山 和行	琉球大学教育学部教授	浦添市前田	祭祀編・自然小委員会
長浜 幸男	元宮古島市教育委員会教育部長	宮古島市平良	祭祀編小委員会
宮川 耕次	元宮古島市総務部長	宮古島市平良	祭祀編小委員会
本永 清	元沖縄県立高等学校長	宜野湾市我如古	祭祀編・自然小委員会
安谷屋 昭	前宮古島市文化保護審議会委員	宮古島市平良	自然編小委員会
大城 逸朗	おきなわ石の会長	宜野湾市愛知	自然編小委員会
当山 昌直	沖縄県資料編集室 沖縄生物学会員	那覇市銘苅	自然編小委員会
川満 好信	宮古島市上下水道部長	宮古島市下地	祭祀編小委員会
小濱 継雄	沖縄県農業研究センター病虫 管理技術開発班長	宜野湾市佐真下	自然編小委員会
仲地 邦博	宮古野鳥の会長	宮古島市平良	自然編小委員会
砂川 博秋	宮古野鳥の会副会長	宮古島市平良	自然編小委員会
藤田 喜久	琉球大学教育センター非常勤講師	宜野湾市志真志	自然編小委員会
横田 昌嗣	琉球大学理学部海洋自然科学教授	浦添市前田	自然編小委員会

(7) 宮古島市スポーツ推進委員

任期：平成 24 年 5 月 1 日～平成 26 年 4 月 30 日

氏 名	職 業	専 門
◎来間 康夫	無 職	軟式野球
○村山 正三	自営業	陸上競技
狩俣 博幸	公務員	サッカー
砂川 直輝	会社員	バレーボール
石原 一夫	会社員	陸上競技
川満 めぐみ	公務員	バレーボール
池原 秀治	公務員	水泳
武富 真吾	会社員	テニス
村吉 重信	自営業	陸上競技

氏 名	職 業	専 門
砂川 淳	公務員	空手
佐久川 さやか	公務員	バスケット
砂川 ひとみ	事務職	軽スポーツ
友利 玄三	公務員	水泳
豊見山 春美	会社員	バドミントン
勝連 励	会社員	野球
砂川 果倫	公務員	バドミントン
宮国 和幸	公務員	陸上競技
友利 さおり	会社員	軽スポーツ
川平 敏光	公務員	野球
上地 堅司	会社員	バレーボール

◎委員長 ○副委員長

(8) 宮古島市スポーツ推進審議委員会委員

任期：平成24年8月1日～平成26年7月31日

氏 名	職 業	備 考
◎本村 博昭	公務員	宮古島市体育協会長
○武富 清	無 職	行政OB
美里 泰雄	無 職	元宮古島市陸上競技会長
松川 英世	無 職	元宮古サッカー協会長
伊志嶺 吉作	公務員	宮古中学校体育連盟会長

◎委員長 ○副委員長

(9) 宮古島市公民館運営審議会委員

任期：平成24年4月1日～平成26年3月31日

氏 名	所 在	委 員 区 分
◎平良 耕次郎	宮古島市平良	学校教育関係者
○下地 勝子	宮古島市平良	社会教育関係者
長嶺 吉和	宮古島市伊良部	学識経験者
砂川 隆	宮古島市平良	学識経験者
洲鎌 勝彦	宮古島市下地	学識経験者
高田 美幸	宮古島市平良	家庭教育関係者
花城 加代子	宮古島市城辺	家庭教育関係者
真壁 恵修	宮古島市上野	社会教育関係者
島尻 清子	宮古島市平良	社会教育関係者
上地 洋美	宮古島市下地	社会教育関係者

◎会長 ◎副会長

(10) 宮古島市総合博物館協議会委員

任期：平成24年6月1日～平成26年5月31日

区 分	分 野	委員名	所 在	備 考
学識経験者	自然・地質	安谷屋 昭	宮古島市平良	元宮古島市文化財審議会委員
	民俗	親泊 宗二	宮古島市平良	元高等学校教諭
	民俗	長濱 幸男	宮古島市平良	宮古島市史編さん委員会委員
	美術工芸	西里 恵子	宮古島市平良	二季会会員
	歴史	仲宗根 將二	宮古島市平良	宮古島市史編さん委員会委員長
学校教育		知念 安則	宮古島市平良	来間小・中学校長
		平良 隆	宮古島市平良	北小学校長
社会教育		仲間 伸恵	宮古島市平良	琉球大学教育学部講師
		佐藤 宣子	宮古島市平良	宮古島市史編さん嘱託職員

会長：下地 和宏／副会長：仲間 伸恵

(11) 宮古島市文化ホール運営委員会委員

任期：平成25年8月1日～平成27年7月31日

氏 名	所 在	委 員 区 分
洲鎌 律子	宮古島市平良	宮古合唱連盟会長
佐渡山 政子	宮古島市平良	随筆家
久貝 哲雄	宮古島市城辺	三味線指導者
下地 昭五郎	宮古島市平良	宮古島市文化協会事務局長
池間 美代子	宮古島市平良	琉球舞踊家
砂川 靖夫	宮古島市平良	宮古島観光協会副会長
下地 健作	宮古島市平良	教諭
前里 昌吾	宮古島市平良	男塾 武一Doo 代表

2. 社会教育団体等名簿

(1) 宮古島市子ども会育成連絡協議会

所在地：〒906-0304 宮古島市下地字上地628-1（下地農村環境改善センター内）

電 話：76-6706（FAX兼用）

①平成25年度宮古島市子ども会育成連絡協議会役員

役 職	氏 名	備 考
会 長	奈良 俊一郎	平良地区
副 会 長	砂川 照幸	上野地区
副 会 長	下地 克三	平良地区
副 会 長	石原 順子	城辺地区
副 会 長	砂川 勝美	下地地区
副 会 長	平山 さおり	伊良部地区
事務局長	友利 初美	
監 事	奥濱 実	
監 事	砂川 肇	

②平成25年度宮古島市子ども会育成会長

	単 子 名	単子会長名		単 子 名	単子会長名
1	パーントゥ	辺土名 忠志	20	上 区	下地 美明
2	二重越	下地 克三	21	加治道	仲間 和美
3	大三俵	與那覇 友梨香	22	来 間	伊禮 正美
4	久貝K I D' S	渡眞利 京子	23	川満団地	石嶺 隆夫
5	宮 原	小西 美晴	24	上 地	上地 等
6	保 良	下地 コズエ	25	洲 鎌	國仲 哲也
7	吉 野	松川 浩子	26	入江嘉手苺	下地 ともみ
8	新 城	西川 卓治	27	与那覇	下地 悟
9	福 東	平安山 明広	28	川 満	川平 敏光
10	福 中	垣花 奈美江	29	上地団地	村吉 淳
11	福 西	佐久川 憲一	30	ニューチャイルド	譜久島 静子
12	福 北	下地 秋子	31	青 竹	具志堅 高子
13	西 東	仲宗根 則明	32	はばたけ	川満 千智
14	仲 原	仲里 一彦	33	新風の会	平山 さおり
15	比 嘉	幸地 千恵美	34	上 野	源河 重浩
16	長 北	下地 千恵美	35	宮 国	砂川 雅秀
17	吉 田	伊計 直美	36	名嘉山	下地 健一
18	西 西	葉山 哲也	37	新 里	新里 仁福
19	西 中	松川 広之	38	高 田	川満 政希

	単 子 名	単子会長名		単 子 名	単子会長名
39	野 原	島尻 重則	41	千代田	笠原 昌幸
40	豊 原	国仲 英樹			

(2) 青年団協議会

平成25年度宮古島市青年団協議会役員

役 職	氏 名	地 区
会 長	仲地 譲治	佐良浜
副 会 長	勝連 康幸	上 野
事務局長	仲間 安宏	佐良浜
会 計	前泊 洋平	佐良浜
監 査	洲鎌 力	下 地

(3) 婦人連合会

所在地：〒906-0304 宮古島市下地字上地628-1（下地農村環境改善センター内）

電 話：76-3795（FAX兼用）

①平成25年度宮古島市（地区）婦人連合会役員

役 職	氏 名	地 区
会 長	島尻 清子	平 良
副 会 長	砂川 勝美	下 地
副 会 長	本永 安子	平 良
理 事	下地 正子	平 良
理 事	与那覇 タズ子	平 良
理 事	佐和田 貴美子	伊 良 部
理 事	豊見山 栄子	多 良 間

②平成25年度宮古島市（地区）各婦人連合会長

	団 体 名	会 長 名		団 体 名	会 長 名
1	池間学区婦人会	野原 悦子	9	鏡原学区婦人会	下地 かずえ
2	狩俣学区婦人会	上里 由利子	10	多良間学区婦人会	豊見山 栄子
3	西辺学区婦人会	仲間 多喜子	11	上野学区婦人会	勝連 尚子
4	北学区婦人会	狩俣 幸子	12	下地学区婦人会	上地 真理子
5	東学区婦人会	伊良皆 みさ代	13	西城学区婦人会	砂川 カズ子
6	南学区婦人会	砂川 政笑	14	城辺学区婦人会	福里 ます
7	平一学区婦人会	砂川 雅子	15	福嶺学区婦人会	島尻 十七美
8	久松学区婦人会	上地 優子	16	砂川学区婦人会	砂川 恵美子

	団 体 名	会 長 名		団 体 名	会 長 名
17	宮島学区婦人会	仲原 初枝	19	佐良浜学区婦人会	湧川 絢子
18	伊良部学区婦人会	佐和田 由利子			

(4) 宮古地区PTA連合会

所在地：〒906-0304 宮古島市下地字上地628-1（下地農村環境改善センター内）

電 話：76-3839（FAX兼用）

①平成25年度宮古地区PTA連合会役員

役 職	氏 名	出身単P
会 長	狩俣 勝成	北中学校
副 会 長	友利 正治	鏡原中学校
副 会 長	仲間 秀吉	城辺小学校
副 会 長	陸 京子	久松中学校
副 会 長	屋嘉比 俊哉	宮原小学校長
総務委員長	上原 強史	鏡原小学校
総務副委員長	仲間 行彦	北中学校
文化委員長	平良 千明	南小学校
文化副委員長	荷川取 礼子	砂川中学校
広報委員長	伊波 孝子	平一小学校
広報副委員長	宗近 義恵	砂川小学校
保健体育委員長	下地 孝司	平一小学校
保健体育教育副委員長	砂川 博人	南小学校
健全育成委員長	島尻 健司	平良中学校
健全育成副委員長	木曾 健二	宮原小学校
家庭教育委員長	具志堅 高子	佐良浜小学校
家庭教育副委員長	大川 艶子	北中学校
事 務 局	前里 久美子	東小学校
監 事	上原 昭宏	久松中学校
監 事	下地 克三	北中学校

②平成25年度宮古地区単位PTA会長

	学 校 名	会 長 名		学 校 名	会 長 名
1	平良第一小	伊波 孝子	6	鏡 原 小	新里 貴彦
2	南 小	砂川 勝哉	7	宮 原 小	豊見山 春美
3	北 小	下地 和博	8	西 辺 小	仲間 正勝
4	東 小	佐和田 達	9	狩 俣 小	平良 政彦
5	久 松 小	宮国 修	10	宮 島 小	手登根 正

	学 校 名	会 長 名		学 校 名	会 長 名
11	砂 川 小	下地 直樹	24	西 辺 中	寄川 良彦
12	西 城 小	吉濱 猛	25	狩 俣 中	根間 研二
13	城 辺 小	仲間 秀吉	26	砂 川 中	池村 直記
14	福 嶺 小	西川 卓治	27	西 城 中	玉那覇 博之
15	下 地 小	下地 悟	28	城 辺 中	池間 俊郎
16	上 野 小	砂川 尚也	29	福 嶺 中	松川 勝光
17	伊 良 部 小	天願 忠人	30	下 地 中	友利 勝人
18	佐 良 浜 小	仲間 誉人	31	上 野 中	宮國 和幸
19	多良間小	本村 健次	32	伊良部中	宮国 博文
20	平 良 中	砂川 幸男	33	佐良浜中	西原 豪
21	北 中	狩俣 勝成	34	多良間中	桃原 光盛
22	久 松 中	上原 昭宏	35	池間小中	前泊 廣
23	鏡 原 中	上原 強史	36	来間小中	國仲 英作

(5) 宮古地区青少年健全育成市民会議

所在地：〒906-0304 宮古島市下地字上地628-1（下地農村環境改善センター内）

電 話：76-6706（FAX兼用）

①平成25年度青少年育成市民会議役員

役 職	氏 名	備 考
顧 問	垣花 徳亮	市教育委員会
顧 問	上地 栄作	市教育委員会
顧 問	佐久田 元武	市教育委員会
会 長	與那嶺 敏之	
副 会 長	奈良 俊一郎	市子連会長
副 会 長	狩俣 勝成	P T A連合会長
副 会 長	根間 康雄	高P連会長
副 会 長	島尻 清子	婦人会
監 事	友利 勝人	下地P T A会長
監 事	國仲 英作	来間P T A会長
事 務 局	友利 初美	

【総 務 部】

氏 名	備 考	氏 名	備 考
平良 敏彦	狩 俣 小	仲間 正勝	西 辺 小
天願 忠人	伊良部小	手登根 正	宮 島 小
西川 卓治	福 嶺 小	豊見山 春美	宮 原 小

氏 名	備 考	氏 名	備 考
島尻 健司	平 良 中	池間 広安	福 嶺 中
池間 啓貴	北 中	砂川 武	砂 川 中
下里 隆雄	久 松 中	洲鎌 伸男	下 地 中
久貝 英樹	鏡 原 中	砂川 三男	来 間 中
下地 一豊	西 辺 中	砂川 博昭	上 野 中
狩俣 光信	狩 俣 中	渡久山 秀也	伊 良 部 中
芦川 剛志	池 間 中	西原 豪	佐 良 浜 中
宮国 隆	西 城 中	本村 先也	宮古工業高
下地 義信	城 辺 中		

【調査広報部】

氏 名	備 考	氏 名	備 考
伊波 孝子	平良第一小	砂川 小夜子	福 嶺 中
下地 直樹	砂 川 小	狩俣 美沙	砂 川 中
仲間 秀吉	城 辺 小	来間 由紀子	下 地 中
吉濱 猛	西 城 小	砂川 葉子	来 間 中
下地 和博	北 小	赤嶺 めぐみ	上 野 中
池間 直人	平 良 中	平良 加代子	伊 良 部 中
下地 一子	北 中	仲間 誉人	佐 良 浜 中
垣花 秀明	久 松 中	比屋根 安春	総合実業高
下里 和男	鏡 原 中	仲里 みち子	民 生 委 員
濱川 加代子	西 辺 中	川満 省三	福祉協議会
大久保 淳一	狩 俣 中	宮国 敏男	交通安全協会
島袋 友子	池 間 中	上里 寛昌	市 老 夕 連
平良 和彦	西 城 中		

【指 導 部】

氏 名	備 考	氏 名	備 考
新里 貴彦	鏡 原 小	下地 茂	鏡 原 中
佐和田 達	東 小	楚南 幸哉	西 辺 中
下地 悟	下 地 小	平良 政彦	狩 俣 中
砂川 尚也	上 野 小	山里 和人	池 間 中
宮國 修	久 松 小	下地 秀樹	西 城 中
砂川 勝哉	南 小	川満 利夫	城 辺 中
村上 健輔	平 良 中	島尻 安弘	福 嶺 中
松山 薫	北 中	砂川 弘嗣	砂 川 中
天久 康	久 松 中	平良 研三	下 地 中

氏 名	備 考	氏 名	備 考
伊藤 嵩	来 間 中	奥濱 剛	伊 良 部 高
立岡 雅基	上 野 中	前川 尚誼	犯 協 会
譜久島 利雄	伊 良 部 中	与那覇 勝子	更生保護女性会
大浦 博之	佐 良 浜 中	野原 勝也	少年補導員協議会

②平成25年度宮古島市青少年育成市民会議中学校区支部

支 部	支部長名	副部長名	書記会計
平良中校区	砂川 幸男	島尻 健司・下地 啓俊	上地 美香
北中校区	狩俣 勝成	下地 和博・佐和田 達	宮國 幸夫
久松中校区	上原 昭宏	栗国 恒広・宮国 修	垣花 秀明
鏡原中校区	上原 強史	親里 貴彦・木曾 健二	徳嶺 教子
西辺中校区	寄席 良彦	本村 翔太・砂川 強	濱川 成共
狩俣中校区	根間 研二	平良 政彦・根間 克則	下地 奈穂美
池間中校区	前泊 廣	与那覇 康隆・平良 若代	平良 広幸
西城中校区	玉那覇 博之	平良 和彦・宮国 隆	西里 純二
城辺中校区	池間 俊郎	佐久川 久乃・平安山 明広	砂川 義治
福嶺中校区	松川 勝光	田中 憲作・島尻 十七美	吉田 香
砂川中校区	池村 直記	久貝 安弘・奥松 千恵美	長嶺 肇
下地中校区	友利 勝人	與那覇 敏之・渡真利 博人	渡久山 英徳
来間中校区	國仲 英作	砂川 三男・伊藤 嵩	善平 範己
上野中校区	宮國 和幸	比屋根 安春・新里 栄子	屋嘉比 正則
伊良部中校区	宮国 博文	仲地 広光・天願 悟	屋嘉比 久美子
佐良浜校区	西原 豪	仲間 誉人・大浦 博之	友利 和広

3. 平成25年度 学校医・学校歯科医・学校薬剤師一覧

【小学校】※幼稚園は小学校と兼務

学 校 名	科 目	氏 名	勤 務 先	住 所	電話番号
平良第一小学校	内科医	宮城 博子	みやぎM s , クリニック	平良字久貝1068-15	75-0722
	内科医	宮里 不二雄	ふじ胃腸科医院	平良字下里851-9	72-1501
	歯科医	池村 浩明	池村歯科クリニック	平良字西里1018-2	73-0252
	歯科医	平良 和枝	K A Z Uデンタルクリニック	平良字西里159 (2F)	73-4184
	薬剤師	前里 由紀子	コジャ薬局・市場前店	平良字下里556	73-3362
北小学校	内科医	伊志嶺 みち子	いしみねクリニック	平良字西里269-5	75-5878
	内科医	奥平 忠夫	奥平産婦人科	平良字下里1259-4	72-3026
	歯科医	小禄 清美	おろく歯科	平良字西里220	72-2148
	歯科医	真喜屋 建	真喜屋歯科医院	平良字西里505-2	73-3227
	薬剤師	方 智子	琉薬 宮古営業所	平良字下里883-1	73-0981
南小学校	内科医	砂川 明雄	おおはらクリニック	平良字下里1099-3	73-9806
	内科医	比嘉 富二	ひが小児科医院	平良字西里781-5	73-1477
	歯科医	砂川 貴	すながわ歯科クリニック	平良字西里792-6	73-4183
	歯科医	池間 弘知	池間歯科医院	平良字久貝1047-13	73-8888
	薬剤師	村田 成夫	すこやか薬局 西里店	平良字西里782-1-2	75-0933
東小学校	内科医	池村 幸	いけむら小児科	平良字西里978-2	73-4970
	内科医	下地 晃	城辺中央クリニック	城辺字比嘉628-5	77-4693
	歯科医	松原 正明	松原歯科医院	平良字下里994-2	73-1788
	歯科医	平良 博也	たいら歯科クリニック	平良字西里472-2	74-2711
	薬剤師	古謝 真己	コジャ薬局・東店	平良字東仲宗根566	72-6385
久松小学校	内科医	中村 貢	中村循環器科・内科	平良字西里350	72-2228
	歯科医	下地 森夫	もりお歯科	平良字下里1554-1	79-8778
	薬剤師	上里 雅江	くがに薬局	平良字下里1554-1	79-0289
鏡原小学校	内科医	比嘉 一雄	比嘉内科胃腸科医院	平良字下里5	73-2161
	歯科医	吉田 司	あだん歯科	平良字久貝654―36	79-0648
	薬剤師	砂川 裕美子	宮古島リハビリ温泉病院	平良字東仲宗根添1898-7	73-0800
宮原小学校	内科医	比嘉 一雄	比嘉内科胃腸科医院	平良字下里5	73-2161
	歯科医	平良 博也	たいら歯科クリニック	平良字西里472-2	74-2711
	薬剤師	砂川 裕美子	宮古島リハビリ温泉病院	平良字東仲宗根添1898-7	73-0800
西辺小学校	内科医	池村 栄作	いけむら外科	平良字西里978-2	73-6300
	歯科医	下地 盛叶	かのう歯科医院	平良字西里543-3	72-7820
	薬剤師	前里 由紀子	コジャ薬局・市場前店	平良字下里556	73-3362
狩俣小学校	内科医	真喜屋 浩	真喜屋精神神経科	平良字西原2251-5	73-1000
	歯科医	我如古 充	がねこ歯科クリニック	平良字西里382	73-1183
	薬剤師	平良 由紀子	くがに薬局	平良字下里1554-1	79-0289
宮島小学校	内科医	池村 眞	池村内科医院	平良字東仲宗根194	72-3500
	歯科医	池間 弘知	池間歯科医院	平良字久貝1047-13	73-8888
	薬剤師	平良 由紀子	くがに薬局	平良字下里1554-1	79-0289
池間小中学校	内科医	下地 輝子	下地眼科医院	平良字下里577-1	73-2228
	歯科医	羽地 都映	羽地歯科口腔外科医院	平良字西里300-3	73-4618
	薬剤師	平良 由紀子	くがに薬局	平良字下里1554-1	79-0289

学 校 名	科 目	氏 名	勤 務 先	住 所	電話番号
西城小学校	内科医	下地 晃	城辺中央クリニック	城辺字比嘉628-5	77-4693
	歯科医	平良 博也	たいら歯科クリニック	平良字西里472-2	74-2711
	薬剤師	砂川 裕美子	宮古島リハビリ温泉病院	平良字東仲宗根添1898-7	73-0800
城辺小学校	内科医	下地 晃	城辺中央クリニック	城辺字比嘉628-5	77-4693
	歯科医	岡村 英人	岡村歯科医院	平良字下里921	74-3204
	薬剤師	村田 成夫	すこやか薬局 西里店	平良字西里782-1-2	75-0933
福嶺小学校	内科医	池村 栄作	いけむら外科	平良字西里978-2	73-6300
	歯科医	波平 真樹	下地中央歯科医院	下地字洲鎌494-1	76-3888
	薬剤師	古謝 真己	コジャ薬局・東店	平良字東仲宗根566	72-6385
砂川小学校	内科医	池村 栄作	いけむら外科	平良字西里978-2	73-6300
	歯科医	方 肇靖	永和歯科医院	平良字下里595-1	73-7155
	薬剤師	平良 由紀子	くがに薬局	平良字下里1554-1	79-0289
下地小学校	内科医	打出 啓二	下地診療所	下地字上地634-1	74-7878
	歯科医	波平 真樹	下地中央歯科医院	下地字洲鎌494-1	76-3888
	薬剤師	砂川 裕美子	宮古島リハビリ温泉病院	平良字東仲宗根添1898-7	73-0800
来間小中学校	内科医	打出 啓二	下地診療所	下地字上地634-1	74-7878
	歯科医	岡村 英人	岡村歯科医院	平良字下里921	74-3204
	薬剤師	砂川 裕美子	宮古島リハビリ温泉病院	平良字東仲宗根添1898-7	73-0800
上野小学校	内科医	伊志嶺 みち子	いしみねクリニック	平良字西里269-5	75-5878
	歯科医	方 肇靖	永和歯科医院	平良字下里595-1	73-7155
	薬剤師	方 智子	琉薬 宮古営業所	平良字下里883-1	73-0981
佐良浜小学校	内科医	宮原 真哉	徳洲会伊良部島診療所	伊良部字前里添639-2	78-6661
	歯科医	大城 智	佐良浜歯科医院	伊良部字前里添593-42	78-4633
	薬剤師	方 智子	琉薬 宮古営業所	平良字下里883-1	73-0981
伊良部小学校	内科医	宮原 真哉	徳洲会伊良部島診療所	伊良部字前里添639-2	78-6661
	歯科医	波平 篤樹	伊良部中央歯科医院	伊良部字長浜1377-9	78-5888
	薬剤師	方 智子	琉薬 宮古営業所	平良字下里883-1	73-0981

【中学校】

学 校 名	科 目	氏 名	勤 務 先	住 所	電話番号
平良中学校	内科医	下地 常之	下地内科医院	平良字下里1259-1	72-9068
	内科医	泰川 恵吾	ドクターゴン診療所	上野字宮国746-17	76-2788
	歯科医	真喜屋 建	真喜屋歯科医院	平良字西里505-2	73-3227
	歯科医	我如古 充	がねこ歯科クリニック	平良字西里382	73-1183
	薬剤師	方 智子	琉薬 宮古営業所	平良字下里883-1	73-0981
北中学校	内科医	竹井 太	うむやすみやあす・ん診療所	平良字下里1477-4	73-3854
	内科医	打出 啓二	下地診療所	下地字上地634-1	74-7878
	歯科医	松原 正明	松原歯科医院	平良字下里994-2	73-1788
	歯科医	砂川 貴	すながわ歯科クリニック	平良字西里792-6	73-4183
	薬剤師	古謝 真己	コジャ薬局・東店	平良字東仲宗根566	72-6385
久松中学校	内科医	稲村 達哉	稲村耳鼻咽喉科	平良字久貝669-1	74-1187
	歯科医	下地 森夫	もりお歯科	平良字下里1554-1	79-8778
	薬剤師	上里 雅江	くがに薬局	平良字下里1554-1	79-0289
鏡原中学校	内科医	比嘉 一雄	比嘉内科胃腸科医院	平良字下里5	73-2161
	歯科医	吉田 司	あだん歯科	平良字久貝654－36	79-0648
	薬剤師	砂川 裕美子	宮古島リハビリ温泉病院	平良字東仲宗根添1898-7	73-0800

学 校 名	科 目	氏 名	勤 務 先	住 所	電話番号
西辺中学校	内科医	池村 栄作	いけむら外科	平良字西里978-2	73-6300
	歯科医	下地 盛叶	かのう歯科医院	平良字西里543-3	72-7820
	薬剤師	前里 由紀子	コジャ薬局・市場前店	平良字下里556	73-3362
狩俣中学校	内科医	真喜屋 浩	真喜屋精神神経科	平良字西原2251-5	73-1000
	歯科医	我如古 充	がねこ歯科クリニック	平良字西里382	73-1183
	薬剤師	平良 由紀子	くがに薬局	平良字下里1554-1	79-0289
砂川中学校	内科医	池村 栄作	いけむら外科	平良字西里978-2	73-6300
	歯科医	方 肇靖	永和歯科医院	平良字下里595-1	73-7155
	薬剤師	平良 由紀子	くがに薬局	平良字下里1554-1	79-0289
西城中学校	内科医	下地 晃	城辺中央クリニック	城辺字比嘉628-5	77-4693
	歯科医	平良 博也	たいら歯科クリニック	平良字西里472-2	74-2711
	薬剤師	砂川 裕美子	宮古島リハビリ温泉病院	平良字東仲宗根添1898-7	73-0800
城辺中学校	内科医	下地 晃	城辺中央クリニック	城辺字比嘉628-5	77-4693
	歯科医	岡村 英人	岡村歯科医院	平良字下里921	74-3204
	薬剤師	村田 成夫	すこやか薬局 西里店	平良字西里782-1-2	75-0933
福嶺中学校	内科医	池村 栄作	いけむら外科	平良字西里978-2	73-6300
	歯科医	波平 真樹	下地中央歯科医院	下地字洲鎌494-1	76-3888
	薬剤師	古謝 真己	コジャ薬局・東店	平良字東仲宗根566	72-6385
下地中学校	内科医	打出 啓二	下地診療所	下地字上地634-1	74-7878
	歯科医	波平 真樹	下地中央歯科医院	下地字洲鎌494-1	76-3888
	薬剤師	砂川 裕美子	宮古島リハビリ温泉病院	平良字東仲宗根添1898-7	73-0800
上野中学校	内科医	伊志嶺 みち子	いしみねクリニック	平良字西里269-5	75-5878
	歯科医	松原 正明	松原歯科医院	平良字下里994-2	73-1788
	薬剤師	方 智子	琉薬 宮古営業所	平良字下里883-1	73-0981
佐良浜中学校	内科医	宮原 真哉	徳洲会伊良部島診療所	伊良部字前里添639-2	78-6661
	歯科医	大城 智	佐良浜歯科医院	伊良部字前里添593-42	78-4633
	薬剤師	方 智子	琉薬 宮古営業所	平良字下里883-1	73-0981
伊良部中学校	内科医	宮原 真哉	徳洲会伊良部島診療所	伊良部字前里添639-2	78-6661
	歯科医	波平 篤樹	伊良部中央歯科医院	伊良部字長浜1377-9	78-5888
	薬剤師	方 智子	琉薬 宮古営業所	平良字下里883-1	73-0981

1. 平成25年度宮古島市立小学校・中学校・幼稚園一覧

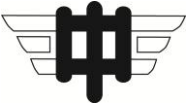
【小学校】

平成25年4月1日現在

学校名		所在地	電話／FAX番号	教育目標	校 長	教 頭
1	平良第一小学校 	〒906-0013 宮古島市平良字 下里1141	72-3030／72-0708	可能性をひらき・のぼす (一人一人に、それぞれの可能性)	乾 邦夫	砂川 修
2	南小学校 	〒906-0013 宮古島市平良字 下里1068	72-0223／72-6007	○よく考え、進んで学習する子（知） ○明るく素直で、思いやりのある子（徳） ○健康でたくましく、ねばり強い子 （体・心）	屋嘉比 邦昭	与那覇 淳
3	北小学校 	〒906-0012 宮古島市平良字 西里271	72-3025／72-1002	○健康で明るい子 ○思いやりのある子 ○進んで学習する子	平良 隆	本村 好恵
4	東小学校 	〒906-0007 宮古島市平良字 東仲宗根698	73-0919／73-1611	○よく考え進んで学習する子（知） ○明るく思いやりのある子（徳） ○健康でねばり強い子（体・意）	下地 政昭	本村 晃則
5	久松小学校 	〒906-0015 宮古島市平良字 久貝933	72-3246／72-3250	○進んで学びよく考える子（かしこく） ○思いやりの心を持ち助け合う子（やさしく） ○健康でたくましい子（たくましく）	根路銘 和子	下地 操
6	鏡原小学校 	〒906-0013 宮古島市平良字 下里3107-2	72-3146／72-6687	○よく考え工夫する子 ○思いやりがあり助け合う子 ○健康でねばり強い子	永松 才易	前泊 清
7	宮原小学校 	〒906-0011 宮古島市平良字 東仲宗根添2928	72-3447／72-3460	○かしこい子（知育） ○思いやりのある子（徳育） ○ねばり強い子（体育）	国仲 克紀	濱川 教子
8	西辺小学校 	〒906-0005 宮古島市平良字 西原1081	72-2114／72-2135	○よく考え進んで学ぶ子（知） ○明るく思いやりのある子（徳） ○健康でねばり強い子（体）	新里 二男	宮國 秀夫
9	狩俣小学校 	〒906-0002 宮古島市平良字 狩俣1242	72-5151／72-5100	○自らすすんで学ぶ子ども ○思いやりのある広い心の子とも ○健康で明るくたくましい子ども	友利 克彦	比嘉 豊樹
10	宮島小学校 	〒906-0003 宮古島市平良字島 尻1393	72-5150／72-5115	○自ら進んで頭をみがく子 ○自ら進んで心をみがく子 ○自ら進んで体をみがく子	屋嘉比 俊哉	砂川 茂和
11	池間中小学校 	〒906-0421 宮古島市平良字 池間903	75-2013／75-2330	○自ら学び 心豊かで たくましい子	勝連 常治	平良 広幸
12	砂川小学校 	〒906-0108 宮古島市城辺字 砂川605	77-4106／77-4130	○進んで学ぶ子（知育） ○心豊かな子（徳育） ○たくましい子（体育）	久貝 勝宣	亀川 典子
13	西城小学校 	〒906-0106 宮古島市城辺字 西里添1048	77-4102／77-4114	○進んで学ぶ子（知育） ○心豊かな子（徳育） ○たくましい子（体育）	小谷 優	友利 健誠

学校名		所在地	電話／FAX番号	教育目標	校 長	教 頭
14	城辺小学校 	〒906-0106 宮古島市城辺字 福里878	77-4103／77-4129	○進んで学ぶ子（知育） ○心豊かな子（徳育） ○たくましい子（体育）	濱川 宗和	池原 敏雄
15	福嶺小学校 	〒906-0102 宮古島市城辺字 新城448	77-4105／77-4127	○自ら学ぶ子（かしこく：知育） ○心豊かな子（やさしく：徳育） ○健康な子（たくましく：体育）	池村 康男	池田 俊男
16	下地小学校 	〒906-0303 宮古島市下地字 洲鎌305	76-6008／76-6953	○自ら学び考え行動する子（知） ○思いやりのある子（徳） ○明るく健康な子（体）	与那覇 止	砂川 誠
17	来間小中学校 	〒906-0306 宮古島市下地字 来間1	76-6021／76-3432	◎自ら学び ころろ豊かで 心身ともにたくましい子 ○（知育）知的好奇心旺盛な子 ○（徳育）明るく 思いやりのある子 ○（体育）元気で ねばり強い子	知念 安則	善平 範己
18	上野小学校 	〒906-0202 宮古島市上野字 野原734-2	76-6906／76-6701	○自ら学びよく考える子（知） ○思いやりのある心豊かな子（徳） ○健康でたくましい子（体）	上里 雅章	川上 尚栄
19	伊良部小学校 	〒906-0506 宮古島市伊良部字 長浜1401	78-4560／78-5851	○よく考える子（知） ○やさしく思いやりのある子（徳） ○元気でがんばる子（体）	砂川 靖夫	前泊 直子
20	佐良浜小学校 	〒906-0501 宮古島市伊良部字 前里添717	78-45627／78-5050	○自ら学ぶ子 ○思いやりのある子 ○強い子	砂川 栄作	上里 啓美

【中学校】

学校名		所在地	電話／FAX番号	教育目標	校 長	教 頭
1	平良中学校 	〒906-0012 宮古島市平良字 西里724	72-2227／72-2127	凡事に至誠を貫き可能性を伸ばす生徒 （「自立型人間十箇条」の実践）	伊志嶺 吉作	佐久本 聡
2	北中学校 	〒906-0006 宮古島市平良字 西仲宗根500	72-9737／73-5732	(1) 自ら学び、豊かな知識を求める生徒（知） (2) 他人を思いやり、友情を育み合う生徒（徳） (3) 心身を鍛え、勇気を持って行動する生徒（体）	亀浜 敏郎	宮國 幸夫
3	久松中学校 	〒906-0015 宮古島市平良字 久貝932	72-3247／72-2100	①進んで学ぶ生徒 ②心豊かで思いやりのある生徒 ③心身ともに健康な生徒	平良 ヒロ子	垣花 秀明
4	鏡原中学校 	〒906-0013 宮古島市平良字 下里3107-3	72-3147／72-3117	進んで学び 深く考え たくましく実践する生徒	島尻 政俊	友利 肇
5	西辺中学校 	〒906-0005 宮古島市平良字 西原1138	72-4047／72-4049	(1) 自ら考え進んで学ぶ生徒 (2) 心豊かで思いやりのある生徒 (3) 勤労を尊び心身共に逞しい生徒	饒平名 和枝	濱川 成共
6	狩俣中学校 	〒906-0002 宮古島市平良字 狩俣4337	72-5203／72-5705	豊かな知性と品性を持ち たくましく生きる生徒	池村 敏弘	友利 直喜

学校名		所在地	電話／FAX番号	教育目標	校 長	教 頭
7	砂川中学校 	〒906-0108 宮古島市城辺字 砂川599	77-4506／74-4112	①豊かな心を持つ生徒の育成 ②自ら学ぶ意欲を持つ生徒 ③健康で粘り強い生徒の育成	砂川 勝昭	長嶺 肇
8	西城中学校 	〒906-0106 宮古島市城辺字 西里添1080	77-4702／77-4738	豊かな心と知性を持ち たくましく生きる生徒	砂川 弘康	西里 純二
9	城辺中学校 	〒906-01039 宮古島市城辺字 福里616	77-4703／74-4102	自ら学ぶ心豊かで健康な生徒	乾 麗子	砂川 義治
10	福嶺中学校 	〒906-0102 宮古島市城辺字 新城634	77-4505／77-4030	(1) 自ら学び、創造力豊かな生徒 (2) よく考え、正しく行動できる生徒 (3) 健康で粘り強い生徒 (4) 地域・社会に貢献できる生徒	宮国 敏弘	嶺井 雄
11	下地中学校 	〒906-0303 宮古島市下地字 洲鎌250	76-6509／76-3153	自ら考え学ぶ生徒 思いやりのある生徒 心身共に健康な生徒 地域に貢献できる生徒	宮國 勝也	渡久山 英徳
12	上野中学校 	〒906-0202 宮古島市上野字 新里356	76-64027／76-6417	よく考える生徒 心豊かで思いやりのある生徒 健康でねばり強い生徒	島袋 正彦	屋嘉比 正則
13	伊良部中学校 	〒906-0501 宮古島市伊良部字 国仲418	78-4561／78-6090	○自ら学び知性を高める生徒 ○心豊かで思いやりのある生徒 ○健康でねばり強い生徒	平良 善信	久高 三彦
14	佐良浜中学校 	〒906-0506 宮古島市伊良部字 前里添1720	78-4563／78-5601	自ら学び 心豊かで 健康な生徒	根路銘 敢	砂川 和広

【幼稚園】

園 名		所在地	電話／FAX番号	園 長	備 考
1	平良第一幼稚園	〒906-0012 宮古島市平良字下里1141	72-3884（FAX兼用）	乾 邦夫	
2	南 幼稚園	〒906-0006 宮古島市平良字下里1068	73-1545（FAX兼用）	屋嘉比 邦昭	
3	北 幼稚園	〒906-0015 宮古島市平良字西里217	72-4261／72-4270	平良 隆	
4	東 幼稚園	〒906-0007 宮古島市平良字東仲宗根698	73-2146（FAX兼用）	下地 政昭	
5	久松幼稚園	〒906-0015 宮古島市平良字久貝933	72-8891（FAX兼用）	根路銘 和子	
6	鏡原幼稚園	〒906-0012 宮古島市平良字下里3107-2	72-0196（FAX兼用）	永松 才易	
7	宮原幼稚園	〒906-0011 宮古島市平良字東仲宗根添2928	73-4149（FAX兼用）	国仲 克紀	
8	西辺幼稚園	〒906-0005 宮古島市平良字西原1081	72-2088（FAX兼用）	新里 二男	
9	狩俣幼稚園	〒906-0002 宮古島市平良字狩俣1242	72-5718（FAX兼用）	友利 克彦	
10	宮島幼稚園	〒906-0003 宮古島市平良字島尻1393			休園中
11	池間幼稚園	〒906-0421 宮古島市平良字池間887	75-2370（FAX兼用）	勝連 常治	
12	砂川幼稚園	〒906-0108 宮古島市城辺字砂川605	77-4711（FAX兼用）	久貝 勝宣	

園 名		所在地	電話／FAX番号	園 長	備 考
13	西城幼稚園	〒906-0106 宮古島市城辺字西里添1048	77-4502（FAX兼用）	小 谷 優	
14	城辺幼稚園	〒906-0103 宮古島市城辺字福里878	77-4503（FAX兼用）	濱川 宗和	
15	福嶺幼稚園	〒906-0101 宮古島市城辺字新城448	77-4917（FAX兼用）	池村 康男	
16	下地幼稚園	〒906-0303 宮古島市下地字洲鎌309-4	76-2456（FAX兼用）	与那覇 止	
17	来間幼稚園	〒906-0306 宮古島市下地字来間1	76-6021／76-3432	知念 安則	
18	上野幼稚園	〒906-0202 宮古島市上野字新里508-1	76-6536（FAX兼用）	上里 雅章	
19	伊良部幼稚園	〒906-0506 宮古島市伊良部字長浜1401	78-3559（FAX兼用）	砂川 靖夫	
20	佐良浜幼稚園	〒906-0501 宮古島市伊良部字前里添717	78-4060（FAX兼用）	砂川 栄作	

2. 平成25年度児童・生徒・園児数(小学校・中学校・幼稚園)

(1) 小学校児童数

平成25年5月1日現在

	学校名	1年生				2年生				3年生				4年生				5年生				6年生				特別支援				合 計		
		男	女	学級	計	男	女	学級	計	男	女	学級	計	男	女	学級	計	男	女	学級	計	男	女	学級	計	男	女	学級				
1	平良第一小学校	51	51	4	102	37	48	3	85(3)	49	54	3	103	53	49	3	102	46	51	3	97	48	44	3	92(5)	6	2	1	589	20(1)		
2	南小学校	44	28	3	72	49	53	4	102(1)	46	42	3	88	48	36	3	84	44	40	3	84(2)	45	47	3	92(1)	2	2	1	526	20(1)		
3	北小学校	27	25	2	52(1)	22	32	2	54	17	24	2	41(1)	20	26	2	46	21	16	1	37(2)	21	32	2	53(1)	4	1	1	288	12(1)		
4	東小学校	45	46	3	91	28	34	2	62	43	52	3	95(1)	27	25	2	52(1)	38	50	3	88	53	27	2	80	2	0	1	470	16(1)		
5	久松小学校	27	27	2	54	26	30	2	56	23	23	2	46	26	31	2	57	21	25	2	46	26	22	2	48	0	0	0	307	12		
6	鏡原小学校	13	20	1	33	10	14	1	24	14	13	1	27(1)	7	11	1	18(1)	20	9	1	29	15	5	1	20	2	0	1	153	7(1)		
7	宮原小学校	1	0	0.5	1	2	0	0.5	2	1	2	1	3	0	0	0	0	0	2	0.5	2	0	1	0.5	1	0	0	0	9	3		
8	西辺小学校	7	8	1	15	5	6	1	11	6	5	1	11	7	4	1	11	9	3	1	12	5	2	1	7	0	0	0	67	6		
9	狩俣小学校	2	2	1	4	1	3	0.5	4	4	2	0.5	6	4	3	0.5	7	2	5	0.5	7	3	4	1	7	0	0	0	35	4		
10	宮島小学校	0	0	0	0	1	1	1	2	2	0	0.5	2	0	1	0.5	1	1	2	0.5	3	0	1	0.5	1	0	0	0	9	3		
11	池間小学校	1	3	0.5	4	2	2	0.5	4	2	1	0.5	3	1	2	0.5	3	1	3	0.5	4	2	3	0.5	5	0	0	0	23	3		
12	砂川小学校	6	3	1	9	4	2	1	6	7	8	1	15	4	10	1	14	7	9	1	16(1)	5	7	1	12	1	0	1	73	7(1)		
13	西城小学校	7	4	1	11	11	8	1	19	10	10	1	20	11	8	1	19	11	11	1	22	4	7	1	11	0	0	0	102	6		
14	城辺小学校	9	7	1	16	7	8	1	15	8	9	1	17	6	8	1	14	6	9	1	15	11	9	1	20	0	0	0	97	6		
15	福嶺小学校	4	2	1	6	3	2	1	5	2	1	0.5	3	2	2	0.5	4	3	0	0.5	3	1	1	0.5	2	0	0	0	23	4		
16	下地小学校	15	14	1	29	20	11	1	31	11	17	1	28	15	16	1	31	17	11	1	28	16	16	1	32	0	0	0	179	6		
17	来間小学校	0	1	0.5	1	0	1	0.5	1	0	1	0.5	1	0	1	0.5	1	0	0	0	0	1	1	1	1	0	0	0	5	3		
18	上野小学校	16	14	1	30	17	16	1	33(1)	20	10	1	30(1)	17	12	1	29	19	11	1	30	14	15	1	29(1)	1	2	1	184	7(1)		
19	伊良部小学校	8	12	1	20	15	10	1	25	13	8	1	21(1)	11	19	1	30	18	14	1	32	12	15	1	27	1	0	1	156	7(1)		
20	佐良浜小学校	7	14	1	21	7	10	1	17	5	3	1	8	14	5	1	19	19	11	1	30	9	10	1	19	0	0	0	114	6		
合 計		290	281	26.5	571(1)	267	291	26	558(5)	283	285	25.5	568(4)	273	269	23.5	542(3)	303	282	23.5	585(5)	290	269	25	559(8)	19	7	8	3,409	158(8)		

※()内は特別支援学級児童数及び学級数

(2) 中学校生徒数

	学校名	1年生			2年生			3年生			特別支援			合 計		
		男	女	学級	男	女	学級	男	女	学級	男	女	学級	男	女	学級
		計			計			計			計			計		
1	平良中学校	97	69	5	94	106	5	90	106	5	2	3	2	283	284	17(2)
		166(1)			201(1)			196(3)			5			567		
2	北中学校	77	68	4	72	59	4	79	66	4	5	1	1	233	194	13(1)
		145(2)			131(2)			145(2)			6			427		
3	久松中学校	22	21	2	23	22	2	19	20	1	0	0	0	64	63	5
		43			45			39			0			127		
4	鏡原中学校	14	15	1	11	10	1	17	16	1	0	0	0	42	41	3
		29			21			33			0			83		
5	西辺中学校	7	5	1	13	2	1	8	5	1	0	0	0	28	12	3
		12			15			13			0			40		
6	狩俣中学校	4	2	1	2	1	1	7	5	1	0	0	1	13	8	3
		6			3			12			0			21		
7	池間中学校	3	2	1	1	5	0.5	1	0	0.5	0	0	0	5	7	2
		5			6			1			0			12		
8	砂川中学校	15	8	1	11	8	1	10	6	1	0	0	0	36	22	3
		23			19			16			0			58		
9	西城中学校	11	5	1	11	7	1	8	6	1	0	0	0	30	18	3
		16			18			14			0			48		
10	城辺中学校	6	9	1	12	7	1	6	7	1	0	0	0	24	23	3
		15			19			13			0			47		
11	福嶺中学校	4	3	1	3	2	1	3	2	1	0	0	0	10	7	3
		7			5			5			0			17		
12	下地中学校	23	20	2	12	14	1	15	21	1	0	0	0	50	55	4
		43			26			36			0			105		
13	来間中学校	3	0	0.5	0	0	0	1	0	0.5	0	0	0	4	0	1
		3			0			1			0			4		
14	上野中学校	25	20	2	17	19	1	22	15	1	0	0	0	64	54	4
		45			36			37			0			118		
15	伊良部中学校	12	13	1	15	10	1	8	9	1	2	0	1	37	32	4
		25			25(1)			17(1)			2			69		
16	佐良浜中学校	12	16	1	22	13	1	18	11	1	0	0	0	52	40	3
		28			35			29			0			92		
合 計		335	276	25.5	319	285	22.5	312	295	22	9	4	5	975	860	74(13)
		611(3)			604(4)			607(5)			13			1,835		

※()内は特別支援学級生徒数

(3) 幼稚園児数

園 名		4歳児		5歳児		学級	合 計		園 名		4歳児		5歳児		学級	合 計	
		男	女	男	女		男	女			男	女	男	女		男	女
		計		計			計				計		計			計	
1	平良第一幼稚園	—	—	41	36	3	41	36	12	砂川幼稚園	2	1	6	8	1	8	9
		—		77			77				3		14			17	
2	南幼稚園	—	—	55	35	3	55	35	13	西城幼稚園	1	1	15	4	1	16	5
		—		90			90				2		19			21	
3	北幼稚園	—	—	18	22	2	18	22	14	城辺幼稚園	1	0	9	13	1	10	13
		—		40			40				1		22			23	
4	東幼稚園	—	—	49	35	3	49	35	15	福嶺幼稚園	1	1	2	0	1	3	1
		—		84			84				2		2			4	
5	久松幼稚園	—	—	21	16	2	21	16	16	下地幼稚園	3	4	15	12	2	18	16
		—		37			37				7		27			34	
6	鏡原幼稚園	2	5	17	18	2 ※	19	23	17	来間幼稚園	0	0	1	1	1	1	1
		7		35			42				0		2			2	
7	宮原幼稚園	0	0	1	1	1	1	1	18	上野幼稚園	—	—	14	15	1	14	15
		0		2			2				—		29			29	
8	西辺幼稚園	—	—	2	3	1	2	3	19	伊良部幼稚園	—	—	9	8	1	9	8
		—		5			5				—		17			17	
9	狩俣幼稚園	1	0	4	2	1	5	2	20	佐良浜幼稚園	—	—	15	1	1	15	1
		1		6			7				—		16			16	
10	宮島幼稚園	0	0	0	0	0	0	0									
		0		0			0										
11	池間幼稚園	0	0	1	1	1	1	1	合 計		11	12	295	231	17	306	243
		0		2			2				23		526			549	

※鏡原幼稚園のみ4歳児1クラス

3. 宮古島市立学校施設

(1) 小学校の敷地及び施設面積

平成25年5月1日現在

事 項 小学校名		児童・学級数		校舎敷地面積（㎡）		運動場面積（㎡）		校 舎 （ R C 造 ）（㎡）				屋内運動場（㎡）			水泳プール（㎡）
		児童数	学級数	保有面積	借用面積	保有面積	借用面積	必要面積	保有面積	保有率	整備資格	必要面積	保有面積	保有率	水面面積
1	平良第一	589	19	19,156	0	7,113	0	5,726	5,683	99.2	43	1,215	1,049	86.3	400
2	北	288	12	7,465	0	8,035	0	4,228	4,922	116.4	△ 694	919	900	97.9	400
3	南	526	19	11,348	0	9,800	0	5,168	5,524	106.9	△ 356	1,215	1,049	86.3	400
4	東	470	16	17,954	0	9,289	0	4,610	5,229	113.4	△ 619	1,215	919	75.6	400
5	久 松	307	12	18,805	0	7,539	0	3,881	2,611	67.3	1,270	919	584	63.5	285
6	鏡 原	153	7	8,409	0	5,785	0	2,636	1,975	74.9	661	894	572	64.0	413
7	宮 原	9	3	9,349	0	7,642	0	1,326	1,674	126.2	△ 348	894	600	67.1	400
8	西 辺	67	6	7,763	0	6,924	0	2,468	2,092	84.8	376	894	797	89.1	0
9	宮 島	9	3	9,965	0	7,150	0	1,326	1,187	89.5	139	894	600	67.1	250
10	狩 俣	35	4	7,147	0	6,567	0	1,326	1,950	147.1	△ 624	894	584	65.3	400
11	池 間	23	3	7,208	0	6,900	0	1,326	853	64.3	473	894	561	62.8	400
12	砂 川	73	7	8,000	0	4,950	0	2,636	2,143	81.3	493	894	894	100.0	400
13	西 城	102	6	10,586	0	5,500	0	2,468	2,680	108.6	△ 212	894	894	100.0	400
14	城 辺	97	6	7,653	0	6,300	0	2,468	2,650	107.4	△ 182	894	894	100.0	410
15	福 嶺	23	4	14,975	0	12,696	0	1,707	1,855	108.7	△ 148	894	864	96.6	400
16	上 野	184	7	12,801	0	7,071	0	2,636	2,936	111.4	△ 300	894	919	102.8	400
17	下 地	179	6	6,488	0	9,675	0	2,468	2,938	119.0	△ 470	894	919	102.8	400
18	来 間	5	3	2,454	0	3,951	0	1,326	534	40.3	792	894	0	0.0	0
19	伊良部	156	7	18,320	0	11,643	0	2,636	3,410	129.4	△ 774	894	919	102.8	400
20	佐良浜	114	6	16,365	0	8,050	0	2,468	4,070	164.9	△ 1,602	894	900	100.7	400
計		3,409	156	222,211	0	152,580	0	54,834	56,916	96.6	1,983	18,893	15,418	82.2	6,958

(2) 中学校の敷地及び施設面積

平成25年 5月 1日現在

事 項 中学校名		児童・学級数		校舎敷地面積 (㎡)		運動場面積 (㎡)		校 舎 (R C 造) (㎡)				屋内運動場 (㎡)			武道場 (㎡)	水泳プール (㎡)
		児童数	学級数	保有面積	借用面積	保有面積	借用面積	必要面積	保有面積	保有率	整備資格	必要面積	保有面積	保有率	保有面積	水面面積
1	平 良	567	16	17,767	0	8,540	0	5,777	4,716	81.6	1,061	1,138	1,138	100.0	350	400
2	北	427	13	18,898	0	11,564	0	5,297	5,905	111.5	△ 608	1,138	1,476	129.7	450	400
3	久 松	127	5	10,054	0	8,425	0	2,472	1,239	50.1	1,233	1,138	830	72.9	0	400
4	鏡 原	83	3	9,045	0	9,996	0	2,150	1,969	91.6	181	1,138	1,138	100.0	0	0
5	西 辺	40	3	9,543	0	14,269	0	2,150	2,130	99.1	20	1,138	900	79.1	0	400
6	狩 俣	21	3	14,343	0	19,185	0	2,150	1,922	89.4	228	1,138	1,138	100.0	0	400
7	池 間	12	2	6,046	0	300	0	1,499	1,310	87.4	189	1,138	600	52.7	0	0
8	砂 川	58	3	5,768	0	9,166	0	2,333	2,561	109.8	△ 228	1,138	830	72.9	329	0
9	西 城	48	3	13,500	0	18,661	0	2,150	2,163	100.6	△ 13	1,138	830	72.9	0	0
10	城 辺	47	3	13,109	0	25,505	0	2,150	2,318	107.8	△ 168	1,138	853	75.0	0	400
11	福 嶺	17	3	11,689	0	8,032	0	2,150	1,865	86.7	285	1,138	830	72.9	0	0
12	上 野	118	4	8,960	0	15,651	0	2,706	2,671	98.7	35	1,138	830	72.9	350	0
13	下 地	105	4	11,397	0	14,928	0	2,706	2,744	101.4	△ 38	1,138	1,136	99.8	350	0
14	来 間	4	1	2,695	0	6,043	0	848	807	95.2	41	1,138	627	55.1	0	0
15	伊良部	69	4	15,785	0	14,874	0	2,318	2,582	111.4	△ 264	1,138	963	84.6	350	0
16	佐良浜	92	3	13,477	0	14,640	0	2,150	2,580	120.0	△ 430	1,138	1,034	90.9	313	0
計		1,835	73	182,076	0	199,779	0	41,006	39,482	94.6	2,265	18,208	15,153	85.3	2,492	2,400
小・中 合計		5,321	229	404,287	0	352,359	0	100,644	96,396	95.6	4,248	37,101	31,075	83.8	2,492	12,670

(3) 幼稚園の敷地及び施設面積

平成25年5月1日現在

事 項 園 名		児童・学級数		校舎敷地面積（㎡）		運動場面積（㎡）		校 舎 （ R C 造 ）（㎡）				屋内運動場（㎡）			水泳プール（㎡）
		児童数	学級数	保有面積	借用面積	保有面積	借用面積	必要面積	保有面積	保有率	整備資格	必要面積	保有面積	保有率	水面面積
1	平 一	77	3	1,885				725	407	56.1	318				
2	北	40	2	1,421				516	400	77.5	116				
3	南	90	3	812				725	525	72.4	200				
4	東	84	3	1,898				516	461	89.3	55				
5	久 松	37	2	787				516	245	47.5	271				
6	鏡 原	42	2	1,730				516	242	46.9	274				
7	宮 原	2	1	731				307	203	66.1	104				
8	西 辺	5	1	587				307	200	65.1	107				
9	宮 島	0	0	1,015				307	203	66.1	104				
10	狩 俣	7	1	1,386				307	196	63.8	111				
11	池 間	2	1	1,329				307	196	63.8	111				
12	砂 川	17	1	0				307	381	124.1	△ 74				
13	西 城	21	1	0				307	334	108.8	△ 27				
14	城 辺	23	1	0				307	397	129.3	△ 90				
15	福 嶺	4	1	0				307	223	72.6	84				
16	上 野	29	1	854		1,011		307	299	97.4	8				
17	下 地	34	2	2,738				516	368	71.3	148				
18	来 間	2	1	0				307	57	18.6	250				
19	伊良部	17	1	0				307	500	162.9	△ 193				
20	佐良浜	16	1	0				307	327	106.5	△ 20				
合 計		549	29	17,173	0	1,011	0	8,021	6,164	71.9	2,434	0	0	0.0	0

4. 平成25年度宮古島市教育委員会職員名簿

平成25年6月1日現在

	課 名	職 名	氏 名		課名	職 名	氏 名
1	教育委員会	教 育 長	川 満 弘 志	42		補 佐 兼 務 文 化 振 興 係 長	前 里 安 男
2	教育部	部 長	田 場 秀 樹	43		主 事	山 城 龍 規
3		参 事	与 那 嶺 大	44	市民スポーツ課	課 長	西 里 正 博
4	教育総務課	課 長	垣 花 和 彦	45		ス ポ ー ツ 振 興 係 長	狩 俣 博 幸
5		総 務 係 長	松 堂 英 彦	46		体 育 施 設 係 長	上 地 秀 樹
6		主 事	下 地 彩 子	47		主 査	奥 平 榮 子
7		管 理 係 長	上 地 俊 暢	48		主 任 主 事	兼 村 匡
8		主 事	大 城 奈 津 恵	49		主 任 主 事	平 良 貴 洋
9		補 佐 兼 務 学 校 施 設 係 長	長 浜 修	50	中央公民館	参 事 兼 館 長	譜 久 村 基 嗣
10		主 任 技 師	佐 和 田 龍 也	51		補 佐	与 那 覇 剛 也
11		主 任 主 事	平 良 か お り	52		係 長	砂 辺 和 正
12		主 事	川 満 一 生	53		調 整 官	仲 間 勝 行
13	学校適正化対策班	主 事	伊 佐 育 之	54		主 査	平 良 淳 子
14	学校教育課	課 長	亀 川 昌 彦	55	城辺公民館	館 長 補 佐	松 川 義 明
15		指 導 主 事	松 本 尚	56		主 任 主 事	下 地 聡
16		指 導 主 事	與 那 覇 盛 彦	57	上野公民館	館 長 補 佐	砂 川 芳 徳
17		課 長 補 佐	友 利 幸 正	58		係 長	下 地 孝 市
18		学 務 係 長	狩 俣 智 紀	59	下地公民館	館 長 補 佐	砂 川 克 佳
19		主 任 主 事	久 貝 富 司	60		主 査	砂 川 幸 三
20		主 査	仲 里 京 子	61	伊良部公民館	館 長 補 佐	喜 納 章
21		主 事	新 城 琢 也	62		主 任 主 事	喜 納 泰 興
22		補佐兼指導係長	下 地 冴 子	63	文化ホール	館 長	下 地 悟
23		主 任 主 事	島 尻 美 紀	64		館 長 補 佐	花 城 豊 彦
24		主 任 主 事	平 良 邦 子	65		係 長	前 里 利 蔵
25		臨 床 心 理 士	清 家 美 奈	66		調 整 官	親 泊 宗 秀
26	教育研究所	指 導 主 事	下 地 忠 夫	67	平良図書館	館 長	砂 川 隆
27	平良学校給食 共同調理場	場 長	伊 良 部 和 則	68		補佐兼資料係長	仲 間 功
28		補 佐 兼 務 係 長	宮 国 雅 人	69		主 事	下 地 ひ かる
29		主 任 主 事	友 利 智 代	70		奉 仕 係 長	池 間 く み え
30	城辺 共同調理場	調 理 員	国 仲 メ イ 子	71		主 任 主 事	佐 久 田 泰 彦
31	伊良部 共同調理場	調 理 員	濱 川 紀 子	72		主 任 主 事	与 那 覇 正 永
32	生涯学習部	部 長	垣 花 徳 亮	73		主 事	新 里 理 恵
33		参 事	喜 屋 武 重 三	74	城辺図書館	主 幹	塩 川 肇
34	生涯学習振興課	次 長 兼 課 長	上 地 栄 作	75		主 査	狩 俣 ひ ろ 子
35		社会教育係長	古 謝 勝 広	76	平良図書館 北分館	主 幹	砂 川 明 有
36		主 任 主 事	上 原 み ち 子	77		主 事	平 良 剛 俊
37		補 佐 兼 務 生 涯 学 習 係 長	高 江 洲 恵 伝	78	総合博物館	館 長	下 里 典 子
38		主 事	砂 川 弘 樹	79		学 芸 係 長	田 名 幸 吉
39		補 佐 兼 務 文 化 財 係 長	又 吉 察	80		学 芸 員	砂 川 史 香
40		主 任 主 事	新 城 宗 史	81		学 芸 員	國 仲 香 織
41		主 任 主 事	久 貝 弥 嗣	82		管 理 係 長	安 谷 屋 朝 子

	課 名	職 名	氏 名
83	総合博物館	主 任 主 事	砂 川 有 作
84	伊良部分室 B & Gセンター	分 室 長	佐 久 田 元 武
85		主 幹	後 藤 浩 行
86		係 長	我 那 覇 和 人
87		主 任 主 事	池 間 三 男
88		主 査	濱 川 一 美
89		主 事	喜 久 川 豊 一
90	平一小学校	司 書	瑞 慶 覧 愛 実
91	北小学校	司 書	本 村 喜 美 子
92		用 務 員	狩 俣 佐 代 子
93	南小学校	司 書	下 地 智 代
94		用 務 員	友 利 恵 美 子
95	東小学校	用 務 員	長 間 智 美
96	鏡原小学校	用 務 員	砂 川 巳 江 子
97	砂川小学校	司 書	芳 山 真 千 子
98	城辺小学校	司 書	佐 和 田 喜 江 美
99	上野小学校	用 務 員	川 田 明 子
100	伊良部小学校	司 書	前 里 ハ ツ 子
101	池間小中学校	司 書	兼 村 紀 子
102		用 務 員	与 那 覇 君 江
103	平良中学校	司 書	譜 久 島 敦 美
104	北中学校	司 書	高 江 洲 洋 子
105		用 務 員	友 利 勝 美

	課名	職 名	氏 名
106	狩俣中学校	司 書	国 仲 洋 子
107	城辺中学校	司 書	平 良 静 子
108	佐良浜中学校	司 書	譜 久 島 和 代
109	伊良部中学校	司 書	上 里 優 子
110	平一幼稚園	教 諭	奥 平 千 里
111		教 諭	瑞 慶 覧 益 子
112	北幼稚園	教 諭	下 地 利 津 子
113	南幼稚園	教 諭	久 貝 仁 美
114		教 諭	下 地 紀 子
115	東幼稚園	教 諭	仲 地 早 苗
116		教 諭	伊 良 波 冴 子
117	久松幼稚園	教 諭	山 田 明 美
118		教 諭	与 那 覇 洋 子
119	鏡原幼稚園	教 諭	濱 川 理 恵
120	西辺幼稚園	教 諭	砂 川 聡 子
121	西城幼稚園	教 諭	下 地 典 子
122	城辺幼稚園	教 諭	与 那 覇 マ リ 子
123	下地幼稚園	教 諭	砂 川 美 樹
124	上野幼稚園	教 諭	与 那 覇 勝 美
125	伊良部幼稚園	教 諭	中 村 美 砂 子
126	佐良浜幼稚園	教 諭	与 儀 望 美